

ガーナ共和国  
国際寄生虫対策西アフリカセンター  
プロジェクト  
終了時評価調査報告書

平成20年7月  
(2008年)

独立行政法人国際協力機構  
人間開発部

|        |
|--------|
| 人間     |
| JR     |
| 08-090 |



ガーナ共和国  
国際寄生虫対策西アフリカセンター  
プロジェクト  
終了時評価調査報告書

平成20年7月  
(2008年)

独立行政法人国際協力機構  
人間開発部



# 目 次

序 文  
地 図  
写 真  
略語一覧

評価調査結果要約表（和文）（英文）

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 第1章 終了時評価調査の概要 .....       | 1  |
| 1-1 調査団派遣の経緯と目的 .....      | 1  |
| 1-2 調査団の構成 .....           | 2  |
| 1-3 調査日程 .....             | 3  |
| 1-4 主要面談者 .....            | 4  |
| 1-5 プロジェクト概要 .....         | 6  |
| 第2章 終了時評価の方法 .....         | 10 |
| 2-1 評価の手順 .....            | 10 |
| 2-2 主な調査項目と情報収集方法 .....    | 11 |
| 第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス ..... | 13 |
| 3-1 投入実績 .....             | 13 |
| 3-2 成果の達成度 .....           | 14 |
| 3-3 プロジェクト目標の達成度 .....     | 20 |
| 3-4 プロジェクトの実施プロセス .....    | 21 |
| 第4章 評価結果 .....             | 27 |
| 4-1 評価5項目の評価結果 .....       | 27 |
| 4-2 結 論 .....              | 32 |
| 第5章 提言と教訓 .....            | 33 |
| 5-1 提 言 .....              | 33 |
| 5-2 教 訓 .....              | 34 |
| 第6章 評価総括 .....             | 36 |
| 6-1 総 括 .....              | 36 |
| 6-2 国際寄生虫対策 .....          | 37 |
| 6-3 学校保健 .....             | 39 |

付属資料

|  |     |
|--|-----|
| 1. 終了時評価調査協議議事録 (M/M) (合同評価レポート付) .....        | 45  |
| 2. 評価グリッド .....                                | 89  |
| 3. 質問票 .....                                   | 97  |
| 4. 合同評価会議実施記録 (ベナン・ニジェール) .....                | 111 |
| 5. メンバー国プログラムマネジャーへの直接インタビュー結果 .....           | 119 |
| 6. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM 第1版) .....          | 121 |
| 7. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM 第2版) .....          | 131 |
| 8. 国際寄生虫対策西アフリカセンター (WACIPAC) 自立発展計画 (案) ..... | 139 |

## 序 文

1997年のデンバーサミットにおいて、我が国政府は、寄生虫対策に対する国際的な協力推進についてのイニシアティブ（国際寄生虫対策イニシアティブ）を提唱しました。また、寄生虫対策を効果的に進めるためにアジアとアフリカに人づくりと研究活動のための拠点をつくり、国際機関および先進諸国と協力した国際ネットワーク構築、寄生虫対策分野における人材育成および情報交換の推進を提案しました。

上記イニシアティブを具体化するため、アジア地域ではタイ、東南アフリカ地域ではケニア、西アフリカ地域ではガーナ共和国（以下、「ガーナ」と記す）を拠点と決めました。JICAは、これらがアジアとアフリカの寄生虫対策に関する人材育成と情報ネットワークの拠点として機能していくためのキャパシティー・ビルディングに対し協力することを目的として、各国において技術協力プロジェクトを開始しました。

ガーナにおいては、西アフリカ地域での寄生虫対策分野における人材育成と情報ネットワークの拠点として、ガーナ大学野口記念医学研究所において、国際寄生虫対策西アフリカセンター（West African Centre for International Parasite Control : WACIPAC）を設置しました。JICAは同センターで、学校保健に基づく寄生虫対策モデルの試行、国際研修およびワークショップの開催、対象国における小規模事業への支援等を行う技術協力プロジェクトを2004年1月から5年間実施してきました。

今般、同プロジェクトが2008年12月で終了するにあたり、先方政府と合同でプロジェクトの実績を確認し、計画に対する達成度を確認するとともに、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から評価を行うべく、終了時評価調査団を派遣しました。

本報告書は、上記調査団の調査結果を取りまとめたものです。ここに、本調査にご協力をいただいた内外の関係者の方々に深い謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第です。

平成20年7月

独立行政法人国際協力機構  
人間開発部長 西脇 英隆







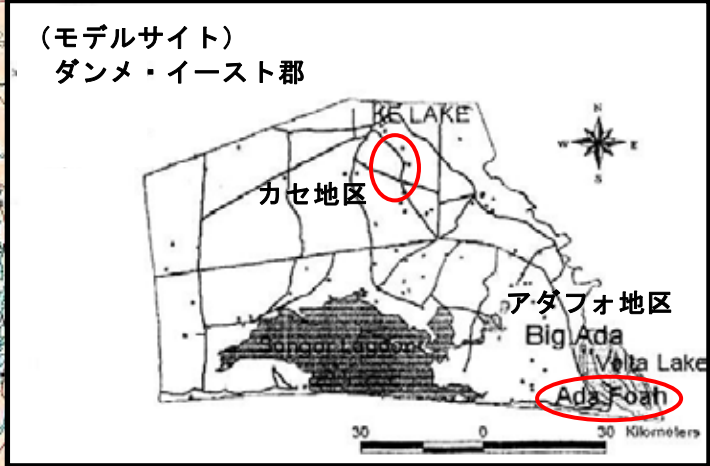
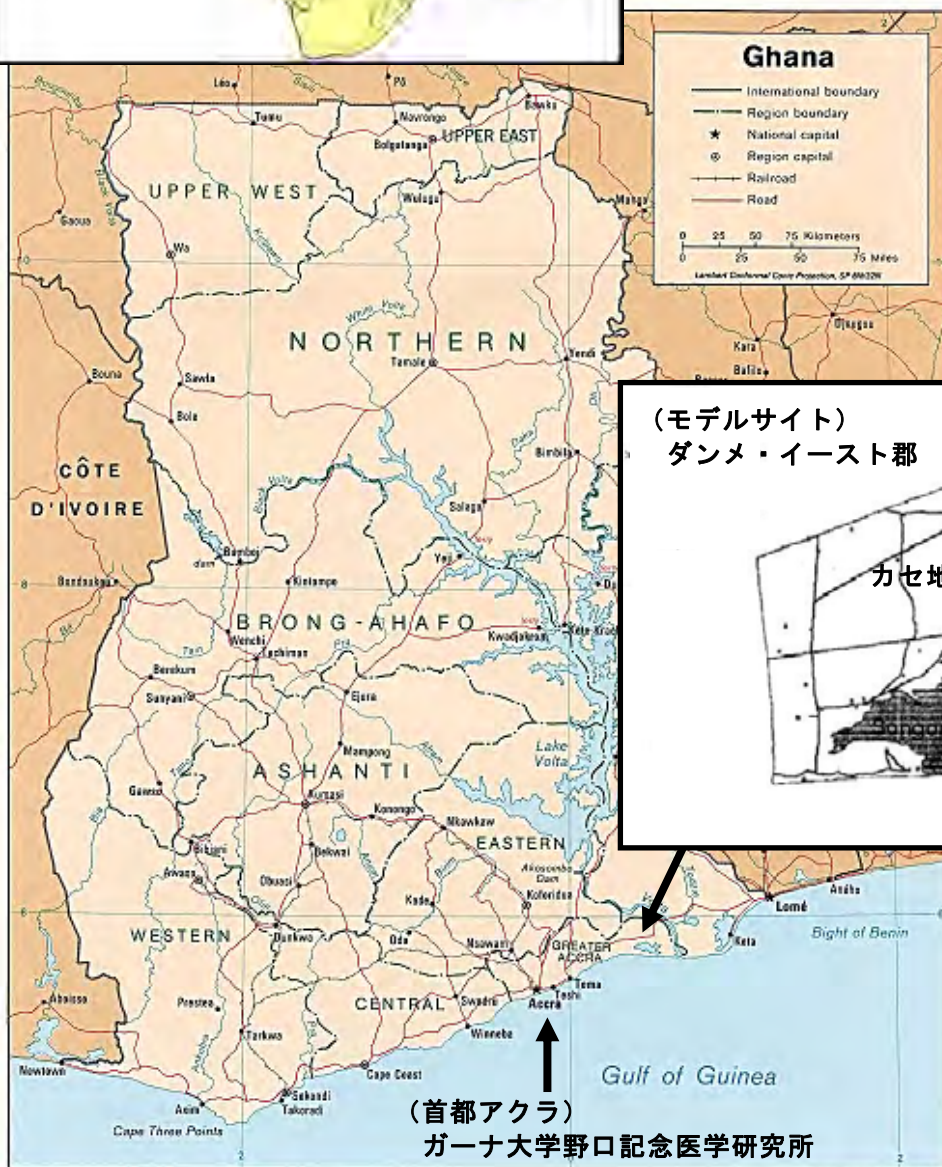
※プロジェクトのメンバー国

西アフリカ地域 10 カ国

ベナン、ブルキナファソ、カメルーン

コートジボアール、ガーナ、マリ

ニジェール、ナイジェリア、セネガル、トーゴ







終了時評価調査中に実施された国際研修（ワークショップ）の様子



モデルサイトの小学校に掲示されていた衛生啓発（ゴミ箱設置）の掲示物



プログラスマネージャー（カメルーン）に直接インタビューを行う調査団



プロジェクトが開発に協力した国家駆虫プログラムの教師研修教材（ガーナ）



終了時評価結果の協議を行った合同調整委員会の参加者一同



ミニッツ署名の様子  
（左：野口記念医学研究所長、右：山下団長）



## 略 語 一 覧

| 略語       | 正式名  | 日本語   |
|----------|--|---|
| ACIPAC   | Asian Center of International Parasite Control                       | 国際寄生虫対策アジアセンター  |
| CDDF     | Community Directed Development Foundation                            | コミュニティ開発財団(モデルサイトに設立されたコミュニティ組織)                      |
| CIPACs   | Centers for International Parasite Control                           | 国際寄生虫対策センター   |
| COGES    | Comités de gestion des établissements scolaires (仏)                  | 学校運営委員会   |
| C/P      | Counterparts   | カウンターパート(相手国実施機関の協力相手)                                |
| ECOWAS   | Economic Community of West African States                            | 西アフリカ諸国経済共同体  |
| ESACIPAC | Eastern and Southern Africa Centre of International Parasite Control | 国際寄生虫対策東南アフリカセンター                                     |
| FRESH    | Focusing Resources on Effective School Health                        | (UNESCO、UNICEF、WFP、WHO、世界銀行等との連携によって構築された包括的学校保健の枠組み) |
| GES      | Ghana Education Service  | ガーナ教育サービス   |
| GHS      | Ghana Health Service   | ガーナ保健サービス   |
| GPCI     | Global Parasite Control Initiative                                   | 国際寄生虫対策イニシアティブ  |
| IEC      | Information, Education and Communication                             | 情報・教育・コミュニケーション                                       |
| JICA     | Japan International Cooperation Agency                               | 独立行政法人国際協力機構  |
| JOCV     | Japan Overseas Cooperation Volunteers                                | 青年海外協力隊   |
| KAP      | Knowledge, Attitude and Practice                                     | 知識・態度・行動  |
| M/M      | Minutes of Meeting   | 協議議事録(ミニッツ)   |
| NGO(s)   | Non-Governmental Organizations                                       | 非政府組織   |
| NMIMR    | Noguchi Memorial Institute for Medical Research                      | 野口記念医学研究所   |
| NTD(s)   | Neglected Tropical Diseases  | 顧みられない熱帯病   |
| ODA      | Official Development Assistance                                      | 政府開発援助  |
| PCA      | Parasite Control Association   | 寄生虫対策協会   |
| PDM      | Project Design Matrix  | プロジェクト・デザイン・マトリックス                                    |
| PPP      | Public Private Partnership   | 官民連携  |
| R/D      | Record of Discussions  | 討議議事録   |
| SHEP     | School Health Education Programme                                    | 学校保健教育プログラム   |
| UNICEF   | United Nations Children's Fund                                       | 国連児童基金  |

|         |  |                  |
|---------|--|------------------|
| USAID   | United States Agency for International Development     | 米国国際開発庁          |
| WACIPAC | West African Centre for International Parasite Control | 国際寄生虫対策西アフリカセンター |
| WAHO    | West African Health Organisation                       | 西アフリカ保健機構        |
| WFP     | United Nations World Food Programme                    | 国連世界食糧計画         |
| WHO     | World Health Organization                              | 世界保健機関           |

## 評価調査結果要約表

|   |  |
|---|--|
| 1. 案件の概要  |  |
| 国名：ガーナ共和国   | 案件名：国際寄生虫対策西アフリカセンタープロジェクト   |
| 分野：保健医療   | 援助形態：技術協力プロジェクト  |
| 所轄部署：人間開発部保健人材・感染症グループ<br>感染症対策課  | 協力金額（評価時点）：約5億5千万円   |
| 協力期間  | 2004年1月1日～2008年12月31日  |
|   | 先方関係機関：ガーナ大学野口記念医学研究所（野口研：NMIMR）<br>保健省、教育省  |
|   | 日本側協力機関：慶應義塾大学、長崎大学、東京医科歯科大学、厚生労働省、国立国際医療センター、日本寄生虫予防会<br>他の関連協力：無償資金協力による野口記念医学研究所、高圧電流配電施設、P3検査室、実験動物舎、カンファレンスホール<br>第三国研修「国際寄生虫対策」（2001～2003年度） |
| 1-1 協力の背景と概要  |  |
| <p>1997年のデンバーサミットにおいて、当時日本の首相であった橋本元総理はG7先進国に対して国際的な寄生虫対策の必要性を訴えた。続く1998年のG8バーミンガムサミットで「21世紀における国際寄生虫対策」と題した報告書を提出し、日本が腸管寄生虫制圧に成功した経験をもとに、途上国における寄生虫対策に貢献する意志を表明した。これを受けて、日本政府はタイ・ケニア・ガーナに国際寄生虫対策センター（CIPACs）を設立する方針を固め、JICAの技術協力プロジェクトとして、2000年にタイのマヒドン大学において国際寄生虫対策アジアセンター（ACIPAC）、2001年にケニア中央医学研究所において国際寄生虫対策東南アフリカセンター（ESACIPAC）を設立した。ガーナ共和国（以下、「ガーナ」と記す）においては、ガーナ大学野口記念医学研究所（野口研）が国際寄生虫対策西アフリカセンター（WACIPAC）の実施主体として選ばれた。</p> <p>野口研では、1999年から2003年まで感染症対策プロジェクトがすでに実施されていたが、2001年から別途、第三国研修スキームを用いた国際研修を行いつつ、2002年より感染症対策プロジェクトに国際寄生虫対策を組み入れて活動が行われた。本プロジェクトはこれまでの経験を活かし、学校保健をエントリーポイントとした寄生虫対策に関係するさまざまなレベル（ポリシーメーカー、関係部局のプログラムマネージャー等）の人材養成と情報ネットワーク構築を主目的とするプロジェクトとして、2004年1月より5か年間の予定で実施された。</p> |  |
| 1-2 協力内容  |  |
| (1) 上位目標  |  |
| WACIPACでの人材養成により、西アフリカ地域のメンバー国において寄生虫対策プログラムが実施される。   |  |
| (2) プロジェクト目標  |  |
| WACIPACが西アフリカ地域のメンバー国の統合的な寄生虫対策のための人材養成機関としての役割を担う。   |  |
| (3) 成果（アウトプット）  |  |
| 1. WACIPACの組織能力が強化される。  |  |

2. ガーナ国内におけるフィールドリサーチを通じて学校保健による寄生虫対策のモデルが開発される。
  3. 国際研修およびフォローアップ訪問を通じて、メンバー国のポリシーメーカー、プログラムマネージャーが学校保健による寄生虫対策の知識や技術を獲得する。
  4. WACIPAC がメンバー国および CIPACs 間の情報ネットワークの核としての機能を果たす。
  5. 重点支援国が寄生虫対策のための学校保健活動を開始する。
- ※メンバー国：ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、コートジボアール、ガーナ、マリ、ニジェール、ナイジェリア、セネガル、トーゴ
- ※重点支援国：ガーナ、ベナン、ニジェール

(4) 投入（評価時）

1) 日本側：

|                 |     |           |           |
|-----------------|-----|-----------|-----------|
| 長期専門家派遣         | 7人  | 機材供与      | 141品目     |
| 短期専門家派遣         | 18人 | ローカルコスト負担 | 136,268千円 |
| CIPACs からの専門家派遣 | 9人  |           |           |
| 研修員受入れ          | 12人 |           |           |

2) 相手国側：

|                 |     |                     |  |
|-----------------|-----|---------------------|--|
| カウンターパート（C/P）配置 | 16名 |                     |  |
| ローカルコスト負担       |     | C/P の給与、車両保険、水道光熱費等 |  |
| 土地施設提供          |     | 研修施設                |  |

2. 評価調査団の概要

|     |         |        |                              |
|-----|---------|--------|------------------------------|
| 調査者 | 総括／団長   | 山下 良恵  | JICA 人間開発部次長兼保健人材・感染症グループ長   |
|     | 国際寄生虫対策 | 竹内 勤   | 慶應義塾大学医学部熱帯医学寄生虫学教室教授        |
|     | 学校保健    | 小林 潤   | 国立国際医療センター国際医療協力局感染症対策担当官    |
|     | 評価計画    | 小田 遼太郎 | JICA 人間開発部保健人材・感染症グループ感染症対策課 |
|     | 評価分析    | 薄田 榮光  | 有限会社克蘭ベリー シニアコンサルタント         |

|      |                  |      |       |
|------|------------------|------|-------|
| 調査期間 | 2008年6月14日～7月13日 | 評価種類 | 終了時評価 |
|------|------------------|------|-------|

3. 調査結果の概要

3-1 実績の確認

(1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクト前半期間においては活動の進捗に遅れが見られたが、運営指導調査および中間評価調査を通じた軌道修正が功を奏し、プロジェクト後半期間は活動進捗が加速化し、プロジェクト目標は現行協力期間内におおむね達成される見込みである。プロジェクト目標の指標となっている①メンバー国対象者の6割以上の人材の養成、②センターとしての認知度の向上、③西アフリカにおける情報ネットワークの形成、④重点支援国での政策枠組みや寄生虫対策・学校保健事業の強化についても、それぞれ満足いくレベルに達している。

各成果の達成状況としては、①WACIPAC の組織能力の向上、②デモンストレーションサ



イトとしてのガーナ国内でのモデルサイトの確立、③国際研修・ワークショップの成功、④情報ネットワークの促進、⑤重点支援国での支援活動の実施が比較的良好に進められており、これら成果の達成がプロジェクト目標の到達に有効に働いていることを確認した。

一方で、メンバー国からの WACIPAC に対する期待は高く、特にフォローアップ訪問や周辺国支援など、各国内への直接的インプットを要望する声が終了時評価時点でも多く聞かれる結果となった。プロジェクト開始時はこれら活動への対応方針が定められていなかったため、プロジェクトの軌道修正に際し、活動規模や頻度をプロジェクトのリソースに即して精査した。そのため、メンバー国からのすべての期待を満たすには至らない結果となったが、現行体制でプロジェクト目標を達成するためには適切な判断であった。

## (2) 成果（アウトプット）の達成度

### 1) 成果（アウトプット） 1

WACIPAC の組織能力は、国際研修やフィールドリサーチの運営管理能力を改善することによって次第に強化された。また、これら WACIPAC の技術や知見はメンバー国からも評価されており、WACIPAC が西アフリカ地域における人材養成と情報ネットワークの拠点であるということが認知されるようになった。しかしながら、WACIPAC の自立的運営の鍵を握るガーナ大学からの正式承認プロセスについては、センターの運営・活動に必要な資金を充当する外部ファンドが特定されていることが前提となることが明らかとなり、その手順が見直されている。具体的には、まず、WACIPAC の西アフリカにおける域内センターとしての位置づけを確立するべく、WACIPAC の機能を西アフリカ保健機構（WAHO）に統合する予定であり、野口研では本件に関する自立発展計画（案）を自主的に立案し、WAHO およびメンバー国との協議・調整を開始している。

### 2) 成果（アウトプット） 2

プロジェクトではデモンストレーションのためのモデルサイトを確立し、モデルサイトを通して教員研修手法や IEC 教材等の開発が行われた。これらは国際研修においてメンバー国とも共有されている。また、中間評価調査以降、モデルサイトではフィールドリサーチを実施しており、学校保健に基づく寄生虫対策が進められているのと同時に、フィールドリサーチを通じたデータ管理やコスト管理能力の強化も図られている。モデルサイトでの成果は、国際・国内学会等での発表や科学的な論文としてまとめられる予定である。

### 3) 成果（アウトプット） 3

プロジェクトはこれまで、メンバー国のポリシーメーカー（40 人）とプログラムマネージャー（97 人）に対して計 5 回の国際研修と計 2 回の国際ワークショップを行い、量と質ともに満足のいくレベルで知識と技術を提供した。また、研修終了後には研修参加者に対するフォローアップ訪問を合計 16 回実施し、メンバー国の寄生虫対策活動を支援してきており、その有効性が各国から評価されている。一部のメンバー国にとっては、十分な頻度のフォローアップ訪問が行われなかったとの声も聞かれたが、交通網の制約、予算、人員等プロジェクトのリソースを考慮して計画された適切な訪問数であった。

### 4) 成果（アウトプット） 4

プロジェクトは国際研修参加者や開発パートナー、CIPACs 間での情報交換をさまざまな手段（電話や E メール等）を通して推進した。WACIPAC からの情報発信や広報はニュースレターやウェブ公開、国内外の学会を通じて行われた。特にウェブサイトについては、

仏語版を開設してからヒット数が向上しており、平均して1日140回の訪問がカウントされている。なお、活動計画に含まれていた西アフリカ地域の寄生虫症にかかるデータベース構築については、各国の情報開示方法などの技術的な問題により取り組まれなかった。

#### 5) 成果（アウトプット）5

重点支援国では、WACIPACの支援により学校保健活動や寄生虫対策活動を着手しており、本成果はほぼ達成されている。ベナンでは学校をベースとした駆虫モデルを開発し、ベナン側によって駆虫モデルの全国展開が進行している。また、ニジェールでは特に学校の衛生環境面に着目した学校自己評価シートを開発パートナーとともに開発し、実証を行った。ガーナでは、WACIPACの支援により、国家駆虫プログラムが実施された。一方で重点支援国以外のメンバー国からは、自国へのWACIPAC支援が行われなかったことに一部不満の声が聞かれたが、成果3に付随するフォローアップ訪問同様、プロジェクトが適切に運営管理できる事業規模に精査した結果であり、重点支援国の選定は適切なものであったと評価される。

### 3-2 評価結果の要約

#### (1) 妥当性

妥当性は非常に高いと評価される。プロジェクトは日本の援助政策やメンバー国のニーズと整合性を保っており、プロジェクトの目的は学校保健と寄生虫対策の統合的なアプローチという点でメンバー国のニーズと合致している。WACIPACは、西アフリカ地域の保健政策において、NTD（顧みられない熱帯病）への対策や学校保健をベースとした統合的アプローチの重要性に光を当ててきたと評価される。

#### (2) 有効性

有効性は総じて高い。モデルサイトから得られた有益な情報やノウハウの蓄積、国際研修を通じての人材養成、関係者の情報交換の促進、重点支援国での活動による経験の蓄積はどれもプロジェクトの目標達成に有効であった。アウトプットを構成する活動のうち、西アフリカ地域の寄生虫症にかかるデータベースの構築は未完のまま残る可能性があるものの、プロジェクト目標（人材養成機関としての役割遂行）から見るとデータベース構築の優先度は低く、人的ネットワークを通じた疫学情報の交換も可能なことから、プロジェクト目標達成に大きな影響はないものと予測される。プロジェクト目標の指標もそれぞれ満足いくレベルに達していることから、プロジェクト終了までにプロジェクト目標が達成される見込みは高い。

#### (3) 効率性

本プロジェクトの効率性には改善の余地があった。プロジェクト開始にあたって、センターを構築する戦略やアプローチに対する絞り込みと優先順位づけが不十分であり、プロジェクトのビジョンや内容（特にモデルサイト事業）についての関係者間での共通理解を欠いていたことに起因し、プロジェクト前半の運営状況は芳しくなかった。PDM第1版も、プロジェクト関係者間の活動に対する理解を促すことにつながらず、プロジェクトの共通理解を遅らせる結果となった。ただし、プロジェクト後半は、プロジェクト専門家とC/Pが密接なコミュニケーションを図り、共通目標のために互いに協力したことにより、プロジェクト運営は大きく改善した。施設や機材の投入のタイミングや質、量に問題はなかった。一方、チーフアドバイザーの不在はプロジェクト専門家やC/Pの業務負担をもたらしたが、当初より少ない専門家数で活動をカバーしたという意味では効率的であった。

#### (4) インパクト

メンバー国を中心に、正のインパクトが見られた。重点支援国のガーナでは WACIPAC の支援により、550 万人の児童を対象に 14,000 の小学校で国家駆虫プログラムが実施された。ベナンにおいても、駆虫プログラムの試行・教材作成は完了しており、開発パートナーによる全国展開が期待されている。ニジェールでは、WACIPAC の支援により開始された学校環境衛生改善活動を開発パートナーが実施するプログラムに含めることや、ニジェールの学校教育システムに組み入れることが期待されている。それ以外のメンバー国でも、国際研修で得た知見・経験やフォローアップ訪問を通して、省庁間委員会の形成（トーゴ）、駆虫プログラムの実施（ブルキナファソ、コートジボアール、マリ）、学校保健に関する政策・ガイドラインの策定（セネガル、ナイジェリア）等が促進されており、インパクトの発現が確認された。また、上位目標の達成見込みについても、プロジェクトにおいて国際研修を受けた延べ人数は 137 人に達しており、上位目標の指標目標値 120 人を現時点で上まわっている。そのため、上位目標「WACIPAC での人材養成により、西アフリカ地域のメンバー国において寄生虫対策プログラムが実施される」は研修受講者が中心となり各国での活動を促進していくことで達成される見込みが高い。

#### (5) 自立発展性

プロジェクトによる成果を維持・発展するための基盤が整えられつつあることから、プロジェクトの自立発展性には期待が見込める。メンバー国関係者の間で前述インパクトを後押しし、センターの自立発展性を担保する気運が高まり、協力相手機関である野口研では、WACIPAC の機能を WAHO に統合する計画（案）が自主的に立案されている。WAHO は西アフリカ経済共同体（ECOWAS）傘下の保健機関であるが、現在、メンバー国の保健省・教育省関係者の支援を得て協議が進められており、実現に向けた関係機関や関係者への働きかけが活発化している。本計画（案）に従い、WACIPAC の自立発展性が担保されるよう、残余期間においてプロセスを進めることが期待されている。

### 3-3 効果発現に起因した要因

#### (1) 計画内容に関すること

CIPACs 間での連携促進は、ACIPAC・ESACIPAC の経験を WACIPAC の国際研修に活かすうえで有益であった。

#### (2) 実施プロセスに関すること

プロジェクト後半の JICA 専門家と C/P との密接なコミュニケーションとガーナ側のプロジェクトに対するオーナーシップとリーダーシップにより、プロジェクト運営は改善し、活動の加速化に貢献した。

### 3-4 問題点および問題を引き起こした要因

#### (1) 計画内容に関すること

プロジェクト開始にあたって、国際寄生虫対策センターを構築する戦略やアプローチに対する絞り込みと優先順位づけが不十分であった。また、プロジェクトのビジョンや内容（特にモデルサイト事業）についての共通理解が不十分であった。

#### (2) 実施プロセスに関すること

事前評価時に指摘されていた周辺国の政情不安定や交通網の制約が、フォローアップ訪問

や周辺国支援活動、国際研修といった活動に影響を与え、効率性の阻害要因となった点は否めない。また、周辺国支援の実施要領策定や会計規定のすり合わせといった実務面から、各国バイ協力の方針との整合性を図る政策面に至るまで、広域協力としてのメカニズムをプロジェクト活動と並行して形成せざるを得ず、活動開始の遅延や関係者間の混乱を引き起こした。

### 3-5 結論

プロジェクト前半期間において、プロジェクトは上記「3-4」に示すような運営上困難な状況に直面していたものの、運営指導調査および中間評価調査を通じた軌道修正が功を奏し、プロジェクト後半期間は活動進捗が加速化し、プロジェクト目標である「WACIPAC が西アフリカ地域のメンバー国の統合的な寄生虫対策のための人材養成の役割を果たす」は、現行協力期間内におおむね達成される見込みである。

各成果の達成状況としては、①WACIPAC の組織能力の向上、②デモンストレーションサイトとしてのガーナ国内でのモデルサイトの確立、③国際研修・ワークショップの成功、④情報ネットワークの促進、⑤重点支援国（ガーナ・ベナン・ニジェール）での支援活動の実施が比較的良好に進められており、これら成果の達成がプロジェクト目標の到達に有効に働いていることを確認した。

評価5項目の観点からの評価としては、特にプロジェクトがもたらしたインパクトにおいて特徴的な成果が発現しており、重点支援国では WACIPAC が支援した駆虫モデルや学校自己評価シートの開発に基づき、国家レベルでのスケール・アップ（普及）が進行中であることを確認した。また、それ以外のメンバー国においても、国際研修で得た知見・経験や WACIPAC のフォローアップ訪問を通して、省庁間委員会の形成、駆虫プログラムの実施、学校保健政策・ガイドラインの策定等が促進されてきたことは特筆に値する。

一方で、プロジェクト前半期間において、活動に対する関係者間のコンセンサス形成やプロジェクト運営に関連して円滑な活動遂行に影響を与えた時期があった。その多くが運営指導調査や中間評価調査を通して改善されたものの、プロジェクト運営上の教訓として、進捗に及ぼした状況と改善方策について日本側で共有し、今後の類似案件の参考としていく必要性があろう。

今後に向けて、協力相手機関である野口研では、センターの自立発展性を担保する気運が高まり、WACIPAC の機能を WAHO に統合する計画（案）が自主的に立案されている。現在、メンバー国の保健省・教育省関係者の支援を得て協議が進められている。残余期間においても継続してこれらプロセスを進めることで、本プロジェクトの成果を持続させていくことにつながるであろう。

### 3-6 提言

- (1) WACIPAC の自立発展性を確保するべく、WAHO へのプロポーザル提出を早期に行い、継続してメンバー国からの協力を得られるよう努力すること。
- (2) モデルサイトでのリサーチ結果を取りまとめ、科学的な論文を執筆・投稿するなど、WACIPAC が継続してオペレーショナル・リサーチを先導すること。
- (3) 更なる成果発現に向けて、重点支援国での活動（計画済み）を確実にモニタリングすること。

### 3-7 教訓

本プロジェクトの協力期間の前半においては、プロジェクトの円滑な進捗を結果的に妨げることになる状況がいくつか見られたが、そのような状況は関係者の努力により協力期間の後半に大きく改善された。本節では、プロジェクトの円滑な進捗を阻害した状況とその状況改善のために

取られた措置に基づき、将来の JICA のプロジェクト運営の参考となり得る諸点を教訓として以下に列記する。なお、本教訓は日本側関係者間で抽出したものであり、先方政府と共有しているものではない。

(1) 広域協力の案件形成上の留意点

広域協力の有効性について日本側で取り上げられ話題になる機会が多いが、途上国側の要望の調整や合意形成、計画・実施の手順について整理されておらず、案件設計が容易ではない協力形態であり、準備に多くの時間と労力がかかることを、関係者がまず認識する必要がある。そのうえで、協力開始前に、協力対象各国の政府窓口・C/P 機関、それらの国を担当する JICA 事務所と十分協議し、協力の内容と方法について合意するとともに、基本的な人間関係を構築しておくべきである。これには相当の時間がかかる可能性があるが、協力開始前にこれらの段階を踏まなければ、協力開始後、関係者の認識や具体的な協力方法について齟齬が生じて活動の遅延や混乱を招く可能性が高い。

(2) プロジェクトの基本認識の形成と共有

プロジェクトの準備から協力開始後の初期段階においては、何よりもまず関係者間の信頼関係を構築し相互理解を深めたうえで、プロジェクトの目標、予算を含む事業実施体制の見通し、具体的な活動計画などについて、基本的な認識をすり合わせ共有する必要がある。その過程で、関係者が必要と考えるならば、PDM の修正にも早めに取り組むことが望ましい。PDM は、所期の目的の達成に向けてプロジェクトの適正な進捗を管理するためのツールであり、関係者が理解して使いこなせるものであるべきである。

(3) 協力相手方の特徴を勘案したプロジェクト計画の検討

JICA としての協力可能範囲や程度〔予算額・支出可能項目・会計基準、専門家の指導分野・派遣可能時期・人数、協力対象地域（安全対策の観点も含む）等〕については、具体的に活動計画を立てる前に、協力相手方に明確に説明し理解を得ておくべきである。その際、一方的に JICA の原則だけを主張するのではなく、協力相手方の特徴（組織基盤、組織の機能、現有の人材、JICA との協力の実績等）を勘案し、折り合える点を探る姿勢が必要である。野口研の場合は、管理費で雇用が保障されている定員は少数しかいない一方、さまざまな外部資金を獲得して人材を期間雇用する方式で長年業務を遂行してきていること、組織の本分は研究であり、主要 C/P は研究者であること、主要 C/P は自立的に仕事を進める能力を持った人材であるといった特徴がある。本プロジェクトの場合は、日本側がこれらの点を明確に意識し始めてから、C/P との協議がより建設的に進展するようになったと感じられる。

(4) プロジェクトのモニタリング上の留意点

案件形成を綿密に行うことは、どのプロジェクトにも共通している基本事項ではあるが、プロジェクト開始後、仮にプロジェクトの現場関係者のみで解決することが困難な状況が発生した場合は、JICA 事務所や本部は適時に現場に出向いて調整を図る必要がある。その際可能な限り、プロジェクト準備段階からの経緯を理解している人物（国内支援委員等）の関与による首尾一貫した対応が求められる。



## Summary of Final Evaluation

|   |   |   |
|---|---|---|
| I. Outline of the Project   |   |   |
| Country: Republic of Ghana  |   | Project title:<br>Project for the West African Centre for International Parasite Control (WACIPAC)  |
| Issue/Sector: Health  |   | Cooperation scheme: JICA Technical Cooperation  |
| Division in charge:<br>Infectious Disease Control Division,<br>Human Development Department, JICA   |   | Total cost: 550 million Yen   |
| Period of Cooperation   | (R/D):<br>From 1 January 2004<br>to 31 December 2008  | Partner Country's Implementing Organization:<br>Noguchi Memorial Institute for Medical Research,<br>University of Ghana, Ministry of Health, Ministry of Education  |
|   |   | Supporting Organization in Japan<br>Keio University, Nagasaki University, Tokyo Medical and Dental University, Ministry of Health, Labor and Welfare International Medical Centre of Japan, Japan Association of Parasite Control |
| Related Cooperation   | Grant Aid for NMIMR (P3 Laboratory, Conference Hall, etc)<br>Third Country Training (International Parasite Control) (JFY2001-2003) |   |
| 1-1 Background of the Project   |   |   |
| <p>The Global Parasite Control Initiative (GPCI) had its inception at the 1997 Denver Summit of the G7 countries when Japan advocated the importance of international co-operation in parasitic diseases control. At the subsequent G8 meeting in Birmingham in 1998, Japan declared her intention to help developing countries to strengthen their human and information network for parasitic diseases control through establishing three regional centres in Thailand, Kenya and Ghana.</p> <p>Following this decision, Asia Centre of International Parasite Control (ACIPAC) was established at Mahidol University in Thailand in 2000. Then the Eastern and Southern Africa Centre for International Parasite Control (ESACIPAC) was established at Kenya Medical Research Institute, Kenya in 2001. In Ghana, Noguchi Memorial Institute for Medical Research (NMIMR), University of Ghana was selected as the Centre for promoting Global Parasite Control Initiative in West Africa.</p> <p>As NMIMR carried out Infectious Disease Control Project supported by JICA from 1999 to 2003, third country training programme was introduced to initiate GPCI and some related activities to parasite control were also incorporated into the Infectious Disease Control Project. With aid of previous experiences and preparatory work, the Project for the West African Centre for International Parasite Control (WACIPAC) was launched to build capacity of various level of target group such as policy makers and programme managers for parasite control and to promote network among relevant persons and Centres for International Parasite Control (CIPACs) in January 2004.</p> |   |   |
| 1-2 Project Overview  |   |   |
| (1) Overall Goal  |   |   |
| Parasitic diseases control programmes of the member countries in the West African sub-region are implemented by the capacity built by/at WACIPAC.   |   |   |

## (2) Project Purpose

WACIPAC performs the role of building capacity for integrated parasite control activities of the member countries in the West African sub-region.

## (3) Outputs

1. Institutional capacity of WACIPAC is strengthened
2. A model for school health based intervention for parasite control is developed through field research activities in Ghana.
3. Policy makers and programme managers of the member countries acquire knowledge and skills concerning school health based intervention for parasite control through the international training courses and follow-up.
4. WACIPAC functions as a hub for information network within the member countries, and promotes networking among three GPCI International Centres.
5. Supporting countries start activities on school health based intervention for parasite control.

\* Member countries: Benin, Burkina Faso, Cameroon, Côte d'Ivoire, Ghana, Mali, Niger, Nigeria, Senegal and Togo

\* Supporting countries: Benin, Ghana and Niger

## (4) Inputs

Japanese side:

1. 7 long and 18 short-term experts
2. 9 experts from ACIPAC and ESACIPAC as trainers or resource persons
3. Provision of equipment (141 items)
4. 12 persons of counterpart training in Japan
5. Local cost (136 million Yen)

Ghanaian side:

1. 16 appointed counterparts for WACIPAC
2. Salaries of counterparts, insurance for vehicles, electricity, and water, etc
3. Provision of land and training facility

## II. Evaluation Team

|                                |               |                                |  |
|--------------------------------|---------------|--------------------------------|--|
| Members of the Evaluation Team | Team Leader   | Ms. Yoshie YAMASHITA           | Group Director, Health Human Resources and Infectious Disease Control Group, Human Development Department, JICA                                |
|                                |               | International Parasite Control |  |
|                                |               | Dr. Tsutomu TAKEUCHI           | Professor, Department of Tropical Medicine and Parasitology, School of Medicine, Keio University   |
|                                | School Health | Dr. Jun KOBAYASHI              | Head of Infectious Disease Control Group, Experts Service Division, Bureau of International Cooperation, International Medical Centre of Japan |



|                      |  |                                      |
|----------------------|--|--------------------------------------|
|                      | Evaluation Planning<br>Mr. Ryotaro ODA<br>Staff, Infectious Disease Control Division,<br>Health Human Resources and Infectious<br>Disease Control Group, Human Development<br>Department, JICA |                                      |
|                      | Evaluation Analysis<br>Mr. Eimitsu USUDA<br>Senior Consultant, Cranberry Company   |                                      |
| Period of Evaluation | 14 June 2008-13 July 2008  | Type of Evaluation: Final Evaluation |

### III. Results of Evaluation

#### 3-1 Achievements

##### (1) Achievement of the Project Purpose

The Project Purpose is likely to be achieved by the end of the Project while a few expectations remain uncompleted. The proportion of actual to planned participants who have received training for school health programme and parasite control in the member countries totaled 137, which clearly exceeded the indicator of the Project Purpose. All member countries of participants assessed the international training satisfactory and highly recommended the training programme.

According to the questionnaire responses by the participants of member countries, they rated for WACIPAC's role for capacity building very positive. They also recognized WACIPAC's role as a hub for global communication and operational research. The participants of member countries rated WACIPAC as the hub of global information network for parasite control +1.0 with the range from (-2) to (+2). Four (4) of the participants answered "very much", six (6) answered "some extent", and two (2) answered "not much" out of twelve (12). They rated WACIPAC as operational research institute for integrated school-based parasite control + 0.8 with the range from (-2) to (+2) to the question of how much they recognized. Five (5) of the participants put "very much", four (4) put "some extent", two (2) put "not much", and 1 put "not at all" out of twelve (12). Therefore the recognition level of WACIPAC in member countries was judged high.

WACIPAC also stimulated communication among personnel working on parasite control. About 40 % of contact person communicate at least once a month with telephone, e-mail, and meetings. As a hub of communication, WACIPAC continuously contact 30 persons at least every two month, and 34 persons quarterly by means of e-mail, telephone, and personal contact. However, database for parasite control was not developed and had difficulties in the remaining period.

The start-up project and the follow-up visits created a supportive environment for programme managers and partners through stakeholder workshops. The joint evaluation meetings in Niger and Benin demonstrated the experiences and acquired skills for the school health and parasite control although they need more support to achieve the goals in the remaining period.

##### (2) Achievement of Outputs

1. Output 1: WACIPAC gradually strengthened its organizational capacity through improvement of ability to manage international training courses and field research. The response to the questionnaire showed that member countries recognized the role of WACIPAC in capacity building and the hub of information on school-based parasite control. They also mentioned the appreciation of skills and knowledge of WACIPAC during the direct interview to the programme managers in

the training workshop. WACIPAC's institutional capacity improved despite the following challenges: 1) the staffs of NMIMR served concurrently WACIPAC, the conventional way of human resource allocation in the institute, and 2) the framework of the current WACIPAC Project seemed novel to NMIMR. Some additional staffs were employed by the Project. In order to sustain the function and operation of WACIPAC, a sustainable plan is being proposed to member countries.

2. Output 2: The Project completed a model site for demonstration and is presenting the outcomes of field research for school-based parasite control strategies in the model site through academic conferences and meetings. In addition, WACIPAC improved data and cost management in model site activities.
3. Output 3: The Project held two (2) policy maker workshops and five (5) international training courses for 137 participants comprising 40 policy makers and 97 programme managers, thus exceeded the indicator. The Project satisfactorily conducted international workshops and training courses for policy makers and programme managers of member countries in terms of quantity and quality. The Project conducted 16 follow-up visits to all member countries in addition to the visits to the start-up projects. According to the responses to questionnaire, participants from all member countries endorsed the validity of follow-up visits to their countries.
4. Output 4: The Project promoted information exchange among participants in the international training, development partners and CIPACs by various means. Dissemination of public information from WACIPAC was improved through the newsletters, web site, and local and international conferences. Especially, website seemed successful as the average number of access to the website is 140 per day from January 2007, increased from the previous average 17.5. However, the database on parasitic disease among member counties was not developed as planned. Virtually all countries need information clearance from their authorities before the release of data.
5. Output 5: The Output is likely to be achieved as Supporting countries are implementing the relevant activities on school-based intervention for parasite control. Benin developed a school-based de-worming model for nation-wide implementation and is making efforts to apply self-assessment criteria. Niger developed self evaluation criteria and tools with development partners. Ghana implemented National De-worming programme with WACIPAC support.

### 3-2 Summary of Evaluation Results

#### (1) Relevance

Relevance is very high. The Project is valid and meaningful to attain the objectives at the time of evaluation. The importance of WACIPAC's role is growing on the health policy front. The Project is coherent to the assistance policy of Japan as well as the expectations of the member countries. The objectives also meet the needs of the member countries in terms of integrated approach for school health and parasite control. WACIPAC's achievements including the outcomes of CIPACs brought out the importance of neglected tropical diseases and integrated approach of school health into the West African health policy front.

## (2) Effectiveness

Effectiveness is relatively high. The Project has produced positive effects through useful information and accumulated know-how from model sites, capacity building through international training courses, communications among stakeholders, and experiences accumulated from start-up projects in Supporting countries. However, the database for parasite diseases might be remained uncompleted.

## (3) Efficiency

There are some rooms for improvement for efficiency of the Project. In the early phase of the Project implementation, efficiency was not assessed high due to the difficulties of management rooted in the former logical framework. However, in the later phase the Project management significantly improved as JICA experts and counterparts closely communicated and coordinated to attain the common objectives. The former logical framework consequently brought the delay of mutual understanding of the Project. The building, equipment and materials are input timely with satisfactory level of quantity and quality. The absence of JICA chief advisor caused overload against some JICA experts and counterparts.

## (4) Impact

Positive impacts can be observed in member countries of the Project. Supporting countries actively implemented school-based parasite control programmes. In Ghana, with the help of WACIPAC, the National De-worming Programme was conducted at 14,000 primary schools covering 5.5 million pupils. In Benin, the nation-wide school based de-worming programme is expected to be implemented. In Niger, it is expected that the developed self-assessment tool be incorporated into development partner's programme and be delivered through local education system. Some member countries initiated their own approach and activities in terms of development of policy paper and guideline, support of de-worming programme, and creation of inter-ministry committee. As for overall goal, expected impact "Parasitic diseases control programmes of the member countries in the West African sub-region are implemented by the capacity built by/at WACIPAC" will be seen in 3-5 years if WACIPAC continuously plays current role. In fact, the number of participants in the international training courses reached 137, which exceeds the indicator of the overall goal.

## (5) Sustainability

Sustainability can be expected as WACIPAC developed its own sustainable plan to be incorporated into West African Health Organization (WAHO) of Economic Community of West African States (ECOWAS). When WACIPAC successfully passes through the plan, it will gain the authorized recognition from the member countries and the University of Ghana.

### 3-3 Promoting Factors

#### (1) Factors concerning Planning

Scheme of inter-cooperation (south to south) among CIPACs was beneficial to promote the utilization of ACIPAC's experience in international training of WACIPAC.

#### (2) Factors Concerning the Implementation Process

The cooperative manner between counterparts and JICA experts and ownership of the Project by counterparts drive forward the Project schedule, in particularly in the later phase.

### 3-4 Inhibiting Factors

#### (1) Factors Concerning Planning

The Project faced difficulties in the early phases due to a lack of focus and priority on approaches over the establishment of WACIPC. There was not common understanding about the whole concept of a model site. Those disharmonies lead the delay of the Project schedule.

#### (2) Factors Concerning the Implementation Process

Political instability of the neighboring countries and inefficient and unstable transportation system in the region brought about delay of event, detour, and adjournment to follow-up visits, start-up activities and international training courses.

### 3-5 Conclusions

The Project is likely to achieve its objectives by the end of the period although it had faced difficulties of project management in early phase. The Project is valid and meaningful to attain the goals, and all outputs were effective to achieve the Project purpose. Particularly, the international trainings contributed the capacity building of participants in member countries. Efficiency of the Project was hardly assessed as high due to the difficulties of implementation in the early phase. However, in the later phase, the Project management significantly improved through enhanced communication among implementers. Expected impact: “Parasitic diseases control programmes of the member countries in the West African sub-region are implemented by the capacity built by/at WACIPAC” will be seen in 3-5 years if WACIPAC continuously plays current role. Most of the member countries presented WACIPAC’s impact in terms of collaboration between Ministry of Health and Ministry of Education, use of its skills such as planning and evaluation of school health and parasite control programme. When WACIPAC successfully passes through the plan that WACIPAC is to be incorporated into WAHO and gains the authorized recognition from the member countries and the University of Ghana, the outcomes from the Project will be continuously utilized and expanded in the region.

### 3-6 Recommendations

1. WACIPAC requests concerted efforts by member countries to ensure its sustainability as a regional centre.
2. WACIPAC makes up and submits the solid proposal to WAHO for earlier authorization.
3. WACIPAC continues playing a leading role in operational research, and publish scientific articles in peer-reviewed journals.
4. WACIPAC monitors and supports the planned activities of start-up projects leading to success.

# 第1章 終了時評価調査の概要

## 1-1 調査団派遣の経緯と目的

1997年のデンバーサミットにおいて、我が国政府は、寄生虫対策に対する国際的な協力推進についてのイニシアティブ（国際寄生虫対策イニシアティブ：Global Parasite Control Initiative：GPCI）を提唱した。また、寄生虫対策を効果的に進めるためにアジアとアフリカに人づくりと研究活動のための拠点をづくり、国際機関および先進諸国と協力した国際ネットワーク構築、寄生虫対策分野における人材育成および情報交換の推進を提案した。

上記イニシアティブを具体化するため、アジア地域ではタイ、東南アフリカ地域ではケニア、西アフリカ地域ではガーナ共和国（以下、「ガーナ」と記す）を拠点と定めた。JICAは、これらがアジアとアフリカの寄生虫対策に関する人材育成と情報ネットワークの拠点として機能していくためのキャパシティー・ビルディングに対し協力することを目的として、各国において技術協力プロジェクトを開始した。

ガーナにおいては、西アフリカ地域での寄生虫対策分野における人材育成と情報ネットワークの拠点として、ガーナ大学野口記念医学研究所（以下、「野口研」と記す）において、国際寄生虫対策西アフリカセンター（West African Centre for International Parasite Control：WACIPAC）を設置している。同センターでは学校保健に基づく寄生虫対策モデルの試行、国際研修およびワークショップの開催、対象国における小規模事業への支援等を行う技術協力プロジェクトを2004年1月から5年間で実施中である。調査実施時点において、本プロジェクトでは、3名の日本人専門家（公衆衛生／国際寄生虫対策、リサーチマネジメント、業務調整／周辺国支援）を派遣中であり、2008年4月からは短期の日本人専門家（研修マネジメント／学校保健）も派遣している。

プロジェクトでは、ガーナ国内においてモデルサイトを設置しており、フィールドリサーチの実施（①アダフォ地区における学校でのインターベンションを通じた寄生虫対策とコミュニティの役割に関する研究、②カセ地区におけるマラリア予防教育の学校からコミュニティへの波及に関する研究の2件）を通じて、学校保健に基づく寄生虫対策モデルを試行している。現在のところ、研究プロポーザルの作成・承認、ベースライン調査の実施、対象校でのインターベンションが展開されており、今後インターベンション後のフォローアップ調査として、KAP（Knowledge, Attitude and Practice）調査や寄生虫学的調査を行い、研究結果をまとめる予定である。

また、これらモデルサイトにおける活動成果を材料として、プロジェクトでは西アフリカ地域のメンバー国（ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、コートジボアール、ガーナ、マリ、ニジェール、ナイジェリア、セネガル、トーゴ）の寄生虫対策人材に対し、国際研修（年1回）を実施している。さらに、その中からベナン、ニジェール、ガーナの3か国を重点支援国として位置づけ、研修受講後のフォローアップとして、国際研修参加者が出身国において実施する寄生虫対策もしくは学校保健の小規模事業に対し、WACIPACスタッフの出張を通じた技術支援を行っている。

その他、プロジェクトではニュースレターの発行やホームページの開設・更新を通じて情報発信を推進しており、メンバー国間およびタイ・ケニアの国際寄生虫対策センター（Centers for International Parasite Control：CIPACs）間での情報ネットワーク機能を構築している。

今般、本プロジェクトが2008年12月で終了するにあたり、先方政府と合同でプロジェクトの実績を確認し、計画に対する達成度を確認するとともに、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、

インパクト、自立発展性)の観点から評価を行うべく、終了時評価調査団を派遣した。同調査団では評価結果に基づき、残存する活動期間における提言を行うとともに、協力期間終了後取るべき対応策について協議した。また合同評価報告書を作成し、合意文書(ミニッツ)を締結した。

なお、本調査団派遣期間のうち、2008年6月30日から7月4日までの間、プロジェクトではメンバー国の保健省・教育省ポリシーメーカー(大臣・次官級の政策決定者)および各省のプログラムマネージャー(寄生虫対策・学校保健担当官)を召集した国際研修(ワークショップ)の最終回を実施した。同研修では、終了時評価調査の結果共有と意見交換等を行った。

主な調査内容は以下のとおりである。

- (1) プロジェクト関係者への質問票・インタビュー、ベナンおよびニジェールにおける合同評価会、ガーナにおける国際研修(ワークショップ)への参加、野口研カウンターパート(Counterparts : C/P)向け合同評価会の実施等を通じて収集した情報に基づき、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、活動プロセス等に関する情報・データの収集・整理を行うとともに、プロジェクト実績の貢献・阻害要因を抽出する。
- (2) 上記(1)の結果に基づき、プロジェクト目標が達成されたかどうかを評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性)の観点から評価する。
- (3) 評価結果に基づき、残存する活動期間における提言を行うとともに、協力期間終了後の取るべき対応策について協議する。
- (4) 日本側、ガーナ側で合意した評価結果を合同評価報告書として取りまとめ、合意文書(ミニッツ)の署名交換を行う。

## 1-2 調査団の構成

本調査団は以下のとおり5名で構成した。このうち、小林団員と薄田団員の2名は他団員より約2週間先行して現地入りし、ガーナ国内モデルサイト、ベナン、ニジェールでの調査を実施した。

| 氏名     | 担当分野    | 所属先                          | 派遣期間      |
|--------|---------|------------------------------|-----------|
| 山下 良恵  | 総括/団長   | JICA 人間開発部次長兼保健人材・感染症グループ長   | 6/28~7/13 |
| 竹内 勤   | 国際寄生虫対策 | 慶應義塾大学医学部熱帯医学寄生虫学教室教授        | 6/28~7/13 |
| 小林 潤   | 学校保健    | 国立国際医療センター国際医療協力局感染症対策担当官    | 6/14~7/13 |
| 小田 遼太郎 | 評価計画    | JICA 人間開発部保健人材・感染症グループ感染症対策課 | 6/28~7/13 |
| 薄田 榮光  | 評価分析    | 有限会社クランベリー シニアコンサルタント        | 6/14~7/13 |

### 1-3 調査日程

本調査は以下のとおり、2008年6月14日から7月13日まで、約1か月間にわたって実施した。

| 月日   | 曜 | 日程  |   |
|------|---|---|---|
| 6/14 | 土 | <小林団員・薄田団員>成田発 (12:00/JL401) →ロンドン着 (16:35) |   |
| 6/15 | 日 | ロンドン発 (14:15/BA081) →アクラ着 (20:10)           |   |
| 6/16 | 月 | JICA ガーナ事務所協議<br>プロジェクトでのブリーフィング            |   |
| 6/17 | 火 | モデルサイト調査 (アダフォ地区)                           |   |
| 6/18 | 水 | 陸路移動 (アクラ→コトヌ ※トーゴ経由)                       |   |
| 6/19 | 木 | JICA ベナン駐在員事務所協議<br>合同評価会準備 (ベナン)           |   |
| 6/20 | 金 | 合同評価会 (ベナン)                                 |   |
| 6/21 | 土 | コトヌ発 (21:30/2J 316) →ワガドゥグ着 (22:00)         |   |
| 6/22 | 日 | ワガドゥグ発 (8:00/2J 109) →ニアメ着 (9:55)           |   |
| 6/23 | 月 | JICA ニジェール事務所協議<br>合同評価会準備 (ニジェール)          |   |
| 6/24 | 火 | 合同評価会 (ニジェール)                               |   |
| 6/25 | 水 | ニアメ発 (9:40/2J 104) →ワガドゥグ着 (9:35)           |   |
| 6/26 | 木 | ワガドゥグ発 (13:00/ 04 542) →アクラ着 (15:00)        |   |
| 6/27 | 金 | インタビュー調査                                    |   |
| 6/28 | 土 | 資料整理  | <山下団員・竹内団員・小田団員><br>成田発 (12:00/JL401)<br>→ロンドン着 (16:35) |
| 6/29 | 日 | 資料整理  | ロンドン発 (14:15/BA081)<br>→アクラ着 (20:10)                    |
| 6/30 | 月 | 国際研修 (ワークショップ) 1日目<br>参加者インタビュー調査           | JICA ガーナ事務所協議<br>団内打ち合わせ<br>(午後から国際研修参加)                |
| 7/1  | 火 | 国際研修 (ワークショップ) 2日目<br>参加者インタビュー調査           |   |
| 7/2  | 水 | 国際研修 (ワークショップ) 3日目                          |   |
| 7/3  | 木 | 国際研修 (ワークショップ) 4日目<br>終了時評価調査途中経過発表         |   |
| 7/4  | 金 | 国際研修 (ワークショップ) 5日目                          |   |
| 7/5  | 土 | 資料整理  |   |
| 7/6  | 日 | 資料整理  |   |
| 7/7  | 月 | 合同評価会 (野口研)                                 |   |
| 7/8  | 火 | 合同評価報告書案作成                                  |   |

|      |   |  |
|------|---|--|
| 7/9  | 水 | 合同調整委員会（JCC）、ミニッツ案協議   |
| 7/10 | 木 | ミニッツ案協議  |
| 7/11 | 金 | ミニッツ署名<br>JICA ガーナ事務所報告<br>在ガーナ日本国大使館報告<br><山下団員・竹内団員・小林団員・小田団員・薄田団員><br>アクラ発（22：35／BA078） |
| 7/12 | 土 | →ロンドン着（6：35）<br>ロンドン発（19：00／JL402）   |
| 7/13 | 日 | →成田着（14：45）  |

#### 1-4 主要面談者

(1) 野口記念医学研究所（Noguchi Memorial Institute for Medical Research：NMIMR）関係者

|                           |   |
|---------------------------|---|
| Prof. Alexander K. Nyarko | Project Director/ Director of NMIMR               |
| Prof. Michael D. Wilson   | Deputy Project Director/ Deputy Director of NMIMR |
| Prof. Kwabena M. Bosompem | Project Manager/ Head of Parasitology Department  |
| Prof. Daniel A. Boakye    | Senior Member of Parasitology Department          |
| Mr. Maxwell A. Appawu     | Senior Member of Parasitology Department          |
| Dr. Irene Ayi             | Senior Member of Parasitology Department          |

(2) ベナン関係者 ※合同評価会議参加者

|                            |   |
|----------------------------|---|
| Dr. Toko Lucien            | Chef en Service Santé au Travail et en Milieu Scolairz et<br>Universitaire, Direction Nationale de la Protection Sanitaire  |
| Dr. Simon Atayi            | Medecin Chef, Centre de Sante Dangbo  |
| Chantal Houkanirin         | Collaboratrice au Service de la Santé en Milieu Scolaire,<br>Direction de la Promotion de la Scolarisation, Ministère des<br>Enseignements Primaires et Secondaires |
| Batoko Kandissounon        | Ancienne Directrice de la Promotion de la Scolarisation   |
| Mitchdojehoun d'Assomption | Chef de la Circonscription Scolaire de Dangbo   |
| Rafiatou Karimou           | Ancien Ministre des Enseignements Primaires et Secondaires  |

(3) ニジェール関係者 ※合同評価会議参加者

|                           |  |
|---------------------------|--|
| M. Doulaye Boureima       | Coordonnateur du Bureau de la Santé Scolaire, MEN  |
| Dr. Amadou Abdou          | Chef de Department Recherche ISP   |
| Adoulaye Boureima         | Responsable du volet sante, BSS, MEN   |
| Mahamadou Mounkaila       | BSS, MEN   |
| Dr. Alfari Aichatou Djibo | Coordinatrice Nationale du Programme National de lutte<br>contre la Bilharziose et les Vers intersinaux, MSP |
| Dr. Magagi Nouhou         | Chef de Divsion medecine du travail et medecine scolaire,<br>MSP   |



|                        |   |
|------------------------|---|
| Chaibou Hallarou       | DHP/ES, MSP                             |
| Salack Delah Aiyssiycj | PF, DREN/Tillaberi                      |
| Mme. Trapsida Ramatou  | Administratrice Education, UNICEF Niger |
| Jaqueline Diambomba    | PAM Niamey (WFP)                        |

(4) メンバー国関係者

※直接インタビューを行ったプログラマネージャー。上記(2)(3)と重複する人物を除く。

<ブルキナファソ>

|                       |   |
|-----------------------|---|
| Mme. Ouedraogo Andréa | Point Focal MEBA/HKI, Consortium des ONG Santé<br>Scolaire et Nutrition |
| Dr. Sanon Théophile   | Direction Régionale de la Santé du Centre                               |

<カメルーン>

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| Dr. Ngaha Augustin                 | Chef de l'Inspection Médico-Scolaire Provinciale du Nord,<br>Ministère de l'Education de Base  |
| Prof. Tchuem Tchuenta Louis-Albert | Coordinator, National Program for the Control of<br>Schistosomiasis and STH / Director, Centre for<br>Schistosomiasis & Parasitology |

<コートジボアール>

|  |  |
|--|--|
| M. Koffi Yao Faustin                         | Direteur de la Mutualité et des Œuvres Sociales en milieu<br>Scolaire à l'Education Nationale, Ministère de l'Education<br>Nationale |
| Dr. Diango Nee Nobou<br>Abo Claudine Solange | Directeur du Programme National de Santé Scolaire et<br>Universitaire  |

<ガーナ>

|                            |  |
|----------------------------|--|
| Mrs. Bosomtwi –Sam Cynthia | National SHEP Coordinator, Ghana Education Service |
| Dr. Biritwum Nana Kwadwo   | Programme Manager, NTDs, Ghana Health Service      |

<マリ>

|                              |   |
|------------------------------|---|
| Dr. Guindo Moussa            | Chef de la Section Santé au Travail, Scolaire et Sportive à la<br>Direction Nationale de la Santé |
| Mme. Keita Fatoumata Doumbia | Chef de Volet Santé Scolaire Centre National de l'Education                                       |

<ナイジェリア>

|                            |  |
|----------------------------|--|
| Mr. Dada Jide Joseph       | Officer, School Health Programme Desk            |
| Mrs. Enumah Maria Nwakaego | Chief Health Promotion & Education Officer, FMOH |

<セネガル>

Mme. Diallo Khady

Agent à la Division du Contrôle Médical Scolaire, Ministère de l'Education

M. Toure Cheikh

Consultant en Communication au Bureau de l'UNICEF à Dakar

<トーゴ>

M. Mensah Kossi Mihlamgbidi

Coordonnateur des Relations Extérieures et des Partenariats

Dr. Kpotsra Koffi

Inspection des écoles, Service National de la Santé des Jeunes et des Adolescents

(5) 日本側関係者

嘉川 裕康

在ガーナ日本大使館 一等書記官兼医務官

茂田 剛

在ガーナ日本大使館 二等書記官

水内 健太郎

在ガーナ日本大使館 経済協力調整員

栗澤 俊樹

ガーナ派遣プロジェクト長期専門家  
(公衆衛生/国際寄生虫対策)

花房 茂樹

ガーナ派遣プロジェクト長期専門家  
(リサーチマネジメント)

小澤 真紀

ガーナ派遣プロジェクト長期専門家  
(業務調整/周辺国支援)

竹内 理恵

ガーナ派遣プロジェクト短期専門家  
(研修マネジメント/学校保健)

山内 邦裕

JICA ガーナ事務所 所長

松澤 余帆子

JICA ガーナ事務所 所員

丹 みゆき

JICA ガーナ事務所 在外専門調整員

渡邊 次男

JICA ベナン駐在員事務所 駐在員

柴田 敦子

JICA ベナン駐在員事務所 企画調査員

西本 玲

JICA ニジェール事務所 所長

水口 大

JICA ニジェール事務所 企画調査員

## 1-5 プロジェクト概要

### (1) 協力の目標 (アウトカム)

#### 1) 上位目標

WACIPAC での人材養成により、西アフリカ地域のメンバー国において寄生虫対策プログラムが実施される。

#### 2) プロジェクト目標

WACIPAC が西アフリカ地域のメンバー国の統合的な寄生虫対策のための人材養成機関としての役割を担う。

(2) 成果（アウトプット）および活動

1) 成果1 WACIPAC の組織能力が強化される。

<活動>

1. ガーナ大学から WACIPAC の正式な設立にかかる承認を得る。
2. 合同調整委員会等の会議を C/P 機関や関連機関とともに開催する。
3. WACIPAC のマネジメント構造を強化する。
4. 本邦研修等を通じて WACIPAC の人材育成を行う。

2) 成果2 ガーナ国内におけるフィールドリサーチを通じて学校保健による寄生虫対策のモデルが開発される。

<活動>

1. WACIPAC のためのモデルサイトにおけるマネジメント体制を整備する。
2. 寄生虫対策のための健康教育教材を開発する。
3. モデルサイトにおける人材育成を行う。
4. モデルサイトにおける「対策活動」を導入する。
5. モデルサイトにおけるコミュニティに基づく組織との連携による「学校からコミュニティへのアプローチ」のように、モデル活動の有効性を実証するためのフィールドリサーチとモニタリング／評価を行う。

3) 成果3 国際研修およびフォローアップ訪問を通じて、メンバー国のポリシーメーカー、プログラムマネージャーが学校保健による寄生虫対策の知識や技術を獲得する。

<活動>

1. メンバー国の保健省、教育省のポリシーメーカーおよび開発パートナーを対象とした国際ワークショップ／セミナーを実施する。（2日間／2年ごと）
2. メンバー国の保健省、教育省のプログラムマネージャーを対象とした国際研修コース／ワークショップを実施する。（1～2週間／毎年）
3. 研修コース／ワークショップの実施に際して、学校保健に基づく寄生虫対策のためのインターベンションの分野で国際機関との連携を強化する。
4. 国際研修／ワークショップのフォローアップ活動の一部として、メンバー国を訪問する。

4) 成果4 WACIPAC がメンバー国および CIPACs 間の情報ネットワークの核としての機能を果たす。

<活動>

1. WACIPAC のネットワーク環境を準備する。
2. インターネット上のネットワークおよびニュースレターの発行を含むプロモーション活動を開始・維持する。
3. 重点支援国において入手可能なデータを用いて寄生虫症のデータベースを構築する。
4. メンバー国、CIPACs、国際機関の連携を進めるために情報・データを交換する。
5. 国内および国際会議においてプロジェクトの成果を発表する。

5) 成果5 重点支援国が寄生虫対策のための学校保健活動を開始する。

<活動>

1. 重点支援国における寄生虫対策活動のため、学校保健に基づくインターベンション導入に関する提言を作成する。
2. 保健・教育両セクターの地方行政官や開発パートナーを対象とした研修コース／ワークショップのような活動を導入するため、重点支援国に対して技術支援を提供する。
3. 学校保健および寄生虫対策に関連する政策およびプログラムを強化するため、重点支援国に対して技術支援を提供する。
4. 重点支援国における関係機関間の連携を促進する。
5. 重点支援国における活動のモニタリング・評価を行う。

※メンバー国：ベニン、ブルキナファソ、カメルーン、コートジボアール、ガーナ、マリ、ニジェール、ナイジェリア、セネガル、トーゴ

※重点支援国：ガーナ、ベナン、ニジェール

(3) 投入（インプット）

1) 日本側

- ・長期専門家派遣 7人
- ・短期専門家派遣 18人
- ・機材供与 141品目
- ・ローカルコスト負担 136,268千円
- ・CIPACsからの専門家派遣 9人
- ・研修員受入れ 12人名

2) 相手国側

- ・C/P配置 16人
- ・ローカルコスト負担（C/Pの給与、車両保険、水道光熱費等）
- ・土地施設提供（研修施設）

(4) 外部条件

1) 上位目標達成のための外部条件

- ・メンバー国において政治的安定が維持される。
- ・メンバー国において協力関係が堅固に確立される。
- ・メンバー国において寄生虫対策への政策的コミットメントが増す。
- ・メンバー国において経済成長が確保される。

2) プロジェクト目標達成のための外部条件

- ・各国において、すべての関係政府からの寄生虫対策に対する適切な予算的支援が減少しない。
- ・少なくとも研修受講者の半数が寄生虫対策活動に積極的に参加する。

3) 成果達成のための外部条件

- ・成果2に関して、インターベンションに対する JICA 外からのファンドが確保される。

- ・成果5に関して、重点支援国における活動に対する JICA 外からのファンドが確保される。

## 第2章 終了時評価の方法

### 2-1 評価の手順

本調査では、JICA のプロジェクト評価ガイドライン改訂版に沿ってプロジェクトの実績を把握し、以下のとおり、妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性の視点から、プロジェクトの最終成果を検証した。特に妥当性、効率性、有効性の検証に重点を置き、インパクトと自立発展性は評価時点での見込みを検証した。

#### (1) 妥当性

妥当性は、プロジェクトの上位目標やプロジェクト目標が、ガーナの優先戦略やターゲットグループのニーズに合致しているかどうか、日本の ODA 政策・JICA の支援プログラムの方向、プロジェクトのアプローチとしての適切さを判断する評価の視点である。

#### (2) 有効性

有効性は、プロジェクトによって産出された成果により、どの程度プロジェクト目標が達成されたのか、あるいは達成が見込まれるのかという視点に立脚する。

#### (3) 効率性

効率性は実施過程の中で、さまざまな投入がいかに効率的に成果に結びつけられたか、もっと効率的な手段がなかったかを判断する評価の視点である。

#### (4) インパクト

インパクトとはプロジェクト実施の結果、起こる影響や変化を評価する視点である。インパクトには、上位目標に対する影響のほか、直接的・間接的な影響・変化、望ましい、あるいは望ましくない影響・変化などさまざまな視点が含まれる。

#### (5) 自立発展性

自立発展性は、外部からの支援がなくなった場合でもプロジェクトの便益が持続するかどうかという視点に立脚する。

次に、本調査の国内準備期間中に、実施協議調査の討議議事録（Record of Discussions : R/D）とプロジェクトの目標や主な活動、達成指標、外部条件などが記載されているプロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix : PDM）の内容を確認し、評価方法を決めた。

今回の終了時評価調査では、2007年3月のプロジェクト合同調整委員会で承認された PDM 第3版（付属資料1．合同評価報告書 ANNEX II を参照のこと）をもとに評価方法を検討した。この検討の結果は、主な調査項目ごとに、必要なデータ・情報入手先や情報収集手段などをマトリックス形式に表した評価グリッド（付属資料1．合同評価報告書 ANNEX III を参照のこと）にまとめた。また、現地調査期間中に回収する対象者別の各種質問票とプロジェクトが重点支援国に定めているベナン・ニジェールにおいて実施する合同評価会議の開催要領も国内準備期間中に作成した。

現地調査ではガーナ国内のモデルサイトの訪問を通じて、関係者へのインタビューと視察を行った。その後、ベナン、ニジェールを訪問し、各国の小規模事業の自己評価を行うための合同評価会議を開催した。この会議は、事前に準備した実施要領に従い、小規模事業の成果達成状況や

実施プロセスに関する貢献・阻害要因、提言の抽出をワークショップ形式で行うものだった。

一方、ガーナ国内ではプロジェクトが行う国際研修（ワークショップ）に調査団がオブザーバーとして参加し、メンバー国の発表や意見交換を通じて情報収集を図った。また、国際研修（ワークショップ）の出席者に対して、彼らのニーズ・期待とプロジェクトがもたらした便益が一致していたかどうか、直接のインタビューも行った。

このような一連の調査から得られた情報を整理し、評価原案を取りまとめた。この評価原案をもとに、調査団とガーナ側のプロジェクト関係者、プロジェクト専門家（付属資料1．合同評価報告書 ANNEX I を参照のこと）が、合同ですべての評価項目について話し合い、最終的な合同評価報告書を作成した。

## 2-2 主な調査項目と情報収集方法

主要な調査項目は以下のとおり。

### (1) アウトプットの実績

5つのアウトプットごとの達成状況を把握するために指標を中心にデータと情報を収集した。計画時の期待値が不明確な場合はドキュメントレビューやプロジェクト関係者の聞き取りからベースラインと期待値（定性的なものを含め）を設定し、合同評価会議で最終的なコンセンサスを得た。

### (2) プロジェクト目標の達成度

既存のドキュメントレビューによるデータ収集のほか、プロジェクト目標の指標に沿った質問票を作成し、その結果に基づいて達成度を検討した。

### (3) 投入実績

既存のドキュメントレビューとプロジェクト関係者からの聞き取りから、その実績を把握した。

### (4) プロジェクトの進捗と運営

プロジェクト管理の方法やモニタリング方法、専門家とC/Pの関係などについて、ドキュメントレビューや質問票への回答、インタビューを通じて把握した。

### (5) 評価5項目

妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性の観点から得られた情報を整理した。同様に、貢献・阻害要因に関する情報を抽出した。

主な情報収集方法は以下のとおり。

(1) 質問票

評価グリッドに則し、①ガーナ側実施機関関係者、②日本人専門家、③国際研修参加者（メンバー国 10 か国）、④関連する開発パートナー向けの 4 種類の質問票を作成し、事前に配布した。国際研修参加者と関連する開発パートナーについては、英文のほか仏語版を作成した（付属資料 3. 質問票を参照のこと）。

(2) ベナン・ニジェールでの合同評価会議

プロジェクトはベナンとニジェールを重点支援国と定め、小規模事業支援を行っている。調査団員はアウトプット 5 の実績を確認するために、それぞれの国で半日の合同評価会議をワークショップ形式で行った。調査団員にとって、このワークショップはアウトプットについての直接情報を収集する機会のほか、小規模事業に関与した関係者の意欲や態度なども把握する参与観察の機会でもあった。ワークショップでは、小規模事業を展開・拡大するための復元性の課題についても検討した〔付属資料 4. 合同評価会議実施記録（ベナン・ニジェール）を参照のこと〕。

(3) モデルサイトの訪問

調査団員はダンメ・イースト郡アダフォ地区にあるモデルサイトを訪問し、小学校の校長や先生、保健センター職員へのインタビューを行った。国際研修の学習サイトとしての有効性とフィールドリサーチの方法に関する有効性を検討することを主目的とした。

(4) プロジェクトが実施する国際研修（ワークショップ）への参加

2008 年 6 月 30 日から 7 月 4 日まで「合同評価ワークショップと WACIPAC についてのポリシーメーカー会議」と題した国際研修（ワークショップ）が、プロジェクトにより開催された。この国際研修（ワークショップ）の前半はメンバー国の保健省と教育省のプログラムマネージャーが参加し、後半は WACIPAC の自立発展性に関する議論をメンバー国ポリシーメーカーによって行うものであった。調査団はオブザーバーとしてこの国際研修（ワークショップ）に参加し、得られた情報を評価に活用した。

(5) 国際研修（ワークショップ）参加者への直接インタビュー

上記国際研修（ワークショップ）に参加している保健省と教育省のプロジェクトマネージャーについて、補完的な情報を得るために直接インタビューを実施した（付属資料 5. メンバー国への直接インタビュー結果を参照のこと）。

(6) 既存資料のレビュー

各種報告書やプロジェクト関連資料を情報源として用いた。

(7) 合同評価会議

評価結果のフィードバックと情報共有を行い、最終的な合同評価報告書を作成するために、調査団とガーナ側実施機関関係者、日本人専門家による合同評価会議を行った。会議は調査項目ごとにコンセンサスを得るまで対案や意見を出し合う方式で行った。



## 第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス

### 3-1 投入実績

本プロジェクトに対して、日本側からは以下のとおり投入が行われた。

#### (1) 専門家

長期専門家については、2008年6月までに計7人、延べ128人月が投入された。専門分野としてはチーフアドバイザー、業務調整、寄生虫対策、学校保健、広域協力が含まれる。短期専門家については、同期間中に計18人、延べ50人月が投入された。分野としては、寄生虫対策、学校保健、研修サイクルマネジメント、IEC開発、疫学、フィールドリサーチ、情報技術が含まれる。派遣専門家のリストは、付属資料1. 合同評価報告書 ANNEX IV を参照のこと。

#### (2) 国際寄生虫対策センター間の連携による人材派遣

国際寄生虫対策センター（CIPACs）間の連携として、国際寄生虫対策アジアセンター（ACIPAC）と国際寄生虫対策東南アフリカセンター（Eastern and Southern Africa Centre of International Parasite Control : ESACIPAC）から計9人の専門家が、講師またはリソースパーソンとして WACIPAC に派遣された。派遣専門家のリストは、付属資料1. 合同評価報告書 ANNEX V を参照のこと。

#### (3) 施設

プロジェクト活動を円滑に実施するために野口研敷地内にプロジェクト事務所が建設された。また、ダンメ・イースト郡のガーナ保健サービス施設内にあるフィールド検査室が改修された。

#### (4) 機材供与

現地調達あるいは本邦からの専門家携行機材として、これまでに141品目の機材が投入された。機材リストについては、付属資料1. 合同評価報告書 ANNEX VI を参照のこと。

#### (5) C/P 研修

2008年6月までに、計12人のC/Pが日本で研修を受けた。研修コースには、プライマリヘルスケア、電子教育のためのマルチメディア技術、寄生虫対策、参加型社会開発、天然資源管理のための地理情報システム技術、臨床検査技術、学校保健の分野が含まれる。また、長期研修プログラムにより1人のC/Pが東京医科歯科大学博士課程にて、免疫学/分子生物学を学んでいる。さらにこれらの研修に加えて、3人のC/Pが他のCIPACsによる国際研修に参加する機会を得た。研修参加者名や研修先、研修期間については、付属資料1. 合同評価報告書 ANNEX VII を参照のこと。

#### (6) 在外事業強化費

プロジェクト開始以来、2008年4月までに、在外事業強化費として136,267,176円（1.3百

万米ドル) が支出された。各年度における支出額およびその内訳は、付属資料 1. 合同評価報告書 ANNEX VIII を参照のこと。

他方、ガーナ側からは以下のとおり投入が行われた。

1) C/P の配置

2008 年 6 月までに、計 16 人が WACIPAC の C/P に任命された。詳細については、付属資料 1. 合同評価報告書 ANNEX IV を参照のこと。

2) ローカルコスト

ガーナ側は本プロジェクトにかかわる C/P の給与、車両保険、水道光熱費を負担した。

3) 研修施設と事務所敷地

ガーナ側は国際研修や会議を実施するために野口研の研修施設を毎回提供した。また、プロジェクト事務所の敷地を提供した。

### 3-2 成果の達成度

#### (1) 成果 1 「WACIPAC の組織能力が強化される」の達成度

<概要>

WACIPAC の組織能力は、国際研修やフィールドリサーチの運営管理能力を改善することによって次第に強化された。また、これら WACIPAC の技術や知見はメンバー国からも評価されており、WACIPAC が西アフリカ地域における人材養成と情報ネットワークの拠点であるということが認知されるようになった。しかしながら、WACIPAC の自立的運営の鍵を握るガーナ大学からの正式承認プロセスについては、センターの運営・活動に必要な資金を充当する外部ファンドが特定されていることが前提となることが明らかとなり、その手順が見直されている。

具体的には、まず WACIPAC の西アフリカにおける域内センターとしての位置づけを確立するべく、WACIPAC の機能を西アフリカ保健機構 (West African Health Organisation : WAHO) に統合する予定であり、野口研では本件に関する自立発展計画 (案) を自主的に立案し、WAHO およびメンバー国との協議・調整を開始している。

2003 年 12 月 17 日に、本プロジェクトの R/D が署名され WACIPAC が発足した。WACIPAC はガーナ大学から独自の組織と予算を持つ組織として承認はされていないものの、プロジェクトで設定された機能と役割を果たすために、野口研から 16 人が WACIPAC 兼任で配置された。WACIPAC の組織能力はポリシーメーカーやプログラマネージャーのための国際研修の企画・運営やメンバー国へのフォローアップ訪問、日本での C/P 研修、フィールドリサーチ活動を通じて次第に強化されたといえよう。

また、運営委員会や諮問委員会など WACIPAC 関係者間のコミュニケーションや運営管理を担う会議のほか、プロジェクト運営のための C/P と専門家の定期会議が行われ、プロジェクト関係者の理解とモチベーション向上に貢献した。調査時点までに、計 11 回の運営委員会と計 5 回の諮問委員会が計画どおり開催された。プロジェクト運営のための C/P と専門家の定期会議は毎週開催されている。これらの会議内容は、外部からの申し出があった際やニュースレターを通じて公表されている。

メンバー国への質問票に対する回答によると、メンバー国は WACIPAC の人材養成機関としての役割や学校保健をベースとした寄生虫対策の情報センター機能について、非常に肯定

的な認識をもっていることが確認された。国際研修に参加しているプログラムマネージャーに対する直接インタビューでも、WACIPAC が有する豊富な知識や高い技術力を評価している。

しかしながら、①WACIPAC に配置された人材は、野口研の従来の人事規定に従って野口研の研究者が兼任していること、②野口研は従来、医科学系の研究機関として設立されたため、本プロジェクトで導入された社会科学系のフィールドリサーチは、それまでにない新たな取り組みになったことなど、いくつかの困難を抱えつつ、WACIPAC として組織能力を強化してきた点に留意が必要である。

なお、プロジェクトでは当初、WACIPAC の自立発展性確保のため、ガーナ大学から組織としての正式承認を受けることをめざしていたが、それを実現するためには大学のシステムとして、プロジェクト終了後もセンターの運営・活動に必要な資金を充当する外部ファンドが特定されていることが前提として明らかにされた。

大学の自己資金は管理経費にほぼ限定されており、プロジェクトの自立運営に必要な資金は外部ファンドによって賄われるのが大学の一般的なシステムとなっている。成果1の活動に設定されていた大学からの正式承認については、大学側が人員・予算を追加的に確保するものではなく、既存のスタッフが兼任の形でセンター担当となり、外部ファンドの目処がついて初めて正式承認されるという性質のものであり、いわば大学が正式にセンターの名称使用を承認することにより、正式に大学に付属するセンターとして、その存在を認知するという性質のものであることが判明している。

したがって、プロジェクトではまず WACIPAC の西アフリカにおける域内センターとしての位置づけを確立するべく、WAHO への統合構想を自立発展計画（案）として作成するに至っている。調査実施時点で、プロジェクトは WAHO およびメンバー国との協議・調整を開始している状況である。プロジェクトが作成した自立発展計画（案）は付属資料8を参照のこと。

## (2) 成果2「ガーナ国内におけるフィールドリサーチを通じて学校保健による寄生虫対策のモデルが開発される」の達成度

### <概要>

プロジェクトではデモンストレーションのためのモデルサイトを確立し、モデルサイトを通して教員研修手法や IEC 教材等の開発が行われた。これらは国際研修においてメンバー国とも共有されている。また、中間評価調査以降、モデルサイトではフィールドリサーチを実施しており、学校保健に基づく寄生虫対策が進められているのと同時に、フィールドリサーチを通じたデータ管理やコスト管理能力の強化も図られている。モデルサイトでの成果は、国際・国内学会等での発表や科学的な論文としてまとめられる予定である。

WACIPAC は、首都アクラより東へ 100km 程度のところに位置するダンメ・イースト郡に、国内関係者や国際研修参加者のための「学校保健と寄生虫対策」のデモンストレーションサイトを構築した。調査時点において、同サイトでは以下のような成果を提示している。

- ・保健セクターと教育セクターによる監督システム
- ・教師研修手法
- ・IEC (Information, Education and Communication : 情報・教育・コミュニケーション) 教材の

開発

- ・ 集団駆虫手法
- ・ 健康教育計画の開発
- ・ コミュニティとの連携

IEC 教材としては、英語と仏語の両言語による『寄生虫とハシゴゲーム（寄生虫対策すごろく）』、『寄生虫とハシゴゲーム マニュアル』『寄生虫、クワシー家を襲う（寄生虫対策フリップチャート）』『アタ、住血吸虫症と戦う（住血吸虫症対策フリップチャート）』『貧しい村（環境衛生改善を中心とした疾病対策に関する小読本）』が開発された。プロジェクトはこれらの IEC 教材をベナンの小規模事業支援でも応用している。また、開発された教材やツールを使って、プロジェクトはガーナ国内のアダフォ地区で計 7 回のワークショップを開催し、221 人の小学校教員や関係者が参加した。アダフォ地区でのインタビューによると、IEC 教材は役立つという意見や、訪問した国際研修参加者との交流は有益なものであったとの声が確認された。

中間評価調査以降、WACIPAC はモデルサイトを対象に学校をベースとした寄生虫対策のフィールドリサーチを行っている。調査時点において、フィールドリサーチに関しては次のような実績がある。

- ・ 国際科学会議での計 2 回の発表
  - 10th European Multicolloquium of Parasitology
  - 17th International Congress for Tropical Medicine and Malaria
- ・ 国内科学学会での計 4 回の発表
  - The 2nd Annual Scientific Conference of the College of Health Sciences, University of Ghana
- ・ 論文審査がある学術専門誌への 1 論文の投稿と執筆中論文

さらに、モデルサイトでのフィールドリサーチ活動によって、WACIPAC のデータ管理やリサーチマネジメントの技術が向上していることが確認された。また、アダフォ地区でのヘルスプロモーション活動を通じて、アダフォ地区の寄生虫感染と健康状況、個人の衛生行動が改善され、寄生虫罹患率が 5 年間で減少したことがプロジェクトの調査で明らかとなった。特に、アダフォ地区でコミュニティとの連携を図る寄生虫対策協会の活動は活発であり、郡レベルのガーナ保健サービス（Ghana Health Service : GHS）、ガーナ教育サービス学校保健プログラム（Ghana Education Service : GES/School Health Education Programme : SHEP）、郡議会とも連携しながら、ラジオ・アダ（地方 FM 放送局）やタクシー運転手組合を活用しつつ予防・啓発活動が行われた。

(3) 成果3「国際研修およびフォローアップ訪問を通じて、メンバー国のポリシーメーカー、プログラスマネージャーが学校保健による寄生虫対策の知識や技術を獲得する」の達成度

<概要>

プロジェクトはこれまで、メンバー国のポリシーメーカー（40人）とプログラスマネージャー（97人）に対して計5回の国際研修と計2回の国際ワークショップを行い、量と質ともに満足のいくレベルで知識と技術を提供した。また、研修終了後には研修参加者に対するフォローアップ訪問を合計16回実施し、メンバー国の寄生虫対策活動を支援してきており、その有効性が各国から評価されている。一部のメンバー国にとっては、十分な頻度のフォローアップ訪問が行われなかったとの声も聞かれたが、交通網の制約、予算、人員等プロジェクトのリソースを考慮して計画された適切な訪問数であった。

プロジェクトはこれまでに、学校保健と寄生虫対策にかかわるポリシーメーカー向けワークショップを計2回（40人）、プログラスマネージャー向け国際研修を計5回（97人）実施した。延べ参加人数は137人に達し、当初計画の100人を超える参加者数となった。

第1回目のポリシーメーカー向けワークショップの研修終了時評価では、どの研修項目も5段階評価の平均が3.5~4.2と比較的高い満足レベルの評価がなされた。今般、終了時評価調査において実施したメンバー国のプログラスマネージャーに対する質問票への回答では、WACIPACの国際研修を平均で+1.2（-2~+2の範囲）と採点し、総合的にみて満足しているとの評定結果になった。内訳は「非常に満足している」と回答したプログラスマネージャーが2人、「満足している」と回答した人が10人で、「不満」「非常に不満である」と回答した参加者は誰もいなかった。質問では、研修の内容のみならず、参加国のニーズへの適合性やテーマ選択、研修規模、教材、研修運営管理なども含めた総合的な評価を求めている。

質問の客観性を高めるため、国際研修を他者にも薦めるかどうかも同時に尋ねた。それに対して全員がWACIPACの国際研修を他者への受講を薦めると回答している。また、今回国際研修（ワークショップ）に参加したプログラスマネージャーへの直接インタビューにおいても、WACIPACに期待したことは国際研修を通じた人材養成であり、研修は期待どおりであったと述べる参加者が最も多かった。

またプロジェクトでは、ガーナを除くすべてのメンバー国を対象に計16回のフォローアップ訪問を実施し、少なくともそれぞれのメンバー国に2回以上の訪問を行ってきている（カメルーンのみ1回）。質問票への回答によるとメンバー国へのフォローアップ訪問は「非常に有効」と回答したプログラスマネージャーが5人、「限界はあるが有効」と回答した人は6人、「まったく有効ではない」と回答したのは1人であった。WACIPACのフォローアップ訪問によつて的確なアドバイスが得られること、目的が明確になること、異なる視点から意見交換ができること、ポリシーメーカーや開発パートナー（援助機関）の関与への働きかけが、その有効性の理由としてあげられた。

プログラスマネージャーへの直接インタビューでもフォローアップ訪問の重要性が指摘された。ただ、その重要性ゆえにフォローアップ訪問の頻度・回数が十分でなかったとの意見もいくつかのメンバー国から出された。しかしながら、フォローアップ訪問は交通網の制約、予算、人員等プロジェクトのリソースを考慮して計画されたものであり、それら事情を勘案すると適切な訪問数であったといえよう。

(4) 成果4「WACIPACがメンバー国およびCIPACs間の情報ネットワークの核としての機能を果たす」の達成度

<概要>

プロジェクトは国際研修参加者や開発パートナー、CIPACs 間での情報交換をさまざまな手段（電話やEメール等）を通して推進した。WACIPACからの情報発信や広報はニュースレターやウェブ公開、国内外の学会を通じて行われた。特にウェブサイトについては、仏語版を開設してからヒット数が向上しており、平均して1日140回の訪問がカウントされている。なお、活動計画に含まれていた西アフリカ地域の寄生虫症にかかるデータベース構築については、各国の情報開示方法などの技術的な問題により取り組みは行われなかった。

メンバー国のプログラムマネージャーへの質問票に対する回答によると、研修参加者は同僚や他の研修参加者、開発パートナー（援助機関）、WACIPAC 専門家、CIPACs と電話や電子メール、会議・面会などのさまざまな手段を使って情報交換を行っていることが判明した。特に、重点支援国は支援活動に伴う情報交換の必要性から WACIPAC や開発パートナー（援助機関）とより頻繁に情報交換を行っている。また、WACIPAC は情報の発信拠点として、成果2で述べたように国内外の会議や学会でプロジェクト活動と成果の発表を行ってきた。

WACIPAC のウェブサイトは2005年1月に開設された。中間評価調査以降、仏語版のウェブサイトも開設されたが、英語版ほどの内容には至っていない。ただし、WACIPAC のニュースレターはすでに第26号まで発行されており、ウェブサイトから英語・仏語の両ファイルがダウンロードできる状態になっている。また、開設から中間評価調査時までの1日平均アクセス数が17.5回であったのに対し、2007年1月から2008年6月までの1日平均アクセス数は140回と著しく増加した。

一方で、活動に予定されていたメンバー国の寄生虫症に関するデータベースの構築は完成していない。すべてのメンバー国において、自国の情報を公表するために当局から情報取り扱いの許可が必要であり、このことがデータベース構築の障害の一つとなった。

(5) 成果5「重点支援国が寄生虫対策のための学校保健活動を開始する」の達成度

<概要>

重点支援国では、WACIPAC の支援により学校保健活動や寄生虫対策活動を着手しており、本成果はほぼ達成されている。ベナンでは学校をベースとした駆虫モデルを開発し、ベナン側によって駆虫モデルの全国展開が進行している。また、ニジェールでは特に学校の衛生環境面に着目した学校自己評価シートを開発パートナーとともに開発し、実証を行った。ガーナでは、WACIPAC の支援により、国家駆虫プログラムが実施された。一方で重点支援国以外のメンバー国からは、自国への WACIPAC 支援が行われなかったことに一部不満の声が聞かれたが、成果3に付随するフォローアップ訪問同様、プロジェクトが適切に運営管理できる事業規模に精査した結果であり、重点支援国の選定は適切なものであったと評価される。

ベナンの小規模事業支援による活動において掲げられた目標は、プロジェクト期間内に達成する見込みである。ダンゴ地区での学校をベースとした駆虫活動の経験は、「教師用マニュアル」や「ヘルスプロモーションスクール導入のための手引書」「フィールドアセスメントツール」などさまざまな形式でまとめられた。本調査において実施したベナンでの合同評価

会議では、これらの教材やツールが小規模事業支援による中間成果物として提示された。

ベナンではこれらの教材やツールを使用して、ダンボ地区とリトラル地区の 326 人の教師を対象に学校をベースとした駆虫対策モデルの研修が行われた。このモデル地区を対象とした介入前後の変化を見るためのフィールドアセスメントは、データを収集したものの分析が終わっていない。プロジェクト終了時までには完結する予定である。これまでの活動の貢献・阻害要因の分析では、政治的なコミットメントが高いこと、自国内に類似プログラムが存在したことが貢献要因としてあげられた。また、復元性に関しては開発パートナー（援助機関）などの関係者を招いたワークショップを通じて、展開していく予定になっている。

ニジェールの小規模事業支援による活動において掲げられた目標は、プロジェクト期間内に達成する見込みである。自己評価シート活用ガイドや学校での活動事例集を含めた学校保健と衛生の自己評価シートは、利用しやすい簡素なフォームとして開発された。これらは関連する保健省と教育省の担当ユニットや開発パートナー（援助機関）からも共通のツールとして認知されている。このような認識に至った貢献要因として、開発パートナー（援助機関）を含めた関係者ワークショップを通じての活動マッピングと経験の共有化、自己評価シートの試行プロセスへの地元関係者の参加があげられた。

これらの経験は「活動事例集」「自己評価シート使用マニュアル」「プログラム全体の活動表」「学校保健と衛生の自己評価シート」として結実した。これらのツールは、ティラベリ地区の 28 人の地区教育担当官や学校監督官を対象に研修を通して、フィールドテストが行われた。

今回の終了時評価調査においてニジェールで実施した合同評価会議では、①NGOs や国連世界食糧計画（WFP）、国連児童基金（UNICEF）が小規模事業支援に非常に協力的で理解を示してきたこと、②他地域で先行する青年海外協力隊（JOCV）グループ派遣による学校保健活動が「活動事例集」の開発に有益なヒントを与えたこと、③学校関係者とコミュニティで構成される学校運営委員会（Comités de gestion des établissements scolaires : COGES）が事業実施関係者との良好な関係のみならず、ホウキやヤカンなど衛生環境改善のために必要な物質的供与を補助し、協力的であったことなどが指摘された。

ガーナでは WACIPAC が全国駆虫タスクフォースのメンバーとなり、関係者の調整会議や教材開発、教師の研修を支援した。これらの一連の活動は全国を対象とした駆虫プログラムの実現に貢献した。

### 3-3 プロジェクト目標の達成度

#### <プロジェクト目標>

WACIPAC が西アフリカ地域のメンバー国の統合的な寄生虫対策のための人材養成機関としての役割を担う。

#### <概要>

プロジェクト前半期間においては活動の進捗に遅れが見られたが、運営指導調査および中間評価調査を通じた軌道修正が功を奏し、プロジェクト後半期間は活動進捗が加速化し、プロジェクト目標は現行協力期間内におおむね達成される見込みである。プロジェクト目標の指標となっている①メンバー国対象者の6割以上の人材の養成、②センターとしての認知度の向上、③西アフリカにおける情報ネットワークの形成、④重点支援国での政策枠組みや寄生虫対策・学校保健事業の強化についても、それぞれ満足いくレベルに達している。

各成果の達成状況としては、①WACIPAC の組織能力の向上、②デモンストレーションサイトとしてのガーナ国内でのモデルサイトの確立、③国際研修・ワークショップの成功、④情報ネットワークの促進、⑤重点支援国での支援活動の実施が比較的良好に進められており、これら成果の達成がプロジェクト目標の到達に有効に働いていることを確認した。

一方で、メンバー国からの WACIPAC に対する期待は高く、特にフォローアップ訪問や周辺国支援など、各国内への直接的インプットを要望する声が終了時評価時点でも多く聞かれる結果となった。プロジェクト開始時はこれら活動への対応方針が定められていなかったため、プロジェクトの軌道修正に際し、活動規模や頻度をプロジェクトのリソースに則して精査した。そのため、メンバー国からのすべての期待を満たすには至らない結果となったが、現行体制でプロジェクト目標を達成するためには適切な判断であった。

PDM 第3版では、①メンバー国の寄生虫対策と学校保健関係者の60% (100人) が国際研修を受講する、②メンバー国における寄生虫対策の研修センターとしての WACIPAC の認知度が向上する、③寄生虫対策関係者間のコミュニケーションが WACIPAC により活性化される、④ WACIPAC により重点支援国の寄生虫対策と学校保健の政策枠組みやプログラムが強化される一の4つをプロジェクト目標の指標に定めている。

上記①については、成果3で詳述したように、計画値の100人に対して国際研修に参加した参加者数は137人に達し、指標の目標値を超えている。また、国際研修に参加したメンバー国のプログラムマネージャーは WACIPAC の国際研修を高く評価し、他者にも薦めるべき質と内容であると認知していることが確認された。

上記②については、メンバー国のプログラムマネージャーに対する質問票への回答によると、WACIPAC の役割を研修のみならず、寄生虫対策の情報センターとしての機能やフィールドリサーチによる研究機能についても肯定的な認識を持っている。WACIPAC の認知度に関する質問票に対してガーナ家族計画協会と WHO ガーナ事務所は、ともに人材養成や情報センターとしての役割、フィールドリサーチの取り組みを支持する回答が得られた。

また上記③については、成果4で詳述したように、プロジェクトが寄生虫対策にかかわる関係者間の情報交換を活性化させていることが判明している。プログラムマネージャーに対する質問票への回答によると、プログラムマネージャーの4割が少なくとも1か月に1回、電話や電子メール、会議・面談などにより関係者と連絡を取っている。WACIPAC が情報交換の中心として2か月以内に継続的に連絡を取っている関係者は30人、2か月以上4か月未満の間に継続的に連絡



を取っている関係者は34人であったことから、WACIPACが情報交換の中心としての機能を果たしてきたことが読み取れる。

なお、中間評価調査時の状況と比較して、ウェブサイトにも仏語ページが作成され、ウェブサイト全体へのアクセスが約8倍になったことから情報交換に関する改善が見られると判断できる。

上記④については、成果5で詳述したように、小規模事業支援とフォローアップ訪問を通して実施してきたステークホルダー会議が、プログラスマネージャーと開発パートナー（援助機関）にとって協力的な環境を整備することとなり、政策的枠組みの強化につながった。また、ベナンとニジェールで実施した小規模事業支援に関する合同評価会議では、経験や獲得したスキルが教材やツール等の中間成果物の形で提示され、各国での寄生虫対策および学校保健のプログラムが強化されてきたことが明らかとなった。

以上のように、プロジェクト目標の指標達成状況をかんがみ、プロジェクト目標はおおむね現行協力期間内に達成されることが見込まれる。一方で、メンバー国からのWACIPACに対する期待は高く、特にフォローアップ訪問や周辺国支援など、各国内への直接的インプットを要望する声が終了時評価時点でも多く聞かれる結果となった。プロジェクト開始時はこれら活動への対応方針が定められていなかったため、プロジェクトの軌道修正に際し、活動規模や頻度をプロジェクトのリソースに即して精査した。そのため、メンバー国からのすべての期待を満たすには至らない結果となったが、現行体制でプロジェクト目標を達成するためには適切な判断であったといえよう。

### 3-4 プロジェクトの実施プロセス

#### (1) 計画内容の変遷

##### 1) プロジェクト開始から中間評価調査時まで

プロジェクトのモニタリングの目的のため運営委員会や諮問委員会が定期的で開催されてきたものの、プロジェクト運営はたびたび困難に直面した。原因は当初のPDMが国際寄生虫対策センターを構築するうえでの戦略やアプローチに対する絞り込み・優先づけが不十分なことにあった。

また、プロジェクトのビジョンや内容（特にモデルサイトでの活動）についての共通理解が不十分であったことも指摘されている。背景には、プロジェクト開始当初の2年間、関係者間でのコミュニケーションが十分でなかったことがあげられる。その結果、プロジェクトで産出すべきそれぞれの成果（アウトプット）の予算配分にアンバランスを招くこととなった。

プロジェクトの運営管理を強化し、打開策を講ずるために、特にガーナ国内のモデルサイト活動のあり方についてC/P、プロジェクト専門家、JICA事務所間のコンセンサスを醸成する目的で、2005年に2度の運営指導調査団が派遣された。綿密な協議やその後のC/P、プロジェクト専門家の努力によって、次第に関係者間のコミュニケーションが改善され、共通の理解が得られるようになった。同時に、学校保健をベースとした寄生虫対策に絞り込んだ国際研修やベナンとニジェールに限定した小規模事業支援活動が、IEC教材やツール開発など実質的な成果を伴うようになった。しかし、プロジェクトの実実施計画の変更は、小規模事業支援を期待していた重点支援国以外のメンバー国やモデルサイトの関係者の意欲に少なからず影響したという指摘もあった。

中間評価調査時には、モデルサイトの役割について、学校保健をベースとした寄生虫対策に適用する一連のアプローチを、ガーナ国内と国際研修のための「デモンストレーションサイト」とすることで整理された。また、モデルとしての有効性を検証するフィールドリサーチの実施を WACIPAC の役割・機能として求めることが合意された。その他、中間評価調査では、改訂 PDM に基づくモニタリングの実行や十分な C/P の配置、ガーナ大学の WACIPAC に対する正式な認証等を進めることが提言としてまとめられた。

また、それまでの協議や実施計画の変更を反映させるために、プロジェクトの PDM がシンプルな PDM 第 3 版として改訂された。オリジナルの PDM は 2005 年にも PDM 第 2 版として改訂されているが、オリジナル PDM との差異はほとんどない。以下は PDM 第 2 版から PDM 第 3 版に改訂された際の主な変更点である。

| 項目            | 変更点  |
|---------------|--|
| プロジェクト<br>サイト | それまでガーナを含むプロジェクトの対象 10 か国を支援国 (Supporting Site) と称していたが、小規模事業支援の対象となるガーナ、ベナン、ニジェールを重点支援国 (Supporting Countries) と称し、対象 10 か国をまとめてメンバー国 (Member Countries) と呼ぶことになった。   |
| ターゲット<br>グループ | WACIPAC が野口研で実施する国際研修の対象から、フロントラインオフィサー (Frontline Officer) が外された。   |
| プロジェクト<br>目標  | 対象が「西アフリカ地域」から「西アフリカ地域のメンバー国」へと明確化された。   |
| 成果 1          | 「WACIPAC が完全に設立される」から「WACIPAC の組織能力が強化される」に変更された。  |
| 成果 2          | 「学校をベースとした寄生虫病対策のモデルプロジェクトサイトが十分に構築される」から「ガーナ国内におけるフィールドリサーチを通じて、学校保健による寄生虫対策のモデル (※) が開発される」に変更された。<br>※デモンストレーションを主目的とする   |
| 成果 3          | 「西アフリカ地域の学校をベースとした寄生虫対策のための人材が WACIPAC によって訓練される」から「国際研修およびフォローアップ訪問を通じて、メンバー国のポリシーメーカー、プログラムマネージャーが学校保健による寄生虫対策の知識や技術を獲得する」に変更された。  |
| 成果 4          | 「WACIPAC が西アフリカ地域と 3 つの CIPACs 間の情報ネットワークの拠点として機能する」から「WACIPAC がメンバー国および CIPACs 間の情報ネットワークの核としての機能を果たす」に変更された。   |
| 成果 5          | PDM 第 2 版の成果 5「学校をベースとした寄生虫病対策の政策提言が西アフリカ地域と 3 つの CIPACs で推進される」は、成果 4 や 6 と重複する部分が多いため、それぞれの成果に関連する活動が統合された。そのうえで、PDM 第 2 版の成果 6 は PDM 第 3 版では成果 5「重点支援国が寄生虫対策のための学校保健活動を開始する」に統合された。したがって、成果が 6 つから 5 つになった。 |
| 指標            | 指標数が 36 から 18 に絞られた。   |
| 外部条件          | 成果達成の外部条件として「成果 5 に関して重点支援国の活動資金として JICA 以外の資金源が確保される」が追加された。  |

## 2) 中間評価調査から終了時評価調査時点まで

中間評価調査以降、プロジェクト運営に関する共通理解と協力関係を維持・強化するために毎週2～3時間を費やす定期的な会議が、C/Pとプロジェクト専門家によって継続的に開かれるようになった。会議ではガーナ側のプロジェクト・マネージャーが議長を務め、プロジェクトに対するガーナ側のリーダーシップとオーナーシップの意識を高める結果となった。

プロジェクト開始当初はGESとGHSがプロジェクト運営に関与する実施組織として考えられていたが、中間評価調査以降は運営委員会のメンバーとしてプロジェクトの進捗についてコメントする立場となった。プロジェクトは運営委員会と諮問委員会を通じて関係者と良好な関係が築かれている。

プロジェクトの進捗と運営状況はプロジェクト・マネージャーとプロジェクト専門家（業務調整/周辺国支援）によってプロジェクト・ディレクター（野口研所長）に定期的に報告されている。こうした良好な関係とプロジェクト遂行能力は、2008年6月30日から7月4日までの期間行われた、「合同評価ワークショップとWACIPACについてのポリシーメーカー会議」と題した国際研修（ワークショップ）の成功で実証されたといえる。

## (2) 技術移転

国際研修を通じてメンバー国の研修参加者に学校保健をベースとした寄生虫対策の知識と技術が移転された。これらの知識と技術移転には、ACIPACからの講師によるヘルスプロモーターリングスクールの概念と技術の導入も大きく貢献した。C/Pの能力はWACIPACの運営能力とともに国際研修コースや小規模事業支援、フィールドリサーチの実施によって強化された。また、日本での研修やCIPACsでの研修もC/Pの技術移転に貢献した。

## (3) プロジェクト運営上の課題

本プロジェクトの協力期間の前半において、プロジェクトの円滑な進捗を結果的に妨げることになる状況がいくつか見られたが、そのような状況は関係者の努力により協力期間の後半に大きく改善された。本項では、プロジェクトの円滑な進捗を阻害した状況とその状況改善のために取られた措置に基づき、将来のJICAのプロジェクト運営の参考となり得る諸点を教訓として以下に列記する。

### <プロジェクト運営に関連する主な出来事>

- |            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| ・2004年1月   | 協力期間開始                           |
| ・2004年5月   | 業務調整専門家（長期）派遣開始                  |
| ・2004年7月   | チーフアドバイザー（長期）派遣開始                |
| ・2004年後半   | 運営上の問題が日本側で表面化                   |
| ・2005年5月   | 運営指導（第1回）                        |
| ・2005年9月～  | チーフアドバイザー不在（2006年4月下旬まで）         |
| ・2005年9月   | 運営指導（第2回）                        |
| ・2005年12月  | 運営指導（第3回）（モデルサイト活動評価）、PDM改訂（第2版） |
| ・2006年6月   | 業務調整専門家交代                        |
| ・2006年12月～ | チーフアドバイザー不在（協力期間終了まで）            |
| ・2007年2月   | 中間評価、PDM再改訂（第3版）                 |

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| ・2008年2月    | 運営指導（第4回）（終了時評価準備） |
| ・2008年6月～7月 | 終了時評価調査            |

## 1) 広域協力の特徴と制度整備

### a) 状況

広域協力は途上国側からは要請されにくく、二国間協力の形式で要請書を取り付けるとしても、基本的には援助機関側の政策主導で形成される度合いが強いと考えられる。さらに、ガーナ以外の協力対象国政府との合意形成や、それらの国を担当する JICA 事務所と JICA 本部との情報共有が事前に十分なされたとは言いがたい状況であった。

また、プロジェクトの設計時点では、広域協力案件を設置する枠組み（特に、関係各国に対する二国間援助方針との調整、関係各国との協力内容確認、予算管理・会計処理、情報共有等の方法）が定まっていなかったにもかかわらず、「広域協力」の名称が先行し、ガーナ以外の協力対象国でも活動を展開することが日本側で想定された。この過程で、WACIPAC より先行開始された ACIPAC での広域協力の経験が十分活かされたとはいえ、その結果、政策面から実務面に至るまで広域協力の考え方と制度をプロジェクト活動と並行して整理・整備する必要がある、プロジェクト専門家・C/P に多大な労力をかけるとともに活動の遅延や関係者間の混乱を引き起こすこととなった。

### b) 改善方策

周辺国支援については関係者が手続きに慣れることで徐々に活動準備が円滑化されてはいるが、JICA として根本的な改善策を打ち出すに至ったわけではない。本プロジェクトでの経験に基づきプロジェクト専門家が改善アイデアを提言し続けた結果、具体的なアイデアが「国境を越える課題—広域協力形成・実施ハンドブック—」（JICA 国際協力総合研修所、2008年3月）に掲載されたところであり、今後の制度改善が望まれる。

## 2) 当初計画（PDM 第1版）の見直し

### a) 状況

本プロジェクトは政策主導で採択され早期実施が求められたため、プロジェクトの正式開始に先立ち、当時野口研において実施中であった別のプロジェクトに、国際寄生虫対策関連活動を組み入れ、先行開始させた経緯がある。そのため、本プロジェクトの活動の一部は、事実上、PDM 作成より先行していた。このような事情もあり、PDM 記載内容については事前調査の段階から混乱がみられ、プロジェクトの正式開始後には早期に PDM 修正と関係者の意識統一を図る必要のあることが事前調査団によって明確に指摘されていた。しかし、この点について、プロジェクト開始後長らく積極的取り組みがなされず、事前調査での指摘が放置される結果となった。

PDM が JICA ・プロジェクト専門家・C/P の協議により早期に改訂され、関係者の意識が統一されていたならば、プロジェクトの方向性が左右されて関係者が混乱することは避け得たのではないかと思われる。

### b) 改善方策

プロジェクト内容についての混乱が表面化したあと、国内支援委員会の助言と日本からの運営指導調査団の派遣を通じ、JICA 本部の主導により事業の進捗を評価し、それを踏まえて PDM を修正した。

### 3) 基本認識の共有

#### a) 状況

JICA の技術協力の理念やプロジェクトのめざす姿について、JICA が派遣前のプロジェクト専門家に十分説明していたとはいえ、プロジェクト専門家が現場で C/P に説明しきれなかった。そのため、プロジェクト前半は、日本側・ガーナ側の認識共有が不十分で、重要事項について相互の理解を日頃から確認し調整する機会を十分持たないままに、プロジェクト活動が進められてしまった。

#### b) 改善方策

プロジェクト中盤以降は、関係者の情報・認識共有のために定例会議を開催することをプロジェクトの活動計画に組み入れ実施した。初めて派遣されるプロジェクト専門家に対しては、国内支援委員や先行派遣されたプロジェクト専門家がプロジェクトの進捗を踏まえ業務上の期待を説明し、効果をあげた。

### 4) JICA の会計制度の制約

#### a) 状況

JICA の規程では C/P の人件費など支出できない費目がある。定められた規程については相手方によく説明して理解を求めるとはできないが、相手方の状況によっては原則論だけ繰り返しても事態が開かない場合もある。野口研の場合は、過去数年の JICA プロジェクトで多くの人を雇用していた実績があったにもかかわらず、本プロジェクトの途中で事業管理が厳格化され、現場の実情に即した柔軟な対応が困難になった。

また、JICA の会計の特徴は、管理をすべて日本側（プロジェクト専門家）が行うところにあるが、これが結果的に C/P をプロジェクト運営から疎外することになりかねない。プロジェクトの初期には、チーフアドバイザーが予算の配分計画について他の専門家や C/P と十分協議を行わないままプロジェクト活動の拡充を図り、結局は活動範囲を見直さざるを得なくなり、関係者に混乱をもたらした。

#### b) 改善方策

日本からの運営指導調査団の派遣を通じ、プロジェクト活動の各項目に予算を明確に配分することを決定し、関係者に数値をもって明示した。また、プロジェクト後半になってからは、予算案をプロジェクト専門家・C/P 共同で策定することとした。これらのいずれも、主要 C/P から「野口研・JICA の長年の協力の中で初めての画期的方法」と評価された。

### 5) 日本側関係者の人間関係

#### a) 状況

プロジェクトの前半においては、日本側関係者間の基本的信頼関係とチームワークの構築がうまく進まず、チーフアドバイザーと他のプロジェクト専門家、チーフアドバイザーと JICA 事務所間の情報共有と意思統一が不十分だった。結果として、日本側関係者間のみならず日本側とガーナ側との間の信頼関係構築も進まず、プロジェクト専門家・C/P・事務所ともに、プロジェクト活動の全体像を適時的確に把握しきれない状況が生じ、活動の質と進捗の管理に影響を及ぼした。

なお、プロジェクトの後半はチーフアドバイザーが不在であり、結果的に国際寄生虫対策／公衆衛生専門家・業務調整専門家がチーフアドバイザー的役割を分担する形となった

が、当該調整員の業務姿勢・能力が他のプロジェクト専門家や関係者から高く評価されている。また、プロジェクトの後半において、周辺国支援活動が円滑に進んだ背景として、プロジェクト専門家と支援対象国 JICA 事務所で本プロジェクトを担当する企画調査員とが良好な関係を構築していることがあげられる。

b) 改善方策

プロジェクト専門家の業務出張・一時帰国や運営指導調査を通じ、JICA 本部の管理職が関係者から直接事情確認を行い、現場の人間関係の調整とプロジェクト運営の改善を図った。チーフアドバイザーについては、指導の効果を見極めたうえで交替を決定し、プロジェクト後半には、ガーナ側の意向を尊重し、プロジェクトの活動状況を確認のうえで、チーフアドバイザーの派遣を取りやめることとした。チーフアドバイザー以外のプロジェクト専門家については、ガーナ側の意向を踏まえて派遣を継続することとし、候補者選定を特に慎重に行った。

## 第4章 評価結果

### 4-1 評価5項目の評価結果

#### (1) 妥当性

妥当性は非常に高いと評価される。プロジェクトは日本の援助政策やメンバー国のニーズと整合性を保っており、プロジェクトの目的は学校保健と寄生虫対策の統合的なアプローチという点でメンバー国のニーズと合致している。WACIPAC は、西アフリカ地域の保健政策において、NTD（顧みられない熱帯病）への対策や学校保健をベースとした統合的なアプローチの重要性に光を当ててきたと評価される。

#### 1) 日本の ODA 政策との整合性

プロジェクトは現在も手段として有効であり、政策面ではその意義の重要性が増している。プロジェクトは1998年のバーミンガムのG8サミットで合意された国際寄生虫対策イニシアティブ（橋本イニシアティブ）に基づき、寄生虫対策の人材養成を目的として開始された。その後、2005年には開発途上国の保健問題への協力を強化するための「保健と開発に関するイニシアティブ」が発表され、さらに2006年にはアフリカ支援を目的とした「日本の対アフリカ感染症行動計画」が発表された。同行動計画には、特に日本が支援したアフリカ東西の拠点の設立（東部：ケニア中央医学研究所、西部：野口研）を中心にWHOなどとも協力し、医療従事者・研究者の養成や情報交換、国際的な研究の推進を図ること、更にはWACIPACの学校保健モデルを通じて、住血吸虫や土壌伝播寄生虫対策を推進することが明記されている。

現在、WACIPACを含むCIPACsの活動とその成果によって、西アフリカの保健政策に対するNTDや学校保健をベースとした統合的なアプローチの重要性に光が当てられつつある。

#### 2) ガーナとメンバー国のニーズとの整合性

プロジェクトは、ガーナとメンバー国9か国（ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、コートジボアール、マリ、ニジェール、ナイジェリア、トーゴ）のニーズに合致している。土壌伝播寄生虫症や住血吸虫症の罹患率や患者数は地域差があるものの10か国すべてにおいて高い。また、UNICEFが支援によるガーナの国家駆虫計画やガーナ、ニジェール、マリ、ブルキナファソを対象としたUSAID支援によるNTDプログラムといった類似プロジェクトはプロジェクトと同様の寄生虫症をターゲットとした面的展開を志向しており、連携が期待されている。またWACIPACの包括的なアプローチは、寄生虫対策のみならず、他の疾患でも応用可能であるとメンバー国から支持があった。

#### 3) 日本の比較優位性

2000年の沖縄感染症対策イニシアティブ以来、寄生虫対策に関する日本の経験が国際寄生虫対策イニシアティブの中で活用される必要性が強調されている。各国で政策、行政、社会文化、疾病の分布パターンなど独自のコンテクストがあるが、CIPACsの設立によって、日本のみならず途上国の専門家間でも集中的な意見交換が行われ、さまざまな地域での経験が蓄積され日本としての比較優位性を向上させてきたといえよう。また、WHOではNTD部門が創設され2007年に初めてNTD国際会議が開催された。NTDには寄生虫症以外の感染症も含まれるが、近年のこれらの動きは、世界に向けて寄生虫対策に取り組む

必要性を宣言した「国際寄生虫対策イニシアティブ」から始まっていることが国際的に認知されている。

## (2) 有効性

### <概要>

有効性は総じて高い。モデルサイトから得られた有益な情報やノウハウの蓄積、国際研修を通じての人材養成、関係者の情報交換の促進、重点支援国での活動による経験の蓄積はどれもプロジェクトの目標達成に有効であった。アウトプットを構成する活動のうち、西アフリカ地域の寄生虫症にかかるデータベースの構築は未完のまま残る可能性があるものの、プロジェクト目標（人材養成機関としての役割遂行）からみるとデータベース構築の優先度は低く、人的ネットワークを通じた疫学情報の交換も可能なことから、プロジェクト目標達成に大きな影響はないものと予測される。

### 1) プロジェクト目標の達成予測

いくつかの期待されていた活動は未完のまま残る可能性があるものの、どの成果（アウトプット）もおおむね達成される見込みであり、プロジェクト目標はプロジェクト終了時までにはほぼ達成される。

WACIPAC の組織能力は設立後、プロジェクトを通して徐々に強化された。また、デモンストレーションとしてのモデルサイトの確立は完了したが、モデルサイトで実施しているフィールドリサーチの結果を学会など公的な媒体を通じて提示していく必要がある。

計画されていた一連の国際研修は高い満足度を得て完了した。また、WACIPAC はウェブサイトの公開や関係者間の情報交換を通じて、情報ネットワーク構築を推進したが、西アフリカ地域の寄生虫症に関するデータベースの構築は未完のまま残る可能性がある。しかしながら、人材養成機関としてのデータベース構築の優先度は低く、人的ネットワークを通じた疫学情報の交換も可能なことから、プロジェクト目標達成に大きな影響はないものと予測される。

なお、プロジェクトは重点支援国への小規模事業支援やメンバー国へのフォローアップ訪問を通じて、各国現場において技術的な支援を行った。

### 2) 促進要因と阻害要因

重点支援国での活動をめぐるレビューや再定義など、プロジェクトの運営管理に関する改善措置がプロジェクト目標の実現に貢献した。また、中間評価調査以降、プロジェクト運営に関する C/P とプロジェクト専門家とのコミュニケーション円滑化による継続的な努力がプロジェクト計画の遅れを取り戻す促進要因として働いた。なお、成果 2 に関してはモデルサイトの学校関係者やコミュニティのモチベーションが高いことが貢献要因としてあげられた。さらに、モデルサイト確立と小規模事業支援については、ACIPAC からの専門家派遣が技術的な能力強化に貢献した。



### (3) 効率性

#### <概要>

本プロジェクトの効率性には改善の余地があった。プロジェクト開始にあたって、センターを構築する戦略やアプローチに対する絞り込みと優先順位づけが不十分であり、プロジェクトのビジョンや内容（特にモデルサイト事業）についての関係者間での共通理解を欠いていたことに起因し、プロジェクト前半の運営状況は芳しくなかった。PDM 第1版も、プロジェクト関係者間の活動に対する理解を促すことにつながらず、プロジェクトの共通理解を遅らせる結果となった。ただし、プロジェクト後半は、プロジェクト専門家と C/P が密接なコミュニケーションを図り、共通目標のために互いに協力したことにより、プロジェクト運営は大きく改善した。施設や機材の投入のタイミングや質、量に問題はなかった。一方、チーフアドバイザーの不在はプロジェクト専門家や C/P の業務負担をもたらしたが、当初より少ない専門家数で活動をカバーしたという意味では効率的であった。

#### 1) 成果の達成度

プロジェクト前半は当初計画やスケジュールからみて、国際研修を除く各成果の達成度が全体的に遅れ気味であった。しかし、中間評価調査時の PDM 改訂後、プロジェクトは計画に追いつき、どの成果も達成される見込みである。

#### 2) 投入のタイミングと質、量

施設・機材は問題なく計画どおりに投入され、質と量ともに満足のいくレベルで問題なく維持管理、活用されている。人材配置について短期専門家や ACIPAC の専門家がプロジェクトの遅れを最小化する努力を行ったものの、チーフアドバイザーの交代に伴う後任派遣が迅速にできなかったことがプロジェクト専門家や C/P の業務上の負担となった。また、ガーナ側の WACIPAC の運営に必要な人員配置は十分とはいえなかったことから、プロジェクトでは必要最小限のスタッフを雇用した。

#### 3) 促進要因と阻害要因

プロジェクト後半の JICA 専門家と C/P との密接なコミュニケーションと C/P 側のプロジェクトに対するオーナーシップにより、プロジェクト運営は著しく向上し、効率化に貢献した。

プロジェクトは CIPACs 間の連携や西アフリカ 10 か国を対象とした広域案件の一環として実施されていたものの、プロジェクト前半において、JICA の組織間連携や予算管理の枠組みを含む小規模事業支援への協力支援メカニズムがプロジェクトに限定したコンテキストで行われ、適切ではなかった。このことが新たな事態への対処や調整のための時間を要した。また、周辺国の政情不安定や不十分・不安定な交通手段はフォローアップ訪問や小規模事業支援活動、国際研修において、延期や迂回、遅延などを招き、効率性の阻害要因ともなった。

#### (4) インパクト

メンバー国を中心に、正のインパクトが見られた。重点支援国のガーナでは WACIPAC の支援により 550 万人の児童を対象に 14,000 の小学校で国家駆虫プログラムが実施された。ベナンにおいても、駆虫プログラムの試行・教材作成は完了しており、開発パートナーによる全国展開が期待されている。ニジェールでは、WACIPAC の支援により開始された学校環境衛生改善活動を開発パートナーが実施するプログラムに含めることや、ニジェールの学校教育システムに組み入れることが期待されている。それ以外のメンバー国でも、国際研修で得た知見・経験やフォローアップ訪問を通して、省庁間委員会の形成（トーゴ）、駆虫プログラムの実施（ブルキナファソ、コートジボアール、マリ）、学校保健に関する政策・ガイドラインの策定（セネガル、ナイジェリア）等が促進されており、インパクトの発現が確認された。また、上位目標の達成見込みについても、プロジェクトにおいて国際研修を受けた延べ人数は 137 人に達しており、上位目標の指標目標値 120 人を現時点で上まわっている。そのため、上位目標「WACIPAC での人材養成により、西アフリカ地域のメンバー国において寄生虫対策プログラムが実施される」は、研修受講者が中心となり各国での活動を促進していくことで達成される見込みが高い。

##### 1) 重点支援国におけるインパクト

ガーナでは国家駆虫プログラムの開始にあたって SHEP から WACIPAC に対してプログラム実施に関する技術支援の依頼があり、WACIPAC からは教師研修教材作成にかかる技術的支援、ステークホルダー会議開催支援、モデルサイトで開発された研修手法の提示、全国の教師研修への講師派遣等の支援を実施してきた。この支援により、550 万人の児童を対象に 14,000 の小学校で国家駆虫プログラムが実施された。また、国際研修参加者が学校保健政策のドラフトを策定した。

ベナンでは、プロジェクトのポリシーメーカーのための国際研修に参加した保健大臣と教育大臣が、2006 年に学校保健に関する政策文書を策定した。この政策が策定されたことによって WACIPAC の支援する小規模事業と開発パートナーとの連携の枠組みが作られた。現在、ベナンでは、小規模事業支援で得られた経験をもとに全国を対象とした駆虫プログラムが計画されている。

ニジェールで実施された小規模事業は、全国展開をめざした学校保健と衛生の自己評価基準と現場で使える簡素な自己評価ツールを開発することであった。同事業では関係者ワークショップを通じてその開発プロセスを共有し、更には開発された自己評価シートや記入法マニュアルなどのツールを国際機関が実施するプログラムや教育省のシステムに組み入れることが検討されている。

##### 2) メンバー国におけるインパクト

プロジェクトで実施された国際研修の参加経験を活かし、メンバー各国内でそれぞれの取り組みが行われた。ブルキナファソでは国際研修の経験をもとに NGOs との連携を通じて国家プログラムが適用された。コートジボアールでは開発パートナーとの協力により小規模事業が開始された。マリでは国際研修で学んだことを国家住血吸虫症対策に応用した。ナイジェリアでは国家学校保健プログラムのための学校保健政策と実施ガイドラインが策定された。セネガルでは、学校保健と寄生虫対策を推進するためのガイドラインの開発が行われた。トーゴでは保健省と教育省に加え、農業省や環境省、地方自治体などを含めた省庁間連携委員会の設立を通じて、寄生虫対策と開発に向けた広範囲なパートナーシッ

プが形成されるに至った。

### 3) 負のインパクト

負のインパクトは特に確認されていない。

## (5) 自立発展性

メンバー国関係者の間で前述インパクトを後押しし、センターの自立発展性を担保する気運が高まり、協力相手機関である野口研では、WACIPACの機能をWAHOに統合する計画(案)が自主的に立案されている。WAHOは西アフリカ経済共同体(ECOWAS)傘下の保健機関であるが、現在、メンバー国の保健省・教育省関係者の支援を得て協議が進められており、実現に向けた関係機関や関係者への働きかけが活発化している。本計画(案)に従い、WACIPACの自立発展性が担保されるよう、残余期間においてプロセスを進めることが期待されている。

### 1) 政策と自立発展性

WACIPACはECOWASの保健機関であるWAHOに統合することによって、西アフリカの地域センターとなることをめざす独自の自立発展計画(案)を策定した。この自立発展計画(案)は、2008年7月の国際研修(ワークショップ)の場でメンバー国のポリシーメーカーやプログラムマネージャー、開発パートナー等に提案され、意見が交わされた。また、同研修最終日にはWAHOが設立された歴史的な経緯や使命について、WAHO代表から説明があった。WAHOの活動は、ECCOWASメンバー国からの拠出金と開発パートナーからの支援によって行われている。国によって多少立場が異なるものの、すべてのメンバー国がWACIPACの自立発展計画(案)を支持している。

### 2) 組織と財政

ガーナ大学は野口研の研究者をWACIPACの兼任として提供している。ガーナ大学はWACIPACを独立した組織としては見なしておらず、独自の予算も配分していない。大学の自己資金は管理経費にほぼ限定されており、プロジェクトの自立運営に必要な資金は外部ファンドによって賄われるのが大学の一般的なシステムとなっている。成果1の活動に設定されていた大学からの正式承認についても、大学側が人員・予算を追加的に確保するものではなく、既存のスタッフが兼任の形でセンター担当となり、外部ファンドの目処がついて初めて正式承認されるという性質のものであり、いわば大学が正式にセンターの名称使用を承認することにより、正式に大学に付属するセンターとして、その存在を認知するという性質のものであることが判明している。

したがって、将来の具体的な外部ファンドと活動内容の目処が立たない状況では、大学からの正式承認に向けたプロポーザルを作成し得ないことが明らかになり、プロジェクトではまず、WACIPACの西アフリカにおける域内センターとしての位置づけを確立するべく、WAHOへの統合構想を自立発展計画(案)として作成するに至った。同計画(案)は、野口研の研究技術面の比較優位と蓄積された経験、ネットワークを活用して進めるものであり、自立発展への打開策として実現していくことが期待されている。

### 3) C/Pの技術水準と運営能力

プロジェクトの国際研修は研修受講者から高い満足度を得られる内容を提供しており、C/Pの講師としての高い技術力が認められる。また、国際研修コースの運営やロジスティックスにかかる体制は中間評価調査以後向上した。

## 4-2 結論

プロジェクト前半期間において、プロジェクトは運営上困難な状況に直面していたものの、運営指導調査および中間評価調査を通じた軌道修正が功を奏し、プロジェクト後半期間は活動進捗が加速化し、プロジェクト目標である「WACIPAC が西アフリカ地域のメンバー国の統合的な寄生虫対策のための人材養成の役割を果たす」は、現行協力期間内におおむね達成される見込みである。

各成果の達成状況としては、①WACIPAC の組織能力の向上、②デモンストレーションサイトとしてのガーナ国内でのモデルサイトの確立、③国際研修・ワークショップの成功、④情報ネットワークの促進、⑤重点支援国（ガーナ・ベナン・ニジェール）での支援活動の実施が比較的良好に進められており、これら成果の達成がプロジェクト目標の到達に有効に働いていることを確認した。

評価5項目の観点からの評価としては、特にプロジェクトがもたらしたインパクトにおいて特徴的な成果が発現しており、重点支援国では WACIPAC が支援した駆虫モデルや学校自己評価シートの開発に基づき、国家レベルでのスケール・アップ（普及）が進行中であることを確認した。また、それ以外のメンバー国においても、国際研修で得た知見・経験や WACIPAC のフォローアップ訪問を通して、省庁間委員会の形成、駆虫プログラムの実施、学校保健政策・ガイドラインの策定等が促進されてきたことは特筆に値する。

一方で、プロジェクト前半期間において、活動に対する関係者間のコンセンサス形成やプロジェクト運營業務にたびたび問題が生じ、円滑な活動遂行に影響を与えた時期があり、プロジェクトの効率性には課題が残る結果となった。その多くが運営指導調査や中間評価調査を通して改善されたものの、プロジェクト運営上の教訓として、進捗に及ぼした状況と改善方策について日本側で共有し、今後の類似案件の参考としていく必要性があろう。

今後に向けて協力相手機関である野口研では、センターの自立発展性を担保する気運が高まり、WACIPAC の機能を WAHO に統合する計画（案）が自主的に立案されている。現在、メンバー国の保健省・教育省関係者の支援を得て協議が進められている。残余期間においても継続してこれらプロセスを進めることで、本プロジェクトの成果を持続させていくことにつながるであろう。

## 第5章 提言と教訓

### 5-1 提言

#### (1) WACIPACの自立発展に関すること

WACIPACの自立発展性を確保するべく、WAHOへのプロポーザル提出を早期に行い、継続してメンバー国からの協力を得られるよう努力すること。

WACIPACではセンターとしての自立発展性を維持するために、WAHOへの統合という自立発展計画(案)を自主的に策定している。同計画(案)では具体的には、①各国の教育省・保健省が中心となって、寄生虫対策を主体とした各国での活動を支援するものと、②それに付随する基礎研究を支援する活動とに大別されている。

①については、各国の対策活動のため、教育省・保健省にWACIPAC担当官が任命することを想定している。WAHOにはWACIPAC担当者が任命され、フォーカルパーソンとして各国のWACIPAC担当官を取りまとめ、活動を進めていく構想となっている。②については、各国とのネットワークづくりという位置づけで野口研が認識され、リサーチ部門の取りまとめを野口研が担っていく構想となっている。

この自立発展計画(案)を実現するためには、統合先のWAHOとの折衝が必要となるほか、WAHO加盟国の一部となるプロジェクトのメンバー国からの理解と合意が不可欠である。また、WAHO加盟国にはプロジェクトのメンバー国以外の国(シエラレオネ、リベリア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、カーボベルデ)も含まれているため、これらの国々への働きかけも肝要である。

すでにメンバー国については、本調査期間中に実施された国際研修(ワークショップ)の場においてプロジェクトから説明が行われ、参加したポリシーメーカーにより、WACIPACの自立発展計画(案)を支持していくことが明記されたコミュニケへの署名を済ませている。継続して、プロジェクト残余期間、および終了後も継続して自立発展計画(案)の実現に向けた関係各所との調整が求められる。

#### (2) リサーチに関すること

モデルサイトでのリサーチ結果を取りまとめ、科学的な論文を執筆・投稿するなど、WACIPACが継続してオペレーショナル・リサーチを先導すること。

中間評価調査以降、モデルサイトでは学校保健を通じた寄生虫対策モデルの検証のため、フィールドリサーチを2件(①アダフォ地区における学校でのインターベンションを通じた寄生虫対策とコミュニティの役割に関する研究、②カセ地区におけるマラリア予防教育の学校からコミュニティへの波及に関する研究)実施している。

本調査時点ですでに国内外の学会での結果発表の機会が予定されているものの、リサーチとしてはプロジェクト残余期間中に、インターベンション後のフォローアップ調査としてKAP(Knowledge, Attitude and Practice)調査や寄生虫学的調査を実施し、介入校・非介入校間や介入前後の比較検討を行う予定となっている。

したがって、プロジェクト残余期間中にフォローアップ調査を計画どおり遂行してデータ

を収集するとともに、C/P 主体でリサーチの結果を取りまとめ、科学的な論文として公表していくことが求められる。

### (3) 重点支援国での活動に関すること

更なる成果発現に向けて、重点支援国での活動（計画済み）を確実にモニタリングすること。

重点支援国のうち、特にベナンとニジェールについては、小規模な活動ながらインパクトを発現しており、他の CIPACs の成果と比較をしても顕著な取り組みである。両国ともプロジェクト終了後は、バイ協力の中での JICA 協力の継続や各国保健省によるスケールアップ、開発パートナーとの連携が引き続き予定されているため、更なる成果発現に向け、プロジェクト残余期間において計画された活動の着実な遂行とモニタリングが求められる。

## 5-2 教訓

前述第3章「3-4 (3)」のプロジェクト運営上の課題で述べた内容を踏まえ、特にプロジェクト運営において本プロジェクトの経験から抽出される教訓を以下に列記する。

### (1) 広域協力の案件形成上の留意点

広域協力の有効性について日本側で取り上げられ話題になる機会は多いが、途上国側の要望の調整や合意形成、計画・実施の手順について整理されておらず、案件設計が容易ではない協力形態であり、準備に多くの時間と労力がかかることを、関係者がまず認識する必要がある。そのうえで、協力開始前に、協力対象各国の政府窓口・C/P 機関、それらの国を担当する JICA 事務所と十分協議し、協力の内容と方法について合意するとともに、基本的な人間関係を構築しておくべきである。これには相当の時間がかかる可能性があるが、協力開始前にこれらの段階を踏まなければ、協力開始後、関係者の認識や具体的な協力方法について齟齬が生じて活動の遅延や混乱を招く可能性が高い。

### (2) プロジェクトの基本認識の形成と共有

プロジェクトの準備から協力開始後初期の段階においては、何よりもまず関係者間の信頼関係を構築し相互理解を深めたうえで、プロジェクトの目標、予算を含む事業実施体制の見通し、具体的な活動計画などについて、基本的な認識をすり合わせ共有する必要がある。その過程で、関係者が必要と考えるならば、PDM の修正にも早めに取り組むことが望ましい。PDM は、所期の目的の達成に向けてプロジェクトの適正な進捗を管理するためのツールであり、関係者が理解して使いこなせるものであるべきである。

### (3) 協力相手方の特徴を勘案したプロジェクト計画の検討

JICA としての協力可能範囲や程度（予算額・支出可能項目・会計基準、専門家の指導分野・派遣可能時期・人数、協力対象地域（安全対策の観点も含む）等）については、具体的に活動計画を立てる前に、協力相手方に明確に説明し理解を得ておくべきである。その際、一方的に JICA の原則だけを主張するのではなく、協力相手方の特徴（組織基盤、組織の機能、現有の人材、JICA との協力の実績等）を勘案し、折り合える点を探る姿勢が必要である。野

口研の場合は、管理費で雇用が保障されている定員は少数しかいない一方、さまざまな外部資金を獲得して人材を期間雇用する方式で長年業務を遂行してきていること、組織の本分は研究であり主要 C/P は研究者であること、主要 C/P は自立的に仕事を進める能力を持った人材である、といった特徴がある。本プロジェクトの場合は、日本側がこれらの点を明確に意識し始めてから、C/P との協議がより建設的に進展するようになったと感じられるため、留意が必要な点である。

#### (4) プロジェクトのモニタリング上の留意点

案件形成を綿密に行うことは、どのプロジェクトにも共通している基本事項ではあるが、プロジェクト開始後、仮にプロジェクトの現場関係者のみで解決することが困難な状況が発生した場合は、JICA 事務所や本部は適時に現場に出向いて調整を図る必要がある。その際、可能な限り、プロジェクト準備段階からの経緯を理解している人物（国内支援委員等）の関与による首尾一貫した対応が求められる。

## 第6章 評価総括

### 6-1 総括（山下団長）

WACIPACのこれまでのPDM改訂の経緯や中間評価調査時点までのプロジェクトの進捗状況等から、今回の終了時評価に際しては、あまり芳しくない結果が出る可能性も考えていた。しかし、調査の結果は良好で、C/P側との協議も円滑に建設的に進んだ。具体的には第4章「4-2」に述べられているように、WACIPACはプロジェクト目標をほぼ達成し成功裏に終了する見込みであり、評価内容についてC/P側とは特段の見解の相違もなく合意することができた。中間評価調査以前の状況を考えれば、これは瞠目すべき進展である。

このような進展が見られたことに関し、すでに終了したACIPAC・ESACIPACの終了時評価当時の状況も考えながら、WACIPAC終了時評価の結果を振り返り、特に重要と思われる点を以下にあげる。

#### （1）当事者意識の醸成

今回の終了時評価を通じ、ガーナ側C/P（野口研）をはじめとする各国関係者の当事者意識が極めて高くなっていることが感じられた。WACIPACをメンバー国の主体的取り組みにより盛りたてて継続させていくべきであるとの発言が国際研修（ワークショップ）において繰り返し聞かれ、メンバー国の当事者意識の高まりを感じることができた。WACIPACプロジェクトの運営には、第3章「3-4」にも述べられているように紆余曲折があったが、終了時評価時点で振り返れば、そのことが結果的にC/Pの自立性を高めた面があったといえなくもない。

いずれにしても、終了時評価に際してのC/P側の議論が、JICAの協力期間終了後の持続可能性に向けて今回ほど真剣に盛り上がることはかつてなく、周辺メンバー国の巻き込み・メンバー国の当事者意識の醸成は、WACIPACの特筆すべき業績であるといつてよい。PDMには「当事者意識」といった指標は入っていないが、このような業績をもたらしたC/Pの意識変革はプロジェクト成功の判断材料の一つと見なされよう。

#### （2）日本側の支援体制の存在

本プロジェクトはJICAの対ガーナの技術協力の枠組みで実施されてきたが、JICAの通常の二国間技術協力プロジェクトによる投入のみでWACIPACをここまで強化し得たわけではない。WACIPACを現在のような形で成り立たせるために、技術協力プロジェクトを中心としつつも、日本からの協力が並行して別チャンネルで展開された事実がある。別チャンネル部分は、PDMの枠組みの中で行われる終了時評価の範囲外ではあるが、それがなかった場合にはプロジェクトの成果は違ったものになったであろうことを理解しておく必要がある。

また、CIPACsの3プロジェクトには国内支援委員会から大きな支援を得たが、特にWACIPACに関しては進捗が遅れ気味だった期間が長かったこともあり、プロジェクト運営強化のための助言、先行するACIPAC・ESACIPACで得られた知見の投入、日本側人材の選定などの面で、国内支援委員会から殊に手厚い支援を得た。このことは終了時評価の結果に直接的に表現されるものではないが、国内支援委員会からの支援がなかった場合には本プロジェクトの運営は一層困難となりプロジェクトの進捗に影響を及ぼしたであろうことをここ



に記しておきたい。CIPACs 全体の経緯を十分に踏まえた支援が国内支援委員会から一貫してなされたことの意味は、WACIPAC にとっては特に大きかったと思われる。

### (3) 経験から得られる教訓

第3章「3-4」にも述べたとおり、本プロジェクトの当初の設計や運営の過程にはいくつか乗り越えなければならない課題があり、プロジェクトの進捗を遅らせたが、プロジェクト専門家と C/P を中心とする関係者の努力により状況は改善され、プロジェクトは後半になって大きく進展した。この経験から学べることは多々あると思われる。

特に、日本側の政策イニシアティブが基本となって形成された案件の詳細設計、協力相手国が複数にまたがる「広域案件」の運営、長年の協力実績があり、すでに一定程度の能力を獲得した相手先との関係構築といった点について、留意が必要な案件が今後も形成・実施される可能性は高い。

WACIPAC が過去に直面した問題と当時取られた対応について、改めて洗い出し整理する作業は気の重いものであった。しかし、関係者の努力によるさまざまな対応の積み重ねが、プロジェクトの進捗を後半劇的に改善させ、プロジェクトを成功させる基礎となったのであり、当時なされたことを総括してはじめて本プロジェクトの終了時評価は完結すると思われる。当時の問題と対応については、第5章「5-2」に「教訓」として取りまとめたので、具体的な内容はここでは繰り返さないが、プロジェクト実施状況の改善のための関係者の努力は甚大で、プロジェクト成功の基礎として高く評価されるべきであることを、ここに記しておきたい。今回の終了時評価調査の結果、プロジェクト成功の鍵は「人」（特に専門家）である、ということが改めて指摘される。

## 6-2 国際寄生虫対策（竹内団員）

### (1) ガーナ大学での WACIPAC の位置づけに関する承認について

プロジェクト開始初期より、C/P が所属する野口研の母体であるガーナ大学による WACIPAC の公式な機関としての承認は必須なものと位置づけられ、プロジェクト内での諮問委員会など種々の場において日本側より要請を繰り返してきた。しかし、開始後より、ガーナ大学内における野口研のあり方が、基本的には外部資金によるプロジェクトベースにほぼ統一されていることにかんがみ、プロジェクトの PDM には残しておくものの、実質的にはお互いの意向を理解するという方向を採用し、その枠組み内で WACIPAC 活動の実効性をあげる形にシフトしていった。これは一見、プロジェクトの基本と矛盾するようであるが、結果的には野口研 C/P のプロジェクトへの理解、日本側への理解を促進する結果になったものと考えている。要はプロジェクトの目的を人材育成、周辺国活動などに焦点を当て、必ず衝突せざるを得ないところは、相互に暗黙の了解で乗り越えてきたというところがある。これは結果論ではあるが賢明であった。

### (2) プロジェクトにおけるモデルサイトの運営について

プロジェクトの運営上、中間評価調査までの最も大きな運営面での問題は、ダンメ・イースト郡における CDDF（当初 PCA）の扱いに関するものであった。中間評価調査前に実施されたモデルサイトの評価では、プロジェクト全体の予算に比して過剰な投資が PCA 事業に对

して行われ、このことが事務所、プロジェクト専門家、C/P 間の関係にまで影響するまでになったものと理解された。幸い、プロジェクト後期には投資も適正化され、PCA 事業もデモンストレーション用のモデルサイトとの位置づけで、フィールドリサーチの対象となり、目的が明快となった。しかし、終了時評価においては、やはり C/P 側と完全な評価の一致に至ったとはやや言いがたい。C/P 側は当初の PDM に則して実施しただけである、という見解であった。確かに当初の PDM の非合理性は明らかであったが、それでも通常では考えられない投資が行われたことは事実であり、多くの責任は日本側にあるものとするが、教訓は大きい。プロジェクト関係者間の連携を密にとは、言葉で言うのは簡単であるが、実効を伴わせるのは関係者の努力と相互理解が必要であることを忘れてはならない。

### (3) プロジェクトの継続性について

今回、終了時評価の最大の焦点は WACIPAC の自立発展性であった。C/P 側から提示されたのは ECOWAS に属する WAHO への統合というものであった。野口研とガーナ大学の状況を考えるに、地域的な展開を視野に入れたこの考えはいわば当然の帰結ともいえるものであった。今回の終了時評価調査は周辺 10 か国のメンバー国からのプログラマネージャー、続いてポリシーメーカーを対象とした国際研修（ワークショップ）すべてに参加したが、この 1 週間すべてを費やしたワークショップの主要な議題が、実は上記の WAHO 統合の是非を問うものであった。終了後、振り返ってみると、この 1 週間のすべてを自立発展性に関する討議、換言すると WAHO 統合の是非についての討議に費やしたことは実に賢明であった。ワークショップ参加国はカメルーンを除いて、ECOWAS の構成国であり、そこから招聘したプログラマネージャー、ポリシーメーカーを相手に、この議題のみを事実上取り上げて議論できたことが、ワークショップの焦点を際立たせ、野口研の意向を明快に示したという点で高く評価できる。さらに、カメルーンを含む参加国が一応賛意を表し、JICA も側面支援を行うこととなったので、このワークショップは成功裡に終わったというべきであろう。この点は、恐らく野口研所長はじめ関係スタッフの構想力のなせる業といえよう。ただ、地勢上中央アフリカに属するカメルーンの扱いについては懸案として残った。

### (4) 国際寄生虫対策イニシアティブにおける WACIPAC の意義

WACIPAC は国際寄生虫対策イニシアティブの基本理念のうち、最も重要なものの一つである人材育成のために設置された CIPACs のなかで、最も後から技術協力が開始され、最後に終了を迎えるものである。よって一般には先行した ACIPAC、あるいは ESACIPAC の教訓を活かすことが可能であったことが成功の一因と思われがちであるが、それは必ずしもすべてにわたって正しいとはいえない。

確かに一部のプロジェクト専門家は ACIPAC、ESACIPAC を経験しており、学校保健のあり方について、ACIPAC で得られた深い経験を活かすことができ、また ACIPAC に基づくタイ専門家の寄与は有意義なものであったが、仏語圏諸国をメンバー国とし、西アフリカという世界の最も貧困な地域を対象とした WACIPAC の困難さは、長い間 JICA/日本の援助が入ってきたメコン地区とは別格のものである。

その中でも、ニジェールなど、国際機関の統計でも、世界で最も貧しい仏語圏諸国にアウトリーチ活動を展開できたのは、先行プロジェクトとは全く異なる意義を有している。日本

にとっても、また JICA にとっても、この西アフリカにおける WACIPAC のアウトリーチ活動は将来大きく飛躍する礎になるであろうし、またそうしなければならない。換言すれば、WACIPAC の活動は日本にとっても西アフリカにおける戦略面でも、実施面でもチャレンジであった。西アフリカでの成功は、国際寄生虫対策イニシアティブの成功をも意味するものといえる。

国際的にみても、国際寄生虫対策イニシアティブにおける WACIPAC の成功は、本イニシアティブ・JICA・日本が最も有意義なパイオニアとしての役割を果たした「顧みられない熱帯病 (Neglected Tropical Diseases : NTD)」の概念確立において最後の扉を押し開けたものといえることができる。国際寄生虫対策イニシアティブが実施される前は、どの国においても公衆衛生上のプライオリティが極めて低かった土壌伝播寄生虫症、住血吸虫症、フィラリア症などに対しては、最近 USAID などの機関が、特に西アフリカに対して多額な投資を行い、集団駆虫を実施しようとしている。その中で、同じ地域において学校保健プラス教育をとおり、ヘルスプロモーションを企図した WACIPAC の存在は一際目立つものとなっており、NTD への包括的対応を考える際に、大きな示唆を与えるものといえることができる。世界が集団駆虫に走ろうとしている現在、Focusing Resources on Effective School Health (FRESH) 等と並び、教育を前面に立てたアプローチは価値が高い。このことは世界銀行等でも高く評価しており、JICA/日本が達成した成果として、もっと周知せしめる価値がある。

#### (5) 総括として

運営指導 (モデルサイト活動評価)、中間評価調査の時点では、プロジェクト全体の成否もさることながら、日本側とガーナ C/P の関係も芳しくない状況が続き、周辺国活動の低下などをみても展望が描ける状況になかった。それが終了時に際しては成功という評価になったのは、すべて現地のプロジェクト専門家、業務調整専門家、C/P サイド、あるいは JICA 本部、JICA ガーナ事務所の努力によるものである。終了時評価調査団員としてではなく、国内支援委員長として関係者全員に謝意を表すところである。顧みれば、広域展開の準備構築、JICA 会計基準のあり方など、更にはプロジェクト専門家、業務調整専門家、JICA 事務所のあり方まで実に多くの教訓を残した貴重なプロジェクトであった。国内支援委員長としては、この教訓を活かし、今後の JICA 事業をより活性化していただきたいと願うものである。

### 6-3 学校保健 (小林団員)

#### (1) モデルサイトでの活動について

第3章「3-2 (2)」に述べられているとおり、モデルサイトについては、国際研修のデモンストレーションサイトとして高く評価される。具体的には、学校ごとのポリシーの作成、教師トレーニングの実施、健康教育ツールの開発、多くの健康教育の実施、トイレや手洗いのための水の設置、駆虫の実施、安全な食事への管理等、コミュニティとの積極的な連携がなされた。運営指導、中間評価調査で問題となっていた Community Directed Development Foundation (CDDF) についても、学校保健活動へのコミュニティとの積極的連携を促進したことは効果的であったといえるだろう。

一般的に、学校保健を基盤としたアプローチはコミュニティを基盤としたアプローチと比較して、啓発の観点から有効であるだけでなく効率的であるともいえる。しかしながら、効

率性のあるモデル形成については、評価ができない結果となってしまうている。従来、コミュニティを基盤とした NGO と学校との連携は、効率性が高く有効性も高くなるアプローチであり、モデルサイトにおいても CDDF スタッフの交通費がバス会社との連携により無料となっていたり、マラリア対策のサイトではコミュニティからの寄付が促進されたりと継続性・効率性を高くすることのできるアプローチであることが確認されている。

NGO 設立と連携は日本の寄生虫予防会の経験からなるものであり、ガーナ C/P もこれに影響を受けて考えられたモデルであったといえるだろう。プロジェクト当初に、NGO 設立を含めたモデル形成全体において、初期投資、効率性の高いモデルの形成、NGO 資金の透明性と資金源確保、インカムジェネレーション等をガーナの状況に適したアプローチとして検討し、モデル形成を進めていたら効率性の高いモデルとして実証できたかもしれない。

インカムジェネレーションについては、寄生虫の診断治療の有料性のみ導入に頼ってしまったことが、ガーナの状況に適した導入にならなかった要因と考えられる。学校ベースの集団駆虫（単に学校で、寄生虫症の治療を行うこと）は検査を行わないため容易であり、効率性はほとんどの国においても確保される。しかしながら、継続性と発展性をにらんだ学校保健ベースの寄生虫対策においては、国、地域ごとに有効性、効率性を検討した戦略策定の作業が必要となる。

すなわち、単に治療薬を学童全員に投薬するだけでなく、ポリシーの強化によって学校、学童の自主性を高めたり、安全な水の確保やトイレの設置等の環境づくり、さらにビタミン A 供給といった更なる栄養改善、他感染症対策に発展させていくことが可能である。教育セクターと保健セクターの協調によるシステム形成、中央から草の根までの PPP (Public Private Partnership) の強化等について、それぞれの国、地域ごとに戦略を立て、さらに実現性、継続性を検討していくことが成功の鍵となるだろう。

これは、国際開発一般に共通なものであると考えられ、派遣されたプロジェクト専門家だけでなく日本側全体でこの視点で支援が行われなかったことは反省すべき点ではないだろうか。第3回運営指導においては、C/P と日本側のコミュニケーションギャップを埋めることに奔走してしまい、フィールドリサーチの実施という形で投入の透明性を確保し、有効性の実証といったところに落ち着かせることが精一杯であった。

しかしながら、プロジェクトの残り期間を意識せず、日本側から国際開発の視点で指導できるプロジェクト専門家の投入を積極的に図ることを提言していれば、効率性のある NGO との連携モデルができたかもしれないことは大変悔いる面である。ある面 C/P からすれば、JICA からの投入は資金の確保にほかならない。効率性・継続性をドナーサイドとして主張するには、単に JICA からの資金支出や会計管理の面で指導するというのではなく、NGO の運営（特に財政面）に対して適切に指導することが本当は重要であったのではないかということ関係者一同に一考が必要であろう。

中間評価調査以降のフィールドリサーチの実施については、プロジェクト専門家、短期専門家の努力によって確実に実施され効果を得ている。モデルの有効性が科学的に実証されつつあり、C/P によって発表されるまでに至ったことは大きく評価される。ここで見逃してならないことは、C/P 自らが効率性を考慮することに至っていることである。今後、国際開発のドナーとしての専門性をもって、C/P と共同作業を展開することができれば、モデル形成についても大きな成果を残せると期待される。

## (2) 周辺国支援活動について

### 1) ベナン

土壌伝播寄生虫症の対策については、ダンボ地区での活動がモデルになり、全国展開が行われることになったことは大きく評価できる。また西アフリカ地区 NTD 会議（2008 年）がベナンで行われるようになったことはこのような成果があったからにはほかならない。全国展開においては、効率性の確保のため学校区（School Cluster）を利用するなど、モデル地区の経験を発展させようとしていることも高く評価できる。

包括的学校保健の自己評価表の作成においては、プロジェクト残りの期間での努力が望まれる。自己評価表の作成には以下のステップが必要となる。

- a) ベースとなる暫定的自己評価表の作成：他国のモデルから自国の状況に適応した評価表への模索が一般的
- b) 学校現場（複数校）での自己評価表の施行とその結果に基づく改変
- c) スーパーバイズシステム（配布、回収、他己評価、評価による計画、表彰制度等）を考慮した実現性のある評価表への改変
- d) 県、郡レベルで大きな教育管区での施行とその結果に基づく改変

残念ながら、調査実施支店では、a) の段階も終了していないため、実現性を考慮するとプロジェクト残余期間では、c) のレベルまでが行われることが強く望まれる。

ここで大きく弊害になっているのは、プロジェクト専門家がいない期間しか予算支出ができず、2008 年の活動が短期専門家の滞在する 1 か月間に行う計画とならざるをえない状況だということである。C/P は小学校の休暇の期間を考慮して 10 月の教師トレーニングの実施を希望しているが、会計管理の都合により自己評価表の改変や他の活動と平行して 1 か月の間にすべて実施しなければいけない計画になってしまっており、自己評価表の作成の進展の阻害要因となっている。

自己評価表の作成が中途半端で終わることは単に未完成になるというだけでなく、ベナンにおける今後の学校保健活動の推進に混乱を残すことになりかねないので、プロジェクト終了後の支援も必要と考えられる。また自己評価表による包括的学校保健システムの構築には、プロジェクト期間中にガイダンスをしたとしても、現在のベナンの人材だけではプロジェクト専門家からの細部にわたる技術支援なしには実現が難しいことも考えられる。

今回の訪問時に実施された合同評価会議においては、会計管理の年次ごとの変化による混乱、小規模事業支援活動と青年海外協力隊活動とのコミュニケーションギャップが阻害要因として C/P より強く指摘された。これについては、各 JICA 事務所、プロジェクト専門家らの努力により改善されつつあるが、さらに今回 C/P と事務所との間で会議を設定しコミュニケーションの促進を図ったことと、短期専門家の派遣によって今後は改善されることが望まれる。

### 2) ニジェール

WACIPAC による包括的学校保健の自己評価表の紹介によって、ニジェールでは環境のコンポーネントの自己評価表が作成され、モデル地区での試行が終わっている。調査実施

時点で自己評価表の回収が行われており、今後これによる見直しとその後の全国展開が他ドナーとのパートナーシップのもと予定されていることは高く評価できる。特に、ニジェールの状況を考慮した実現性・継続性を重視したモデルの形成は、プロジェクトの成果のなかでも評価できるものの一つであろう。

全国展開において、評価表の回収とそれによるスーパーバイズの実施の是非と方策が決定していなかったため、今後の全国展開においてこの点を明らかにすることを今回示唆した。また同時並行にて世界銀行の支援によって包括的学校保健の政策ペーパーと国家戦略の策定が行われていたが、残念ながら、これには自己評価表の導入の記載が得られていなかった。短期間のコンサルタントによって実施されたためと考えられるが、成文化されるまでに時間があると考えられるため、この点についてフォローが必要である。

最後に、ニジェールで成果が得られたことは、プロジェクト専門家らプロジェクトと、企画調査員ら JICA ニジェール事務所の緊密な協力関係が鍵となったといえる。ACIPAC のラオスでの成果においても、同様に現地プロジェクトとの協力が鍵となった。広域プロジェクトの成功にはこれら JICA 事務所、関連専門家間の相互理解と協力のファクターが大変大きいといえるのではないだろうか。

### (3) 広域プロジェクトについて

今回各国に学校保健の政策と、保健セクターと教育セクターをまたぐシステムが構築されたことを確認できたことは大変大きな成果であった。広域プロジェクトによってプロジェクトからの技術支援に加えて多国間の意見情報交換が行われ、各国の政策・戦略策定が二国間援助よりも効率的に実施できたと考えられることは、CIPACs の実施の経験として最も大きなものであろう。

特に、学校保健のように各国の政策として盛り込まれていない場合が多いものの普及には、二国間援助には要請があがってこないのが、広域プロジェクトによって効果的に政策策定を狙っていくことが必要となってくる。広域プロジェクトの実施には、会計管理の煩雑さや事務所間のコンセンサスづくりの難しさはついてまわってしまったが、これらの阻害要因の経験のみで今後広域プロジェクトの実施が考慮されなくなることがあるとしたら誠に残念である。これらの阻害要因を取り除いて効果的に広域プロジェクトを実施する方策、さらにラオスやニジェールのような成功例をもたらした促進要因を解析することで、今後 JICA ならではの広域プロジェクトが展開されていくことを提言したい。

## 付 属 資 料

1. 終了時評価調査協議議事録 (M/M) (合同評価レポート付)
2. 評価グリッド
3. 質問票
4. 合同評価会議実施記録 (ベナン・ニジェール)
5. メンバー国プログラムマネージャーへの直接インタビュー結果
6. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM 第1版)
7. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM 第2版)
8. 国際寄生虫対策西アフリカセンター (WACIPAC) 自立発展計画 (案)





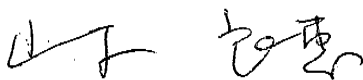
**Minutes of Meetings**  
**between**  
**The Japanese Final Evaluation Team**  
**and**  
**Noguchi Memorial Institute for Medical Research**  
**University of Ghana**  
**on**  
**Japanese Technical Cooperation Project**  
**for**  
**The West African Centre for International Parasite Control**

The Japanese Final Evaluation Team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Ms. Yoshie Yamashita visited the Republic of Ghana, Benin and Niger from June 15 to July 11, 2008, for the purpose of evaluating the achievements of the Project for the West African Centre for International Parasite Control (WACIPAC) (hereinafter referred to as “the Project”) jointly with the Project counterparts.

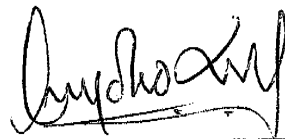
During the stay, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Ghanaian authorities concerned with the Project and representatives of other WACIPAC member countries.

As a result, both Japanese and Ghanaian sides agreed upon the results of the evaluation which are summarized as the Joint Evaluation Report attached hereto.

Accra, July 11th, 2008



Ms. Yoshie Yamashita  
Leader,  
Final Evaluation Team,  
Japan International Cooperation Agency,  
JAPAN



Prof. Alexander Nyarko  
Director,  
Noguchi Memorial Institute for Medical Research,  
University of Ghana,  
REPUBLIC OF GHANA

**JOINT EVALUATION REPORT  
ON  
THE PROJECT  
FOR  
THE WEST AFRICAN CENTER FOR  
INTERNATIONAL PARASITE CONTROL  
(WACIPAC)**

**July 11th, 2008**

**Japan International Cooperation Agency  
Noguchi Memorial Institute for Medical Research**

## Abbreviations

|          |   |
|----------|---|
| ACIPAC   | Asian Center of International Parasite Control                      |
| CIPAC    | Centre for International Parasite Control                           |
| C/P      | Counterpart   |
| ECOWAS   | Economic Community of West African States                           |
| ESACIPAC | Easten and Southen African Centre of International Parasite Control |
| GES      | Ghana Education Service   |
| GHS      | Ghana Health Service  |
| GIS      | Geographic Information System                                       |
| GPCI     | Global Parasite Control Initiative                                  |
| IEC      | Information, Education and Communication                            |
| JCC      | Joint Coordination Committee  |
| JICA     | Japan International Cooperation Agency                              |
| JOCV     | Japan Overseas Cooperation Volunteer                                |
| MM       | Man Month   |
| MOE      | Ministry of Education   |
| MOH      | Ministry of Health  |
| NGO      | Non-Governmental Organization                                       |
| NMIMR    | Noguchi Memorial Institute for Medical Research                     |
| NTDs     | Neglected Tropical Diseases   |
| ODA      | Official Development Assistance                                     |
| PDM      | Project Design Matrix   |
| STH      | Soil Transmitted Helminthiasis                                      |
| UNICEF   | United Nations International Children Education Fund                |
| WACIPAC  | West African Centre for International Parasite Control              |
| WAHO     | West African Health Organization                                    |
| WFP      | World Food Programme  |
| WHO      | World Health Organization   |

## Table of Contents

|  |  |
|--|--|
| <b>1. Introduction</b>                                   |  |
| 1-1 Evaluation Team and the Purpose of Dispatch.....     | 1  |
| 1-2 Background and Summary of the Project.....           | 1  |
| <b>2. Methodology of Evaluation</b>                      |  |
| 2-1 Methodology of Evaluation.....                       | 3  |
| 2-2 Information Collection Method.....                   | 4  |
| <b>3. Project Performance and Implementation Process</b> |  |
| 3-1 Input.....   | 5  |
| 3-2 Output.....  | 6  |
| 3-3 Achievement of Project Purpose.....                  | 12   |
| 3-4 Implementation Process of the Project.....           | 13   |
| <b>4. Results of Evaluation</b>                          |  |
| 4-1 Relevance.....                                       | 16   |
| 4-2 Effectiveness.....                                   | 17   |
| 4-3 Efficiency.....                                      | 18   |
| 4-4 Impact.....  | 19   |
| 4-5 Sustainability.....                                  | 20   |
| 4-6 Conclusion.....                                      | 21   |
| <b>5. Recommendations.....</b>                           | <b>22</b>  |
| <br>   |  |
| ANNEX I  | The Members of the Joint Evaluation                |
| ANNEX II   | Project Design Matrix (version 3)                  |
| ANNEX III  | Evaluation Grid                                    |
| ANNEX IV   | List of Japanese Experts and Ghanaian Counterparts |
| ANNEX V  | List of Experts from ACIPAC/ ESACIPAC              |
| ANNEX VI   | List of Equipment                                  |
| ANNEX VII  | List of Training Activities for the Counterparts   |
| ANNEX VIII   | Operational Cost from the JICA Project Fund        |

## **1. Introduction**

### **1-1 Evaluation Team and the Purpose of Dispatch**

JICA dispatched the Final Evaluation Team (hereafter referred to as “the Team”) to Ghana, Benin and Niger from 14th June to 13th of July, 2008 to jointly conduct the final evaluation of the project for the West African Centre for International Parasite Control (WACIPAC) (hereafter referred to as “the Project”) with Ghanaian Counterparts (C/Ps) and JICA experts. The members of the joint evaluation are listed on Annex I.

JICA defines three objectives of the evaluation: 1) Using evaluation feedback as means for program operation and management; 2) Enhancing the learning effects of the personnel and organizations concerned for more effective project implementation; 3) Disclosing Information widely to secure JICA's accountability. For the final evaluation, the Team reviewed the achievements made in the past four and a half years of the Project cooperation period and prepared the Joint Evaluation Report in collaboration with the Project implementers, to summarise the performance of the Project, and to confirm the recommendations for the remaining period of the Project.

### **1-2 Background and Summary of the Project**

The Global Parasite Control Initiative (GPCI) had its inception at the 1997 Denver Summit of the G7 countries when Japan advocated the importance of international cooperation in parasitic diseases control. At the subsequent G8 meeting in Birmingham in 1998, Japan declared her intention to help developing countries to strengthen their human and information network for parasitic diseases control through establishing three regional centres in Thailand, Kenya and Ghana.

Following this decision, Asian Center of International Parasite Control (ACIPAC) was established at Mahidol University in Thailand in 2000. Then the Eastern and Southern Africa Centre of International Parasite Control (ESACIPAC) was established at Kenya Medical Research Institute, Kenya in 2001. In Ghana, the Noguchi Memorial Institute for Medical Research (NMIMR), University of Ghana was selected for the West African Centre for International Parasite Control (WACIPAC).

The Project started in January 2004 with WACIPAC performing the role of building capacity for integrated parasite control activities in the West African sub-region

by the end of December 2008. The first version of Project Design Matrix (PDM) identified ten (10) countries as "Supporting sites". These are Benin, Burkina Faso, Cameroon, Cote d'Ivoire, Ghana, Mali, Niger, Nigeria, Senegal, and Togo. However, the mid-term evaluation redefined those countries as "member countries" to differentiate them from "Supporting countries or site" where the Project directly supports their start-up projects with small fund and expert's visits. Therefore, "Supporting countries or sites", hereafter means Benin, and Niger or the demonstration site of Ghana where the Project currently supports field research activities.

The target groups of the Project are policy makers, programme managers, and academia from health and education sectors. According to the revised PDM version 3, the Project is expected to achieve the following outputs by the end of December 2008.

- (1) Institutional capacity of WACIPAC is strengthened.
- (2) A model\* for school health based intervention for parasite control is developed through field research activities in Ghana. \*Demonstration site
- (3) Policy makers and programme managers of the member countries acquire knowledge and skills concerning school health based intervention for parasite control through the international training courses and follow-up.
- (4) WACIPAC functions as a hub for information network within the member countries, and promotes networking among three GPCI International Centres (CIPACs)
- (5) Supporting countries start activities on school health based intervention for parasite control.

## **2. Methodology of Evaluation**

### **2-1 Methodology of Evaluation**

The Team verified the Project's outcome in a comprehensive manner by adopting an evaluation concept of relevance, effectiveness, efficiency, impact, and sustainability through assessment of the performance of the Project implementation based on JICA's Project Evaluation Guideline. Final evaluation focuses particularly on relevance, efficiency, and effectiveness. The evaluation results for impact and sustainability are prospects at the time of the evaluation. The following are the evaluation criteria applied to the evaluation.

#### **(1) Relevance**

Relevance examines whether overall goal and project purpose are valid and they still meet the Ghana's priority concerns and the needs of involved beneficiaries as well as Japan's ODA policy/ JICA's country assistance program.

#### **(2) Effectiveness**

Effectiveness focused on the extent to which the Project purpose has been achieved, or is expected to be achieved, in relation to the outputs produced by the Project.

#### **(3) Efficiency**

Efficiency refers to the productivity of the implementation process: how efficiently the various inputs are converted into outputs.

#### **(4) Impact**

Impact refers to intended or unintended, direct or indirect, positive or negative changes that occur as a result of the Project.

#### **(5) Sustainability**

Sustainability involves the assessment of whether or not the Project benefits are likely to continue after the external aid comes to an end.

In order to design the evaluation method, the Team reviewed Record of Discussion (R/D) and the PDM version 3 (ANNEX II) which outlined the essential project elements such as overall goals, project purpose, major activities, verifiable indicators for the objectives and risks in the course of project implementation. The Evaluation Grid (ANNEX III), which is a table of summarized evaluation methods, indicates the principal study items and collection methods of information and data to assess the performance of the Project including its management and implementation process.

dk

oku

## **2-2 Information Collection Method**

The following methods were used to collect the information for the evaluation questions.

### **(1) Questionnaires**

The team prepared four kinds of questionnaires (C/Ps, JICA experts, development partners, participants in international training programme). French version of questionnaires was also prepared for participants in international training programme.

### **(2) Joint evaluation meetings in Benin and Niger**

The Project supported start-up projects in Benin and Niger. In order to assess the performance of Output 5, the Team and stakeholders of start-up project jointly evaluated the achievement of the project through a half day workshop at each site. The aim of the workshops was to confirm their achievement through self-evaluation approach and to gain useful information for the Team through participatory observation. In the workshops, strength and weakness toward “replicability” were also discussed.

### **(3) Visit to the demonstration model site in Ghana**

The Team visited the demonstration site in Ada-Foah sub-district and conducted interviews with local stakeholders such as a school master and teachers etc. The aim of the visit was to collect complementing information for assessing the effectiveness of field research method.

### **(4) Participation in International Training Workshop**

WACIPAC organized “Joint Evaluation Workshop and Policy Makers Meeting on WACIPAC”, starting 30th June to 4th July 2008. The team participated in the meetings and utilized the information from the meeting.

### **(5) Direct interviews with the participants**

The Team directly interviewed participants of member countries during the international workshop to collect additional information for some evaluation questions.

### **(6) Document review**

Various documents including project reports were used as sources of information.

### **(7) Joint evaluation meeting with C/Ps from NMIMR and JICA experts**

In order to obtain feedback and share the results of the evaluation, the Team and their C/Ps from NMIMR including JICA experts had joint evaluation meetings.



### **3. Project Performance and Implementation Process**

#### **3-1 Input**

##### **(1) Japanese Contribution**

###### **1) Long and Short-Term Experts**

A total of 7 Long-Term Experts totaling 128 Man-Months (MM), have been assigned by June 2008. The areas of expertise include Chief Advisory, Project Coordination as well as various sub-disciplines in Parasite Control, School Health, and Regional Cooperation. A total of 18 Short-Term Experts totaling 50 MM, have been dispatched by June 2008. The fields of expertise include Parasite Control, School Health, Training Cycle Management, IEC, Epidemiology, Field Research and Information Technology. The list of experts is shown in ANNEX IV.

###### **2) Additional human resource for inter-CIPACs cooperation**

ACIPAC and ESACIPAC dispatched 9 experts as trainers or resource persons to WACIPAC. The list of the experts is shown in ANNEX V

###### **3) Facilities and office space for Japanese experts**

The Project administration office and the Project field laboratory facility at GHS in Dangme East District were built to operate project activities.

###### **4) Provision of equipments**

The equipment included those brought by Long and Short-term Experts became 141 items. The list of equipments provided to the Project is shown in ANNEX VI.

###### **5) Training for C/P**

A total of 12 persons have been trained under the C/P training scheme as of June 2008. The areas of training include Primary Health Care, Multimedia Technology for e-Learning, Parasite Control, Participatory Local Social Development, GIS Technology for Sustainable Management of Natural Resources and Agricultural Products, Clinical Laboratory Technology and School Health. Under the training programmes supported by JICA, one C/P benefited from long-term post graduate training programme in the field of immunology/ molecular biology in the Tokyo Medical and Dental University.

In addition, the C/Ps benefited from exposure to international courses conducted by the CIPACs and other international congresses as well in which a cumulative sum of four persons had participated. The list of training activities for the C/Ps is shown in ANNEX VII.

###### **6) Operational Cost for the Project**

A total of 136,267,176 Japanese yen (1.3 million US dollars) has been spent for

local operational costs by the Project from January 2004 to April 2008. Annual Operational Cost from the JICA Project fund is shown in ANNEX VIII.

## **(2) Ghanaian Contribution**

### **1) Appointment of C/P personnel**

A total of 16 C/Ps have been appointed for WACIPAC by June 2008. The list of C/Ps is shown in ANNEX IV.

### **2) Allocation of Budget to Project Activities**

Ghana used the funds for salaries of C/Ps, insurance for vehicles, electricity, and water, etc.

### **3) Training facility**

The training facility at the NMIMR was provided to conduct the international trainings and meetings.

## **3-2 Output**

The degree of achievement for each output is as follows.

### **(1) Output 1: Institutional capacity of WACIPAC is strengthened.**

#### **Summary:**

WACIPAC gradually strengthened its institutional capacity through improvement of ability to manage training courses and field research.

WACIPAC was officially established when the Record of Discussion was signed on 17th December 2003. Since then, 16 personnel have been appointed to serve concurrently to enable WACIPAC to perform its functions and roles. In fact, WACIPAC gradually has strengthened its capacity through organizing workshops for policy makers and programme managers, follow-up trips to the member countries, training in Japan and CIPACs, and field research activities.

Internal communication and management meetings such as Advisory Committee, Steering Committee, and the Project regular meeting also contributed to better understanding and motivation among the stakeholders. Until now, eleven (11) Steering Committee meetings and five (5) Advisory Committee meetings were held as planned. The Project holds weekly meetings to share the progress of the Project. These activities

are presented occasionally as offers and newsletters.

The response to the questionnaire showed that member countries recognized the role of WACIPAC in capacity building and the hub of information on school-based parasite control. They also mentioned the appreciation of skills and knowledge of WACIPAC during the direct interview to the programme managers in the training workshop.

WACIPAC's institutional capacity improved despite the following challenges: 1) the staffs of NMIMR served concurrently WACIPAC, the conventional way of human resource allocation in the institute, and 2) the framework of the current WACIPAC Project seemed novel to NMIMR. Some additional staffs were employed by the Project. In order to sustain the function and operation of WACIPAC, a sustainable plan is being proposed to member countries.

**(2) Output 2: A model for school health based intervention for parasite control is developed through field research activities in Ghana.**

**Summary:**

The Project completed a model site for demonstration and is implementing and presenting field research for school-based parasite control strategies.

The WACIPAC project established a model site in Dangme East district for demonstration to stakeholders including international training participants. WACIPAC supported process for the development and organization of model site visits for participants of international training courses. In the course of model site development, the followings were produced as outcomes of activities.

- Supervision system for education and health sectors
- Teacher training methods
- Development of IEC materials
- De-worming
- Development of health education plan
- Community linkage

The developed IEC materials were "Worms & Ladders", "Worms & Ladders Manual", "Worms attack Mr. KWASI's Family", "Attah fights Bilharzia Disease", and "Poor Village" in both English and French. The Project also adopted most of those IEC materials for the start-up project in Benin. Using the developed tools and materials, the

ds

act

Project conducted training for 221 frontline teachers and officers with seven (7) workshops in Ada-Foah sub-district. The interview of key informants in Ada-Foah endorsed the usefulness of the materials and tools and fruitful interactions with the visiting participants of the member countries over the school-based approach.

WACIPAC is implementing field research for school-based parasite control strategies. The following achievements were so far confirmed in this aspect.

- Two (2) presentations on international scientific congresses (i.e. 10th European Multicolloquium of Parasitology, 17th International Congress for Tropical Medicine and Malaria)
- Four (4) presentations in domestic scientific meetings (in The second Annual Scientific Conference of the College of Health Sciences, University of Ghana)
- One (1) scientific paper is to be submitted to a peer-reviewed journal and a few more in preparation.

In addition, WACIPAC improved data and cost management in model site activities. A study on parasite infection, physical status and personal hygiene through school-based health promotion activities in Ada-Foah suggested that nutritional status and hygiene at the model sites improved and parasite prevalence decreased during the 5 years of health promotion. Through school and community linkage, school health education quiz was conducted together with personal and environmental hygiene inspections.

**(3) Output 3: Policy makers and programme managers of the member countries acquire knowledge and skills concerning school health based intervention for parasite control through the international training courses and follow-up.**

**Summary:**

The Project satisfactorily conducted international workshops and training courses for policy makers and programme managers of member countries in terms of quantity and quality. Validity of follow-up visits was confirmed.

The Project held two (2) policy maker workshops and five (5) international training courses for 137 participants comprising 40 policy makers and 97 programme managers, thus exceeded the indicator.

Regarding quality, the evaluation of first policy makers' workshop scored from

dk

AKN

3.5 to 4.2 out of 5 degree of satisfaction for the expected objectives. The response to questionnaire by participants of member countries rated the overall performance of the WACIPAC training programme as +1.2 on range from (-2) to (+2). Two(2) of the participants put "excellent" and ten (10) put "satisfactory" out of twelve(12). They also recommended the quality and contents of the training programme. Furthermore, the direct interview with the participants in the international training also indicated that the capacity building was one of the major expectations, and they answered it was fulfilled.

The Project conducted 16 follow-up visits to all member countries in addition to the visits to the start-up projects. According to the responses to questionnaire, participants from all member countries endorsed the validity of follow-up visits to their countries. For instance, they perceive the contribution of WACIPAC experts is critical for them to gain quality support, make corrections, adjust objectives, exchange different views, and involve policy makers and partners. The direct interview with the participants the international training also indicated the importance of follow-up visits. A few countries responded that the frequency of follow-up visits was not sufficient.

**(4) Output 4: WACIPAC functions as a hub for information network within the member countries, and promotes networking among three GPCI International Centres (CIPACs)**

**Summary:**

The Project promoted information exchange among participants in the international training, development partners and CIPACs by various means. Dissemination of public information from WACIPAC was improved through the newsletters, web site, and local and international conferences. However, the database on parasitic disease among member countries was not developed.

According to the response to questionnaire, participants from member countries communicated with their colleagues, other participants, development partners, WACIPAC experts, and CIPACs by means of telephone, e-mail, and meetings. In fact, the Supporting countries seemed to be communicating more frequently with WACIPAC and partners as a result of its supporting activities. WACIPAC presented its achievements through local conferences and international congresses as mentioned in Output 2.

The website of WACIPAC was created in January 2005. WACIPAC released 26

dx

2014

newsletters in both English and French, which can be downloaded from the web. The website seemed successful as the average number of access to the website is 140 per day from January 2007, increased from the previous average 17.5. The French web site was created but full information of the English version is not available. Data base on parasitic diseases control in member countries could not be completed. Virtually all countries need information clearance from their authorities before the release of data. Efforts to use data generated at WACIPAC model site as a starting database was affected by changes in design of input forms due to revisions of project implementation.

**(5) Output 5: Supporting countries start activities on school health based intervention for parasite control.**

**Summary:**

The Output is likely to be achieved as Supporting countries are implementing the relevant activities on school-based intervention for parasite control. Benin developed a school-based de-worming model for nation-wide implementation and is making efforts to apply self-assessment criteria. Niger developed self evaluation criteria with partners. Ghana implemented National De-worming programme with WACIPAC support.

In Benin, the objectives of the start-up project are likely to be achieved within the Project period except the completion of self-assessment criteria. The experiences of school-based de-worming activities in Dangbo were summarized into various forms such as Teachers' manual, handbook on Health Promoting School Initiative and field assessment tool. During the joint evaluation meeting those materials and tools were presented as substantial products from the start-up project. Using the developed IEC materials and tools, the start-up project conducted training for 326 school teachers in Dangbo and Littoral with three (3) workshops. In general, political commitment of Benin on school-based parasite control and the existing experience through other partner contributed to the realization of the objective. The replicability of start-up activities in the country is in progress through stakeholder workshops. The data collected from field assessment await the compilation and analysis so that those can be accomplished within the Project period.

In Niger, the objective of the start-up project is likely to be achieved within the Project period. The development of self-assessment criteria including its user guide and

ch

AKA

example of hygienic and sanitary activities in schools were produced in simple forms. They were also recognized as common tools by the responsible government unit and development partners. A national workshop enabled consensus building in terms of exchanging experience among stakeholders and developing a proposal for self-assessment criteria. A meeting with regional authorities to validate the self-assessment criteria was essential process to discuss the preparation and local appropriateness of the tools for testing.

Through a series of meetings, the start-up project produced “example of activities”, “Instruction manual on the use of assessment sheet”, “Table of programme of activities”, and “Assessment sheet of school health and hygiene”. Using the tools, the start up project conducted training for implementation of trial to 28 District education officers and inspectors in Tillabéri. Field trial was conducted from November, 2007 to February, 2008, and the results were presented to concerned stakeholders in March 2008.

During the joint evaluation meeting (workshop), the participants pointed out the positive factors needed to realize the development of the self-assessment criteria. First of all, stakeholders such as NGOs, WFP and UNICEF involved very cooperative and supported the start-up activities. Secondly, JOCV’s comprehensive group activities was instrumental in the development of “example of activities”, which led to least cost approach. A person in charge for WACIPAC in JICA Niger facilitated communication among the Ministries, JOCV group, and WACIPAC. Thirdly, school management committees consisting of school authorities and community members were supportive. For instance, they contributed to the activities by providing sanitary goods.

In Ghana, WACIPAC contributed to National De-worming Task Force, and supported stakeholders meetings, development of training materials, and teacher training.

### 3-3 Achievement of Project Purpose

**Project Purpose: WACIPAC performs the role of building capacity for integrated parasite control activities of the member countries in the West African sub-region.**

**Summary:**

The Project Purpose is likely to be achieved by the end of the Project while a few expectations remain uncompleted.

As mentioned in Output 3, the proportion of actual to planned participants who have received training for school health programme and parasite control in the member countries totaled 137, which clearly exceeded the indicator of the Project Purpose. All member countries of participants assessed the international training satisfactory and highly recommended the training programme.

According to the questionnaire responses by the participants of member countries, they rated for WACIPAC's role for capacity building very positive. They also recognized WACIPAC's role as a hub for global communication and operational research. The participants of member countries rated WACIPAC as the hub of global information network for parasite control + 1.0 with the range from (-2) to (+2). Four (4) of the participants answered "very much", six (6) answered "some extent", and two (2) answered "not much" out of twelve (12). They rated WACIPAC as operational research institute for integrated school-based parasite control + 0.8 with the range from (-2) to (+2) to the question of how much they recognized. Five (5) of the participants put "very much", four (4) put "some extent", two (2) put "not much", and 1 put "not at all" out of twelve (12). Therefore the recognition level of WACIPAC in member countries was judged high.

As described in the Output 4, WACIPAC stimulated communication among personnel working on parasite control. About 40 % of contact person communicate at least once a month with telephone, e-mail, and meetings. As a hub of communication, WACIPAC continuously contact 30 persons at least every two month, and 34 persons quarterly by means of e-mail, telephone, and personal contact. However, database for parasite control was not developed and had difficulties in the remaining period.

As described in the Output 5, the start-up project and the follow-up visits created a supportive environment for programme managers and partners through stakeholder workshops. The joint evaluation meetings in Niger and Benin demonstrated the



experiences and acquired skills for the school health and parasite control although they need more support to achieve the goals in the remaining period.

### **3-4 Implementation Process of the Project**

#### **(1) Project Management**

##### **1) Project Period from the beginning to the mid-term evaluation**

Project management of WACIPAC faced difficulties in the early phases, although monitoring of the Project implementation had been regularly carried out through Joint Coordination Committee (JCC), Advisory Committee and Steering Committee. The difficulties mainly came from a lack of focus of the original PDM on the strategies and approaches of the GPCI, which resulted in imbalanced allotment of project budget for each Output.

In order to enhance project management and make a breakthrough, two advisory missions were dispatched to Ghana in 2005 to reach consensus on the model site activities. Based on the discussion in the missions, communication and common understanding among stakeholders improved gradually with the effort of Japanese experts and the C/Ps. The Project was also gaining substantial results through international training and start-up project in Ghana, Benin and Niger on school-based parasite control. Changes in the strategy of action plan for start-up projects resulted from revision of PDM in line with GPCI strategies and approaches. This negatively affected the relations between WACIPAC and the member countries because all countries expected support for start-up activities.

During the mid-term evaluation, it was decided that the role of the model site being developed was to demonstrate the approaches for both in-country and international training, and the Project would focus more on the validity of the model through operational research. The supporting activities including start-up projects were located in Ghana, Benin, and Niger. The mid-term evaluation recommended the Project monitoring with the revised PDM, sufficient number of C/Ps, authorization from the University of Ghana, and valid information through field research. This recommendation reversed previous decision to stop operational research at the model site after review of the activities in 2005.

During the Mid-term evaluation, the PDM version 2 was revised to make it simple so that the Project would achieve the objectives by the end of 2008. The revised parts of the PDM version 3 are as follows (Refer to ANNEX II).

- The original project sites were renamed as member countries from Supporting sites. Supporting countries currently means Ghana, Niger, and Benin where the Project directly supports their school health based intervention.
- Frontline officer was taken out from the original target groups for international training course as WACIPAC limited the direct provision of training to policy makers, academia, and programme managers from health and education sector.
- The expression of Output one was revised from “WACIPAC performs the role of building capacity for integrated parasite control activities in the West African sub-region” to “Institutional capacity of WACIPAC is strengthened”.
- The expression of Output two was revised from “A model project site for school-based parasitic diseases control is fully established” to “A model\* for school health based intervention for parasite control is developed through field research activities in Ghana.” \*demonstration site
- The expression of Output three was revised from “Human Resources for school-based parasitic diseases control in the West African sub-region are trained by WACIPAC” to “Policy makers and programme managers of the member countries acquire knowledge and skills concerning school health based intervention for parasite control through the international training courses and follow-up”.
- The expression of Output four was revised from “WACIPAC functions as a hub for information network within the West African sub-region and among three GPCI International Centres (CIPACs)” to “WACIPAC functions as a hub for information network within the member countries, and promotes networking among three GPCI International Centres (CIPACs)”.
- The original Output five was integrated into other Outputs.
- The original Output six was revised from “Start-up activities on school-based parasitic diseases control are implemented in the Supporting sites” to “Supporting countries start activities on school health based intervention for parasite control” and set as Output five. A maximum of three supporting countries with agreed number of follow-up visits was defined for the output.
- The total number of indicators for the outputs was reduced from 36 to 18.
- The following Important Assumptions were added.
- Fund for activities in Supporting countries is secured from some funding resources other than JICA concerning Output 5

## **2) Project Period from the mid-term evaluation to the final evaluation**

The Project has regular weekly management meetings for 2-3 hours chaired by the Project Manager to realize the mutual understanding and collaboration. Ghana Education Service (GES) and Ghana Health Service (GHS) were initially involved in the direct management of the Project, but later they only monitored the progress of the Project and input their view during the Steering Committee. However, at the model site, both GES and GHS were directly involved in project management and implementation. Currently the Project keeps good relations among all stakeholders.

The Project manager and coordinator regularly briefed the Project Director on the progress of the activities. The weekly meeting shows C/Ps' high commitment to decision-making and ownership. Indeed, WACIPAC staffs demonstrated the organizational capacity for the international training programme: "the Joint Evaluation Workshop and Policy Makers Meeting on WACIPAC".

## **(2) Technology Transfer**

According to the evaluation reports of international training courses, technology transfer concerning knowledge and skills on school health based intervention for parasite control to the participants from the member countries was done successfully. Trainers from ACIPAC also contributed to introducing the concept and technical issues of health promoting school. The Project provided training opportunities in Japan and other CIPACs.

## 4. Results of Evaluation

### 4-1 Relevance

#### **Summary:**

The Project is valid and meaningful to attain the objectives at the time of evaluation. The Project is coherent to the assistance policy of Japan as well as the expectations of the member countries. The objectives also meet the needs of the member countries in terms of integrated approach for school health and parasite control.

#### **(1) Relevance to Japan's ODA policy**

The Project was launched in response to the agreement at the Birmingham G8 Summit in 1998 where Japan proposed promotion of Global Parasite Control Initiative (Hashimoto Initiative) which focused on control of parasitic diseases through human resource development. In 2005, in order to strengthen its assistance to tackling health issues in developing countries, Japan launched the "Health and Development Initiative" aiming to materialize this policy in developing countries. Japan disclosed the Action Plan in Combating Infectious Diseases in Africa through partnership with WHO and other organizations. In line with this, it is stressed that the outcomes from CIPACs including WACIPAC are promoting the importance of Neglected Tropical Diseases (NTDs) and integrated school health approach to health policy development in West Africa.

#### **(2) Relevance to needs of Ghana and nine neighboring countries**

The Project is relevant to the needs of Ghana and the nine neighboring countries (Benin, Burkina Faso, Cameroon, Cote d'Ivoire, Mali, Niger, Nigeria, Senegal, and Togo), because the infection rates of STH and schistosomes are still high. Also there are similar programmes such as National De-worming Programme in Ghana supported by UNICEF and Neglected Tropical Diseases (NTDs) Programme in Ghana, Niger, Mali and Burkina Faso, which target the same diseases and can collaborate with WACIPAC. The integrated approach, which is the WACIPAC's concept, was endorsed by the member countries as a potentially applicable approach to the control of other diseases.

#### **(3) Comparative Advantages**

Since the Okinawa Infectious Disease Initiative (IDI) in 2000, Japan addressed the effectiveness of Japanese experiences of parasite control and stressed the necessity

of utilizing its experiences in the Global Parasite Control Initiative. It is no doubt that Japanese experiences encourage developing countries in this regard, but it is also understood that each country has its unique context in terms of policy, administration, social/ cultural behaviors, distribution pattern of diseases and so on. In fact, the establishment of the CIPACs brings about the comparative advantages through the accumulated experiences in different settings and the intensive communication among relevant experts, not only in Japan but also in the developing countries.

#### 4-2 Effectiveness

##### **Summary:**

The Project has produced positive effects through useful information from model sites, capacity building through international training courses, communications among stakeholders, and experiences accumulated from start-up projects in Supporting countries. However, there are still uncompleted parts of the outputs. Insufficient number of follow-up visits to the member countries brought some difficulties to the realization of the Project Purpose.

##### **(1) Achievement Forecast for the Project Purpose**

As described in 3-3, the Project Purpose is likely to be achieved by the end of the Project although some of expectations remain uncompleted. Institutional capacity of WACIPAC was strengthened but the sustainability of WACIPAC is still an issue. Model site for demonstration was completed but the field research needs to be summarized for presentation. The series of planned international training were completed and level was satisfactory. WACIPAC stimulated information network, but a database was not completed. The question as to how WACIPAC should promote network was raised. WACIPAC provides technical support to the start-up projects in Supporting countries and follow-up visits to the member countries, but a few countries pointed out that the number of follow-up visits were insufficient.

##### **(2) Promoting and Hindering Factors**

The managerial adjustment efforts such as refocusing the supporting activities on three countries contributed to the realization of the Project Purpose, while some important assumptions such as insufficient funding were raised in some other member countries.

ck

ck

After the mid-term evaluation, the C/Ps and JICA experts continued efforts to catch up with the Project schedule. Regarding the Outputs, the high motivation of people in model schools and communities promoted the achievement of Output 2. Experts from ACIPAC contributed to the creation of technical capacity in model building and start-up projects.

#### **4-3 Efficiency**

**Summary:**

In the early phase of the Project implementation, efficiency was not assessed high due to the implementation according to the original PDM. However, in the later phase the Project management significantly improved as JICA experts and C/Ps closely communicated and coordinated to attain the common objectives. The former PDM consequently brought the delay of mutual understanding of the Project. The building, equipment and materials are input timely with satisfactory level of quantity and quality. The absence of JICA chief advisor caused overload against some JICA experts and C/Ps.

**(1) Achievement level of outputs**

The Project caught up with the planned schedule after the revision of PDM in the mid-term evaluation. Achievement levels of outputs were as described in each output in 3-2.

**(2) Timing, quantity and quality of inputs**

Building, equipment, and materials were timely input with satisfactory level, they are utilized without serious problem. Although absence of JICA chief advisor caused overload against some JICA experts and C/Ps, their efforts minimized the delay of the Project. As WACPAC did not have sufficient number of personnel for operation, the Project employed minimum number of staff for the Project.

**(3) Contributing and Hindering factors**

The cooperative manner and ownership of C/Ps drives forward the Project schedule, in particularly in the later phase.

In earlier phase, support mechanism for the start-up projects including institutional and budget management framework in place was not suitable in the Project

dh

aki

specific context. This required fair amount of time for arrangement and coordination. Political instability of the neighboring countries and inefficient transportation system in the region were constraints to follow-up visits, start-up activities and international training courses.

#### **4-4 Impact**

##### **Summary:**

Expected impact: "Parasitic diseases control programmes of the member countries in the West African sub-region are implemented by the capacity built by/at WACIPAC" will be seen in 3-5 years if WACIPAC continuously plays current role. In fact, the number of participants in the international training courses reached 137, which exceeds the indicator of the Overall Goal. Supporting countries actively implemented school-based parasite control programmes although their scales are generally small. Some member countries initiated their own approach and activities.

##### **(1) Impact in Supporting Countries**

In Ghana, WACIPAC supported the National Task Force Meetings, tools and materials, and National Training of Trainers. In this regard, the National De-worming Programme was conducted at 14,000 primary schools covering 5.5 million pupils. Furthermore, participants of international training courses developed draft school health policy.

In Benin, Health and Education Ministers who attended the policy maker workshops on their initiative prepared the policy paper on school health in 2006. In line with the policy development, the start-up project made possible for partners to consider the collaboration with WACIPAC. They planned nationwide de-worming programme based on the experience gained through the start-up project.

In Niger, the objective of start-up project was to develop applicable model for national scaling-up. The start-up project organized the stakeholder workshops to share development process. In this regard, the outcome is being incorporated into programmes by international agencies and MOE. For instance, WFP Niger expressed the possibility of integration of the self-assessment tools into the WFP programme. UNICEF Niger also intended to include them into their "school health kit" for education. MOE expressed the intention to use the self-assessment tools in their existing education system.

However, monitoring the current progress of nationwide scaling-up in these countries will suggest they may be suffered from budgetary constraints.

### **(2) Impact in member countries**

Broader partnership for parasite control and development is formed in member countries through the establishment of inter-ministerial committee that involves more ministries, such as agriculture, environment and local government, in addition to MOH and MOE.

In Burkina Faso, capacity built is used to support implementation of country programme in collaboration with NGOs. In Cote d'Ivoire, capacity built is used to implement start-up in collaboration with other stakeholders. In Mali, capacity built is used to support national schistosomiasis control intervention. In Nigeria, National school health policy and implementation Guidelines on National School Health Programmes etc. were developed. In Senegal, capacity built supported the development of guidelines for improvement of school health and parasite control. In Togo, Ministry of Health and Ministry of Education established the inter-ministerial committee for school health and de-worming to represent WACIPAC in the country.

### **(3) Negative impact**

No negative impact has been reported or observed.

## **4-5 Sustainability**

### **Summary:**

WACIPAC developed its own sustainable plan to be incorporated into West African Health Organization (WAHO). When WACIPAC successfully passes through the plan, it will gain the authorized recognition from the member countries and the University of Ghana.

### **(1) Policy and System**

WACIPAC developed its own sustainable plan to be a regional centre for parasite control in West Africa through incorporation of WACIPAC into WAHO, within the Economic Community of West African States (ECOWAS). The proposed plan was consulted with policy makers/programme managers of the member countries and partners at the international training workshop. All member countries supported the idea.

ck

ck



WAHO operates its own programme with the contribution from the member countries of ECOWAS and fund support from development partners.

### **(2) Organization and financial aspect**

The University of Ghana provides their employed staff to WACIPAC concurrently. At this moment, WACIPAC is not an authorized institute by the University of Ghana. Both organizational and financial capacities of WACIPAC are limited. Therefore, the proposed plan to WAHO is expected to be a breakthrough for sustainability.

### **(3) Skills and capacity**

WACIPAC has provided qualified training using its own Ghanaian experts at the international training courses. The capacity of C/Ps as trainer became sufficient. Its capacity of course administration and logistical arrangement improved since the mid-term evaluation.

## **4-6 Conclusion**

The Project is likely to achieve its objectives by the end of the period although it had faced difficulties of project management in early phase. Efforts of both side made the Project more feasible which should be kept in mind in the remaining period for uncompleted Outputs. The Project is getting more relevant as the importance of the integrated approach is highlighted globally.

The Project is effective in terms of capacity building of policy makers and programme managers, model development for demonstration, stimulation of communication among stakeholders, and promoting school-based parasite control in their own settings in the Supporting countries. However, there are still uncompleted parts of the outputs. Some of them will be achieved within the remaining period but a few may be left uncompleted. Efficiency of the Project was hardly assessed as high due to the difficulties of implementation in the early phase. Expected impact: "Parasitic diseases control programmes of the member countries in the West African sub-region are implemented by the capacity built by/at WACIPAC" will be seen in 3-5 years if WACIPAC continuously plays current role. Most of the member countries presented WACIPAC's impact in terms of collaboration between MOH and MOE, use of its skills such as planning and evaluation of school health and parasite control programme. When WACIPAC successfully passes through the plan that WACIPAC is to be incorporated

into WAHO and gains the authorized recognition from the member countries and the University of Ghana, the outcomes from the Project will be continuously utilized and expanded in the region.

## **5. Recommendations**

- WACIPAC requests concerted efforts by member countries to ensure its sustainability as a regional centre.
- WACIPAC makes up and submits the solid proposal to WAHO for earlier authorization.
- WACIPAC continues playing a leading role in operational research, and publish scientific articles in peer-reviewed journals.
- WACIPAC monitors and supports the planned activities of start-up projects leading to success.

## ANNEX I The Members of the Joint Evaluation

| No | Name                      | Designation   | Affiliation   |
|----|---------------------------|---|---|
| 1  | Prof. Alexander K. NYARKO | Project Director                                    | Director of NMIMR,<br>University of Ghana   |
| 2  | Prof. Kwabena M. BOSOMPEM | Project Manager                                     | Head of Parasitology Department,<br>NMIMR, University of Ghana  |
| 3  | Prof. Daniel A. BOAKYE    | Senior Member                                       | NMIMR, University of Ghana  |
| 4  | Dr. Maxwell A. APPAWU     | Senior Member                                       | NMIMR, University of Ghana  |
| 5  | Dr. Irene AYI             | Senior Member                                       | NMIMR, University of Ghana  |
| 6  | Dr. Toshiki AWAZAWA       | Public Health/<br>International Parasite<br>Control | JICA Long-term Expert   |
| 7  | Dr. Shigeki HANAFUSA      | Research Management                                 | JICA Long-term Expert   |
| 8  | Ms. Maki OZAWA            | Project Coordinator/<br>Regional Cooperation        | JICA Long-term Expert   |
| 9  | Ms. Yoshie YAMASHITA      | Team Leader   | Group Director,<br>Health Human Resources<br>and Infectious Disease Control Group,<br>Human Development Department, JICA                                |
| 10 | Dr. Tsutomu TAKEUCHI      | International Parasite<br>Control                   | Professor,<br>Department of Tropical Medicine<br>and Parasitology, School of Medicine,<br>Keio University   |
| 11 | Dr. Jun KOBAYASHI         | School Health                                       | Head of Infectious Disease Control Group,<br>Experts Service Division,<br>Bureau of International Cooperation,<br>International Medical Center of Japan |
| 12 | Mr. Ryotaro ODA           | Evaluation Planning                                 | Staff,<br>Infectious Disease Control Division,<br>Health Human Resources<br>and Infectious Disease Control Group,<br>Human Development Department, JICA |
| 13 | Mr. Eimitsu USUDA         | Evaluation Analysis                                 | Senior Consultant,<br>Cranberry. Ltd  |

## ANNEX II Project Design Matrix (version 3)

**Project Title:** The project for the West African Centre for International Parasite Control (WACIPAC)  
**Project Implementation Period:** January 2004 - December 2008  
**Implementing Agency:** Noguchi Memorial Institute for Medical Research (NMIMR), University of Ghana  
**Project Site:** Project Office: Noguchi Memorial Institute for Medical Research, Model Project site: Dangme-East District, Greater Accra Region, Member countries: Benin, Burkina Faso, Cameroon, Côte d'Ivoire, Ghana, Mali, Niger, Nigeria, Senegal and Togo  
**Target Groups:** Policy makers, programme managers, academia from health and education sector  
**(Super Goal:** The burden of parasitic diseases is substantially reduced in the West African sub-region.)

Version No:3  
 Date:1 March 2007

| Narrative Summary   | Objectively Verifiable Indicators   | Means of Verification   | Important Assumptions  |
|---|---|---|--|
| <p><b>Overall Goal:</b><br/>                     Parasitic diseases control programmes of the member countries in the West African sub-region are implemented by the capacity built by/at WACIPAC.</p>    | <p><i>In 3-5 years after the end of the 5 years project.</i></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>School-based Parasitic Control programmes are actively implemented in the member countries.</li> <li>80% of target personnel involved in parasite control and school health programmes in the member countries successfully receive training at WACIPAC.</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>Inquiry survey and/or Interview</li> <li>Statistics of the Ministry of Health and Education in the member countries</li> </ol>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>Political stability is maintained in the member countries.</li> <li>Partnership cooperation is firmly established in the member countries.</li> <li>Political commitment to parasitic diseases control is enhanced in the member countries.</li> <li>Economic growth is secured in the member countries.</li> </ul> |
| <p><b>Project Purpose:</b><br/>                     WACIPAC performs the role of building capacity for integrated parasite control activities of the member countries in the West African sub-region.</p> | <p><i>By the end of project.</i></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>60% of target personnel involved in parasite control and school health programmes (policy makers, managers) of the member countries successfully receive training.</li> <li>Recognition level of WACIPAC in the member countries as a training centre of parasitic disease control is heightened.</li> <li>Communication among personnel working on parasite control is stimulated by WACIPAC.</li> <li>Policy framework and programmes on parasite control and school health in the Supporting countries are strengthened by WACIPAC.</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>Project records</li> <li>Interview and/or inquiry survey</li> <li>Project records, Inquiry survey</li> <li>Proposals from the member countries, Policy papers of the Supporting countries</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>Adequate budgetary support to parasitic disease control from all stakeholder Governments does not decrease in respective countries.</li> <li>At least half of trained personnel actively participate in parasitic control activities.</li> </ul>  |
| <p><b>Outputs:</b><br/>                     1. Institutional capacity of WACIPAC is strengthened.</p>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 WACIPAC is officially established according to the terms of the University of Ghana with staff and budget as a centre of University of Ghana</li> <li>1-2 Management meeting / Job seminars are regularly held</li> <li>1-3 WACIPAC staff acquire skills and knowledge for operational research and training management</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 Organogram and budget of University of Ghana</li> <li>1-2 Project records</li> <li>1-3 Project record, Papers/articles prepared or supervised by</li> </ol>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>Fund for intervention is secured from some funding resources other than JICA concerning Output 2</li> <li>Fund for activities in Supporting countries is secured from some funding resources other than JICA concerning Output 5</li> </ul>   |

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| <p>2. A model* for school health based intervention for parasite control is developed through field research activities in Ghana.</p> <p>* <i>Demonstration site at the moment</i></p> <p>3. Policy makers and programme managers of the member countries acquire knowledge and skills concerning school health based intervention for parasite control through the international training courses and follow-up.</p> <p>4. WACIPAC functions as a hub for information network within the member countries, and promotes networking among three GPCI International Centres (CIPACs)</p> <p>5. Supporting countries start activities on school health based intervention for parasite control.</p> | <p>2-1 IEC materials for BCC developed and tested.</p> <p>2-2 School children and communities in the model project site acquire their knowledge of parasite control and take preventive actions.</p> <p>2-3 Efficacy of "school to community approach" is verified with scientific evidences.</p> <p>2-4 A demonstration site for international training is established as a suitable model</p> <p>3-1 At least 100 personnel from 10 member countries are trained through the international training courses</p> <p>3-2 The participants of international training courses acquire experiences and confidence in practicing parasite control in the fields</p> <p>3-3 The personnel/agencies acquire management skills for planning and implementation of the school-based parasitic diseases control activities in Supporting countries</p> <p>4-1 The network system established in WACIPAC results in the increase of exchange of information and other interactions among the participants of international training courses, Ghanaian and Japanese experts, and among CIPACs and related international organisations.</p> <p>4-2 Website based information sharing system is developed.</p> <p>4-3 Newsletters are periodically issued by WACIPAC.</p> <p>4-4 Two presentation at scientific conferences and at least five articles</p> <p>5-1 At least two member countries start school health based intervention for parasite control supported by WACIPAC.</p> <p>5-2 At least 30 frontline officers are trained in the supporting countries</p> <p>5-3 Level of technique and skill of management, health policy, operational research, etc, are heightened in the member countries</p> <p>5-4 The recommendations for implementing school health based intervention for parasite control activities in the Supporting countries are developed.</p> | <p>WACIPAC staff</p> <p>2-1 Project record</p> <p>2-2 Monitoring record</p> <p>2-3 Project record, Papers/articles prepared or supervised by WACIPAC staff</p> <p>2-4 Established model site</p> <p>3-1 Evaluation reports of the international training courses</p> <p>3-2 Evaluation reports of the international training courses</p> <p>3-3 Interview and inquiry survey with participants with regards to management skill</p> <p>4-1 Interview and Inquiry survey with the participants, Ghanaian and Japanese experts, GPCI Centers, and others</p> <p>4-2 Developed Website</p> <p>4-3 Issued Newsletters</p> <p>4-4 Project record, Papers/articles prepared or supervised by WACIPAC staff</p> <p>5-1 Proposals from the member countries, Monitoring report</p> <p>5-2 Training reports prepared by stakeholders in the supporting countries</p> <p>5-3 The report of activities</p> <p>5-4 Developed recommendations</p> |  |
|---|--|--|--|

27

9/14

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p><b>Activities:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>Capacity Building of WACIPAC</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 Obtain approval from University of Ghana for official establishment of WACIPAC</li> <li>1-2 Hold JCC and other meetings with counterpart authorities and other stakeholders.</li> <li>1-3 Strengthen the management structure of WACIPAC.</li> <li>1-4 Develop human resources for WACIPAC including trainings in Japan</li> </ol> </li> <li>2. <b>Model Development through Field Research</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>2-1 Establish the management mechanism for the model project site for WACIPAC.</li> <li>2-2 Develop health education materials for parasitic diseases control.</li> <li>2-3 Build human capacity in the model project site.</li> <li>2-4 Implement 'control activities' in the model project site.</li> <li>2-5 Conduct field research and monitoring/evaluation to verify efficacy of model activities such as "school to community approach" in collaboration with community based organisations in the model project site</li> </ol> </li> <li>3. <b>International training Course</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1 Conduct international workshops/seminars for health and education policy makers from the member countries and development partners (two days, every two years).</li> <li>3-2 Conduct international training courses/workshops for health and education programme managers (1-2 weeks once a year).</li> <li>3-3 Strengthen collaboration with international organizations in conducting training courses/workshops in the field of school health based intervention for parasite control</li> <li>3-4 Visit the member countries as a part of follow-up activities of international training courses/workshops.</li> </ol> </li> </ol> | <p><b>Inputs:</b></p> <p><b>(A) Inputs from the Ghanaian Side</b><br/>(Project personnel including counterpart personnel)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Project Director: Director of Noguch Memorial Institute for Medical Research (NMIMR)</li> <li>2. Project manager: Head of Parasitology Unit, NMIMR</li> <li>3. Officers, Personnel at Ministry of Health and Ministry of Education, Youth and Science</li> <li>4. Experts: Parasitology, Information, Education and Communication (IEC), Laboratory Technicians</li> <li>5. Other Counterparts and Administrative personnel. Technical Experts of Global Parasite Control in the model project site - Information net work -IEC, Administration</li> </ol> <p>(Land and Facility)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Project Coordination Office in the compound of NMIMR</li> <li>2. Project field laboratory facility in the model project site</li> <li>3. Training facilities in the compound of NMIMR</li> </ol> <p>(Project operation budget)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Salaries and related allowances for Ghanaian staff &amp; Personnel</li> <li>2. Expenses of electricity, water, gas, and other fuel</li> <li>3. Regular expenses incurred by the machineries, equipment, and other supplies provided by JICA including custom clearance costs, storage costs, inland transportation costs, installation costs and other supplies.</li> <li>4. Any costs for maintaining facilities and machineries, equipment and other supplies</li> </ol> <p><b>(B) Inputs from the Japanese Side</b><br/>(Long term experts)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Chief Advisor</li> <li>2. Project Coordinator</li> <li>3. Expert in the technical field of:       <ol style="list-style-type: none"> <li>a. Public Health (or Primary Health Care)</li> <li>b. Global Parasite Control</li> <li>c. School Health Education</li> <li>d. Others, when necessary</li> </ol> </li> </ol> <p>Note: Chief Advisor and Project Coordinator may serve concurrently as experts in one or two of above-mentioned technical fields.</p> <p>(Short term experts)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Public Health (Parasitology)</li> <li>2. IEC (Flip charts, games, posters)</li> <li>3. IEC (Audio Visual)</li> <li>4. System Engineer (web site and data base)</li> <li>5. PCM facilitator for training WACIPAC staff to be PCM facilitators</li> <li>6. Others will be dispatched upon demand</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cooperation and understanding on the model project from local people is obtained</li> <li>• Trained participants of the international training courses by WACIPAC are working continuously on the activities</li> <li>• Customs clearance is done on time</li> <li>• Migration clearance is done on time</li> </ul> |
|---|--|--|

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p><b>4. Information Network</b></p> <p>4-1 Prepare infrastructure for networking at WACIPAC</p> <p>4-2 Initiate and maintain promotion activities including an internet-based network and publishing Newsletters.</p> <p>4-3 Establish database on parasitic diseases with available data in the supporting countries</p> <p>4-4 Exchange information and data among the member countries, three CIPACs and international organizations to promote partnership collaboration.</p> <p>4-5 Present the outcomes of project to local/international conferences</p> <p><b>5. Support to the Supporting Countries</b></p> <p>5-1 Develop recommendations for implementing school health based intervention for parasite control activities in the Supporting countries.</p> <p>5-2 Provide technical assistance to the Supporting countries to implement activities such as training courses/workshops for frontline officers from both Health and Education sectors and development partners.</p> <p>5-3 Provide technical assistance to the Supporting countries to enhance policy framework and programs on school health and parasite control.</p> <p>5-4 Encourage collaboration among stakeholders in the Supporting countries.</p> <p>5-5 Monitor and evaluate activities in the Supporting countries.</p> | <p>(Counterpart training)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. IEC (Audio Visual) materials production</li> <li>2. Information Technology</li> <li>3. Public Health and Community Health</li> <li>4. PCM facilitation</li> <li>5. Training opportunities in Japan and/or in a Third Country for counterparts will be provided (Machinery, Equipment and Materials)</li> <li>2. Equipment for parasitological survey and examination</li> <li>3. Equipment for public health activities</li> <li>4. Equipment for training on Global Parasite Control activities</li> <li>5. Vehicles</li> <li>6. Administration building</li> <li>7. Other necessary equipment for the implementation of the project</li> </ol> | <p><b>Pre-conditions:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• The role of WACIPAC is clearly defined under the GPCI</li> <li>• Clear understanding on roles and responsibilities from both parties</li> <li>• Active participation from NMIMR is obtained.</li> <li>• Active participation of policy makers, programme managers, academia from health and education sector in Ghana and the member countries is obtained.</li> <li>• Necessary support is given to the project from all the governments that are stakeholders to the project</li> <li>• Political stability is secured in the member countries</li> </ul> |
|---|--|--|

ck

ck

## ANNEX III Evaluation Grid

### (I) Evaluation Grid for Achievements and Process

| Study item                       | Evaluation questions  | Indicators or Standards for the evaluation   | Required information and data   | Source of information  | Method for collecting information and data  |
|----------------------------------|---|--|---|--|---|
| Achievement<br>(Project Purpose) | Degree of achievement of the Project Purpose:<br>WACIPAC performs the role of building capacity for integrated parasite control activities of the member countries in the West African sub-region.  | At the end of the project;<br>1. 60% of target personnel involved in parasite control and school health programmes (policy makers, managers) of the member countries successfully receive training.  | 1. Planned (or Expected) number of target personnel and actual number of target personnel during the project period   | Project team<br>(JICA experts and C/P)   | - Review of reports and provided documents  |
|                                  |   | 2. Recognition level of WACIPAC in the member countries as a training centre of parasitic disease control is heightened. (60% of the participants of international training programme show the satisfactory with the programme and 60% of the development partners indicate that they recognize the WACIPAC activities?) | 2-1 Participants' satisfaction level for the training with theme, scale, duration, curriculum, materials, and programme management.<br>2-2 Relevant partner's recognition level for the WACIPAC activities such as training, information/communication network and field research   | 2-1 The participants from the membership countries<br>2-2 Relevant development partnership | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire                                     |
|                                  |   | 3. Communication among personnel working on parasite control is stimulated by WACIPAC.   | 3. Established communication network in terms of whom you communicate, how often you communicate, how you communicate with your partners? (before and after the project)  | - JICA experts<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P       | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire                                     |
|                                  |   | 4. Policy framework and programmes on parasite control and school health in the Supporting countries are strengthened by WACIPAC.  | 4. Proposals from the member countries, Policy papers of the Supporting countries   | Project team   | - Review of reports and provided documents  |
| Achievement<br>(Output 1)        | Degree of achievement of the Output 1:<br>Institutional capacity of WACIPAC is strengthened.  | By the end of the project;<br>1-1 WACIPAC is officially established according to the terms of the University of Ghana with staff and budget as a centre of University of Ghana   | 1-1 Organogram and budget of University of Ghana  | - Project team   | - Review of reports and provided documents  |
|                                  |   | 1-2 Management meeting / Job seminars are regularly held   | 1-2 Project records   | - Project team   | - Review of reports and provided documents  |
|                                  |   | 1-3 WACIPAC staff acquire skills and knowledge for operational research and training management  | 1-3 Project record, Papers/articles prepared or supervised by WACIPAC staff   | - Project team   | - Review of reports and provided documents  |
| Achievement<br>(Output 2)        | Degree of achievement of the Output 2:<br>A model* for school health based intervention for parasite control is developed through field research activities in Ghana.<br><br>* Demonstration site at the moment   | By the end of the project;<br>2-1 IEC materials for BCC developed and tested.  | 2-1 Project record  | - Project team   | - Review of reports and provided documents  |
|                                  |   | 2-2 School children and communities in the model project site acquire their knowledge of parasite control and take preventive actions.   | 2-2 Monitoring record   | - Project team   | - Review of reports and provided documents  |
|                                  |   | 2-3 Efficacy of "school to community approach" is verified with scientific evidences.  | 2-3 Project record, Papers/articles prepared or supervised by WACIPAC staff   | - Project team   | - Review of reports and provided documents  |
|                                  |   | 2-4 A demonstration site for international training is established as a suitable model   | 2-4a. Requirement check as an established model site<br>- good relationship with the existing GHS and GES<br>- school based approach<br>- involvement of community<br>- deworming activities in place<br>- comprehensive training<br>2-4b. Requirement check as a research model<br>- generalization<br>- applicable methods<br>- validity of training materials to other place | - Project team<br>- Key informant at the demonstration site                                | - Review of reports and provided documents<br>- Observation / key informant interview at the demonstration site |
| Achievement<br>(Output 3)        | Degree of achievement of the Output 3: Policy makers and programme managers of the member countries acquire knowledge and skills concerning school health based intervention for parasite control through the international training courses and follow-up. | By the end of the project;<br>3-1 At least 100 personnel from 10 member countries are trained through the international training courses   | 3-1 Evaluation reports of the international training courses  | - Project team   | - Review of reports and provided documents  |
|                                  |   | 3-2 The participants of international training courses acquire experiences and confidence in practicing parasite control in the fields   | 3-2 Evaluation reports of the international training courses  | - Project team   | - Review of reports and provided documents  |
|                                  |   | 3-3 The personnel/agencies acquire management skills for planning and implementation of the school-based parasitic diseases control activities in Supporting countries   | 3-3 Interview and inquiry survey with participants with regards to management skill such as:<br>- feedback activity to school health activities<br>- project management on school health<br>- validity of WACIPAC follow up activities to the capacity development  | - The participants of Support countries  | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop      |

ch

akr



| Study Item             | Evaluation questions  | Indicators or Standards for the evaluation   | Required information and data  | Source of information  | Method for collecting information and data   |
|------------------------|---|--|--|--|--|
| Achievement (Output 4) | Degree of achievement of the Output4: WACIPAC functions as a hub for information network within the member countries, and promotes networking among three GPCI International Centres (CIPACs)   | By the end of the project:<br>4-1 The network system established in WACIPAC results in the increase of exchange of information and other interactions among the participants of international training courses, Ghanaian and Japanese experts, and among CIPACs and related international organisations. | 4-1 Interview and Inquiry survey with the participants, Ghanaian and Japanese experts, GPCI Centres, and others                                      | - JICA experts<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |
|                        |   | 4-2 Website based information sharing system is developed.   | 4-2 Developed Website  | - Project team   | - Review of reports and provided documents   |
|                        |   | 4-3 Newsletters are periodically issued by WACIPAC.  | 4-3 Issued Newsletters   | - Project team   | - Review of reports and provided documents   |
|                        |   | 4-4 Two presentation at scientific conferences and at least five articles  | 4-4 Project record, Papers/articles prepared or supervised by WACIPAC staff  | - Project team   | - Review of reports and provided documents   |
| Achievement (Output 5) | Degree of achievement of the Output 5: Supporting countries start activities on school health based intervention for parasite control.  | By the end of the project:<br>5-1 At least two member countries start school health based intervention for parasite control supported by WACIPAC.  | 5-1 At least two member countries start school health based intervention for parasite control supported by WACIPAC.                                  | - Project team<br>- The participants from the membership countries                   | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire                                |
|                        |   | 5-2 At least 30 frontline officers are trained in the supporting countries   | 5-2 At least 30 frontline officers are trained in the supporting countries   | - Project team<br>- The participants from the supporting countries                   | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |
|                        |   | 5-3 Level of technique and skill of management, health policy, operational research, etc, are heightened in the member countries   | 5-3 Level of technique and skill of management, health policy, operational research, etc, are heightened in the member countries                     | - Project team<br>- The participants from the membership countries                   | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire                                |
|                        |   | 5-4 The recommendations for implementing school health based intervention for parasite control activities in the Supporting countries are developed.   | 5-4 The recommendations for implementing school health based intervention for parasite control activities in the Supporting countries are developed. | - Project team<br>- The participants from the supporting countries                   | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |
| Actual Input (Japan)   | Were the following planned personals properly deployed?<br>(Long term experts)<br>1. Chief Advisor<br>2. Project Coordinator<br>3. Expert in the technical field of:<br>a. Public Health (or Primary Health Care)<br>b. Global Parasite Control<br>c. School Health Education<br>d. Others, when necessary<br>Note: Chief Advisor and Project Coordinator may serve concurrently as experts in one or two of above-mentioned technical fields.<br>(Short term experts)<br>1. Public Health (Parasitology)<br>2. IEC (Flip charts, games, posters)<br>3. IEC (Audio Visual)<br>4. System Engineer (web site and data base)<br>5. PCM facilitator for training WACIPAC staff to be PCM facilitators<br>6. Others will be dispatched upon demand | - Were personals, equipment, and facilities provided as planned  | planned and actual   | - Project team   | - Review of reports and provided documents<br>- Interview if necessary                                     |
|                        | (Counterpart training)<br>1. IEC (Audio Visual) materials production<br>2. Information Technology<br>3. Public Health and Community Health<br>4. PCM facilitation<br>5. Training opportunities in Japan and/or in a Third Country for counterparts will be provided (Machinery, Equipment and Materials)<br>1. Equipment for parasitological survey and examination<br>2. Equipment for public health activities<br>3. Equipment for training on Global Parasite Control activities<br>4. Vehicles<br>5. Administration building<br>6. Other necessary equipment for the implementation of the project  | - Were personals, equipment, and facilities provided as planned  | planned and actual   | - Project team   | - Review of reports and provided documents<br>- Interview if necessary                                     |

dh

aki

| Study item                                 | Evaluation questions   | Indicators or Standards for the evaluation  | Required information and data   | Source of information            | Method for collecting information and data   |
|--|--|---|---|----------------------------------|--|
| Actual Input<br>(Ghana, Members countries) | (Project personnel including counterpart personnel)<br>1. Project Director: Director of Noguchi Memorial Institute for Medical Research (NMIMR)<br>2. Project manager: Head of Parasitology Unit, NMIMR<br>3. Officers, Personnel at Ministry of Health and Ministry of Education, Youth and Science<br>4. Experts: Parasitology, Information, Education and Communication (IEC), Laboratory Technicians<br>5. Other Counterparts and Administrative personnel. Technical Experts of Global Parasite Control in the model project site - Information net work -IEC, Administration   | - Were personals provided as planned  | planned and actual  | - Project team<br>- Ghana C/P    | - Review of reports and provided documents<br>- Interview if necessary                                     |
|  | (Land and Facility)<br>1. Project Coordination Office in the compound of NMIMR<br>2. Project field laboratory facility in the model project site<br>3. Training facilities in the compound of NMIMR (Project operation budget)<br>1. Salaries and related allowances for Ghanaian staff & Personnel<br>2. Expenses of electricity, water, gas, and other fuel<br>3. Regular expenses incurred by the machineries, equipment, and other supplies provided by JICA including custom clearance costs, storage costs, inland transportation costs, installation costs and other supplies.<br>4. Any costs for maintaining facilities and machineries, equipment and other supplies | - Were land, facility, and budget provided as planned   | planned and actual  | - Project team<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and provided documents<br>- Interview if necessary                                     |
| Project team                               | How were the project management structure formulated? How did it function?<br>- Decision-making and method of resolving problem on the project management<br>- Communication method within the team  | - Grasp the role and the management characteristics of the project team regarding to the project monitoring and management  | - Various meeting records<br>- Monitoring reports   | - Project team<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |
| Progress of activities                     | On the project management;<br>- Was there any constraint to the smooth implementation of activities?<br>- Was there any promoting factor for the implementation of activities?   | - Method of ensuring the progress of activities<br>- Countermeasure and assessment method of prohibiting factors to the progress of activity  | - Various meeting records<br>- Monitoring reports   | - Project team<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |
| Monitoring for Project Purpose and Outputs | Monitoring mechanism   | - What extent is the PDM understood among key stakeholders? Was the PDM revised?<br>- How Was the project monitoring conducted?<br>- How Was the result of the progress meeting feed baked to the relevant organization?    | - Various meeting records<br>- Monitoring reports   | - Project team<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |
|  | Response to the external assumptions   | - Was there any external condition that affected the project? How did the project team manage it?   | - Change of external condition with its verifiable indicator  | - Project team<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |
|  | Response to pre-condition  | - Was there any change on pre-conditions in PDM? If there is a change, how did you coped with it?   | - Change of pre-condition shown on the PDM such as;<br>- Safety of the project site maintain in the course of the project period<br>- Government agent maintain cooperative | - Project team<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |
| Relationship among the stakeholders        | Communication and sharing of problem recognition among project team, local government sector, inter-mediate organizations, and created groups by the project   | - Is there sufficient communication between the project team and other stakeholders?<br>- Was common purpose shared between the project team and other stakeholders?  | - Frequency of meetings, recording methods, and perceptions among The stakeholders  | - Project team<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |
| Involvement of beneficiaries               | Involvement of beneficiaries   | - Participation to collecting information and planning process<br>- Sharing of problem recognition and participation to the part of the project activities<br>- Participation to the evaluation and feedback to the program | - Change on recognition, relationship, and attitude   | - Project team<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |
| Degree of project ownership                | - Did the responsible persons for the project management regularly meet and exchange the project information?<br>- What kind of initiatives has Ghana side taken since the project had commenced?<br>- How will (was ) the project experience become widespread to other area?   | - Degree of personal commitment<br>- Degree of organizational commitment<br>- Degree of strategic commitment  | - Appearance in the meetings<br>- Formation of organizational structure and preparation of regulations for the organization   | - Project team<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and provided documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Interview / mini-workshop |

(2) Evaluation Grid for Five Evaluation Criteria

| 5 criteria  | Evaluation Question  |   | Criteria or standards for the evaluation   | Required information and data  | Source of information   | Method of collecting information  |   |
|---|--|---|--|--|---|---|---|
|   | Investigation item   | Question guide  |  |  |   |   |   |
| Relevance<br>(Are outputs, project purpose, and overall goal still meaningful as objectives at the time of evaluation?) | 1. Are the Overall Goal and the Project Purpose consistent with the needs of the school pupils, the expected participants for training, and relevant stakeholders in the member countries?                     | 1-1 Were the interventions necessary for the residents and pupils of the demonstration model site in Ghana and were the projects necessary for the membership countries?  | Majority of the respondents support the necessity of the intervention school health) as means to control parasitic disease.                                      | -relevant information in documents<br>-viewpoint of important stakeholders                                       | - Project team (JICA experts)<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |   |
|   |  | 1-2 Were the interventions acceptable for the local government organization, intermediate groups, and participants in training?   | Majority of the respondents support their positive involvement.  | -relevant information in documents<br>-viewpoint of important stakeholders                                       | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P                | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |   |
|   | 2. Are the Overall Goal and the Project Purpose consistent with Japan's official development aid policy and JICA's country program for Ghana / the member countries of WCIPAC?                                 | 2-1. Are the Overall Goal and the Project Purpose consistent with Japan's official development aid policy and JICA's country program for Ghana / the member countries of WCIPAC?  | Presence of issues that describe the importance of parasites control in the policy documents   | -relevant information in documents   | JICA office   | - Review of reports and documents   |   |
|   | 3. Are the Project Purpose and Outputs consistent with Ghana and the members countries of WACIPAC's Socio-economic development programme, long-term health plan, and/or Education (or School health) strategy? | 3-1. Are the Overall Goal and the Project Purpose consistent with Ghana's parasite control or school health programmes and strategies?  | Concrete words from responsible position or descriptions in relevant documents   | -relevant information in documents   | Ghanaian C/P  | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |   |
|   |  | 3-2. Are the Overall Goal and the Project Purpose consistent with the member countries' parasite control or school health programme?  | Concrete words from responsible position or descriptions in relevant documents   | -relevant information in documents   | Ghanaian C/P  | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |   |
|   | 4. Is the project strategy being undertaken still appropriate?   | 4-1. Is the Project Purpose still effective means to achieve the overall Goal?  | - Consistent Viewpoint on the logicity of PDM<br>- Change on the indicators of the overall goal in conjunction with Change the indicators of the project purpose | - Viewpoints of key stakeholders<br>- Change of the indicators in the PDM<br>- relevant information in documents | - Project team<br>- Ghanaian C/P  | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |   |
|   |  | 4-2. Is each Output still effective means to realize the Project Purpose?   | - Consistent Viewpoint on the logicity of PDM<br>- Change on the indicators of the Overall Goal in conjunction with change the indicators of the Project Purpose | - Viewpoints of key stakeholders<br>- Change of the indicators in the PDM<br>- relevant information in documents | - Project team<br>- Ghanaian C/P  | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |   |
|   |  | 4-3. Are the selected target groups and areas still appropriate?  | Consistent Viewpoint on acceptability, size, equity, influence of problem of target groups   | - Viewpoints of key stakeholders<br>- relevant information in documents  | - Project team<br>- Ghanaian C/P  | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |   |
|   | Effectiveness<br>(Was the effect produced by the project?)   | 1. To what extent the project purpose - WACIPAC performs the role of building capacity for integrated parasite control activities of the member countries in the West African sub-region. - has achieved?   | 1-1. Are the indicators for the project purpose rational and appropriate ?   |  |   | - Project team  | - Refer to the Achievement and process table<br>- Review of reports and documents               |
|   |  |   | 1-2. Will the project purpose have been achieved at the end of the project?  | Degree of achievement  | - Indicator 1: Summarized data of indicators including planned and actual<br>- Indicator 2-4:       | - Project team  | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
| 2. Was an effect produced by the achievement of each Output?  |  | 2-1. Has the change on the indicators of the Project Purpose resulted the change on the indicators of each output?  | Logicity can be demonstrated if the both indicators changed in parallel  | - Summarized data of indicators including planned and actual   | - Project team  | - Refer to the Achievement and process table<br>- Review of reports and documents               |   |
|   |  | 2-2. Is there any additional Output with substantial Inputs?  | Internal verification of the project   | - While the significant change is recognized, the change was not recognized as Output in logical framework       | - Project team  | - Refer to the Achievement and process table<br>- Review of reports and documents               |   |
| 3. Was there any external condition which affected the effectiveness of the Project Purpose?                            |  | 3-1. Were there any influences of important assumptions that affect the Project Purpose? Followings are indicated in PDM.<br>- Fund for intervention is secured from some funding resources other than JICA concerning Output 2<br>- Fund for activities in Supporting countries is secured from some funding resources other than JICA concerning Output 5 | External verification of the project   | - While the significant change is recognized, the change was not recognized as Output in logical framework       | - Project team  | - Refer to the Achievement and process table<br>- Review of reports and documents               |   |
|   |  | 3-2 What about an externality which is not indicated in the PDM?  | External verification of the project   | - Significant change but it is not due to the project  | - Project team  | - Refer to the Achievement and process table<br>- Review of reports and documents               |   |
| 4. What were the contributing / inhibiting factors which affected the effectiveness of the project?                     |  | 4. What were the contributing / inhibiting factors which affected the effectiveness of the project?   | Influence by operational environment such as project platform and political-social factors   | - Specific data / information that indicate the factors  | - Project team<br>- Ghanaian C/P  | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |   |

dl

alc

| 5 criteria  | Evaluation Question   |   | Criteria or standards for the evaluation  | Required information and data  | Source of information  | Method of collecting information  |
|---|---|---|---|--|--|---|
|   | Investigation item  | Question guide  |   |  |  |   |
| Efficiency<br>(Is the Output corresponding to the supplied amount of resource, or can it be said that the project was efficient?) | 1. Were the Inputs appropriate in terms of quality and quantity?  | 1-1. Did JICA and Ghana side input appropriate number of qualified staff with planned period?   | Actual inputs to planned inputs and comments from stakeholders  | - Input records and monitoring sheet   | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   |   | 1-2. Were the quality and quantity of provided facilities, equipment and materials for each output appropriate?   | Actual performance /records to planned specification / material inputs  | - Input records and monitoring sheet   | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   |   | 1-3. Were the size, the selection, and the training period of training participants appropriate?  | Actual inputs to planned inputs and comments from stakeholders  | - Input records and monitoring sheet   | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   | 2. Were the Inputs delivered in timely manner?  | 2-1. Did JICA and Ghana deploy staff timely as scheduled?   | Actual timing of deployment of staff to planned timing and comments from stakeholders                                   | - Input records and monitoring sheet   | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   |   | 2-2. Were the facilities, equipment and materials for each output delivered as planned?   | Actual timing of delivery of facility/materials to planned timing and comments from stakeholder                         | - Input records and monitoring sheet   | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   |   | 2-3. Were the number of participants timely deployed?   | Actual inputs to planned inputs and comments from stakeholder   | - Input records and monitoring sheet   | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   |   | 2-4. Were trainings timely organized?   | Actual timing of trainings to planned timing and comments from stakeholder  | - Input records and monitoring sheet   | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   | 3. Was there alternative means for achieving each Output efficiently?   | 3-1. Were there any activities overlapped with other institution / organization?  | Comparison with an other approach in the Objective tree   | - Associated data within Inputs records, Plan of Operation, Monitoring report etc.<br>- Viewpoint of the project team and stakeholders | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   |   | 3-2. Were there any other alternative means and methods ?   | Comparison with an other approach in the Objective tree or similar projects if available                                | - Associated data within Inputs records, Plan of Operation, Monitoring report etc.<br>- Viewpoint of the project team and stakeholders | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   | 4. Was there any influence of external conditions that affected the achievement of the Outputs?   | 4. Was there any influence of external conditions that affected the achievement of the Outputs?<br>Followings are indicated in PDM.<br>- Cooperation and understanding on the model project from local people is obtained<br>- Trained participants of the international training courses by WACIPAC are working continuously on the activities<br>- Customs clearance is done on time<br>- Migration clearance is done on time | Comparison with an other approach in the Objective tree or similar projects if available                                | - Associated data within Inputs records, Plan of Operation, Monitoring report etc.<br>- Viewpoint of the project team and stakeholders | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   | 5. What were the contributing / inhibiting factors which affected the efficiency of the project?  | 5. What were the contributing / inhibiting factors which affected the efficiency of the project?  |   | - Associated data within Inputs records, Plan of Operation, Monitoring report etc.<br>- Viewpoint of the project team and stakeholders | - Project team<br>- Ghanaian C/P   | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   | 1. Prospect of achievement on the parasitic diseases control programmes of the member countries in the West African sub-region are implemented by the capacity built by/at WACIPAC. | 1. School-based Parasitic Control programmes are actively implemented in the member countries.  |   | Participants of WACIPAC training programme from the member countries   | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   |   | 2. 80% of target personnel involved in parasite control and school health programmes in the member countries successfully receive training at WACIPAC.  | - the base of target population<br>- predicted number of target population who successfully receive training at WACIPAC | Statistics of the Ministry of Health and Education in the member countries   | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |

| 5 criteria  | Evaluation Question  |   | Criteria or standards for the evaluation   | Required information and data   | Source of information  | Method of collecting information  |
|---|--|---|--|---|--|---|
|   | Investigation item   | Question guide  |  |   |  |   |
| Impact<br>(Are there any prospects of the indirect and ripple effects produced by the implementation of the project?) | 2. Possible influence of external conditions to the Overall Goal   | 2. Are there any prospects of external conditions that may affect the achievement of the Overall Goal? The followings are indicated in the PDM.<br>- Adequate budgetary support to parasitic disease control from all stakeholder Governments does not decrease in respective countries.<br>- At least half of trained personnel actively participate in parasite control activities. | If there is change on external conditions of the PDM   | - Viewpoint of stakeholders<br>- Results of achievement and process question  | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   | 3. Unexpected Positive/ Negative impact at the time of terminal evaluation   | 3-1. Is there any positive impact that is not indicated in the PDM?   | - Agreed recognition of positive Change on target groups.<br>- positive Change on target groups with verifiable data   | - Viewpoint of stakeholders<br>- Viewpoint of target groups   | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   |  | 3-2. Is there any negative impact that is not indicated in the PDM?   | - Agreed recognition of negative Change on target groups<br>- negative Change on target groups with verifiable data  | - Viewpoint of stakeholders<br>- Viewpoint of target groups   | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   | 4. What were contributing / inhibiting factors which affected the achievement of the Overall Goal or what will be expected contributing / inhibiting factors which may affect the achievement of the Overall Goal? | 4. What were contributing / inhibiting factors which affected the achievement of the Overall Goal or what will be expected contributing / inhibiting factors which may affect the achievement of the Overall Goal?  |  | Specified factor  | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
| Sustainability<br>(Will the effect of the project maintained after the completion of the project)                     | 1. Are the activities that the project brought about continuously implemented?   | 1-1. Which organization will take up the role of JICA's project team and continue the project activities?   | - Agreed recognition of issues on sustainability<br>- Political will and plan<br>- Availability of concrete human resources, budget, organization and system | - Stakeholders' point of view on commitment, formation of organizational structure, personals, and budget etc.<br>- Actual plan | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   |  | 1-2. Will equipment, facilities and human resources be continuously provided in the future? What extent does your organization provide those resources?   | - Agreed recognition of issues on sustainability<br>- Political will and plan<br>- Availability of concrete human resources, budget, organization and system | - Stakeholders' point of view on commitment, formation of organizational structure, personals, and budget etc.<br>- Actual plan | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   | 2. To what extent are provided facilities and equipment and trained personnel can be effectively utilized?   | 1-2 To what extent are the provided facilities and the equipment and the trained personnel be effectively utilized?   | - Present performance on operation and maintenance<br>- Availability of O/M mechanism including personal, spare parts, and procurement procedure             | - Stakeholders' point of view on commitment, formation of organizational structure, personals, and budget etc.<br>- Actual plan | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   | 3. Are there any prospects that the implementing agencies can secure human resources, finance, and system in order to continue the outcome of the project?   | 3-1. How does current WACIPAC utilize the know-how of the project to other area?  | - Agreed recognition of issues on sustainability<br>- Political will and plan<br>- Availability of concrete human resources, budget, organization and system | - Stakeholders' point of view on commitment, formation of organizational structure, personals, and budget etc.                  | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   |  | 3-2. How do the member countries and WACIPAC apply the experience of the project?   | - Recognition of issues on sustainability<br>- Political will and plan<br>- Availability of concrete human resources, budget, organization and system        | - Stakeholders' point of view on commitment, formation of organizational structure, personals, and budget etc.                  | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |
|   | 4. What were contributing and inhibiting factors, which affected sustainability of the project?  | 4. What were contributing and inhibiting factors, which affected sustainability of the project? ?   |  | - Viewpoint of the project team and stakeholders  | - Project team<br>- The participants from the membership countries<br>- Ghanaian C/P | - Review of reports and documents<br>- Response to a questionnaire<br>- Complementary interview |



## ANNEX V List of Experts from ACIPAC/ ESACIPAC

### (1) ACIPAC

|   | Name/Title   | Visit Purpose  | Term                  |
|---|--|--|-----------------------|
| 1 | Professor Malinee Thaironjrung<br>Senior Researcher, ACIPAC  | 1st WACIPAC Policy Makers' Workshop & 1st<br>Policy Makers' Workshop | 04/06/17~<br>04/07/16 |
| 2 | Dr. Pimpimong Thongthien<br>Education Officer, MOE, Thailand   | 3rd WACIPAC Programme Manager Workshop                               | 06/10/24~<br>06/11/22 |
| 3 | Dr. Jun Kobayashi<br>Global Parasite Control Advisor, Mahidol<br>University  | 3rd WACIPAC Programme Manager Workshop                               | 06/10/24~<br>06/11/22 |
| 4 | Prof. Jitra Waikagul<br>Deputy Dean, Faculty of Tropical Medicine,<br>Mahidol University   | Discussion for drafting field research proposal                      | 07/05/07~<br>07/05/25 |
| 5 | Dr. Jun Kobayashi<br>Global Parasite Control Advisor, Mahidol<br>University  | Discussion for drafting field research proposal                      | 07/05/20~<br>07/06/03 |
| 6 | Dr. Pimpimon Thongthien<br>Education Officer, MOE, Thailand  | 4th WACIPAC Programme Manager Workshop                               | 07/10/21~<br>07/11/09 |
| 7 | Mr. Sethavudh Kaewwiset<br>Foreign Relations Officer, Acting Head,<br>International Relations Unit Faculty of<br>Tropical Medicine, Mahidol University | 4th WACIPAC Programme Manager Workshop                               | 07/10/21~<br>07/11/09 |
| 8 | Dr. Jun Kobayashi<br>Global Parasite Control Advisor, Mahidol<br>University  | 4th WACIPAC Programme Manager Workshop                               | 07/10/21~<br>07/11/09 |

### (2) ESACIPAC

|   |  |  |                       |
|---|--|--|-----------------------|
| 1 | Dr. Toshiki Awazawa<br>JICA Expert, ESACIPAC | 1st WACIPAC Policy Makers' Workshop & 1st<br>Policy Makers' Workshop | 04/06/17~<br>04/07/16 |
|---|--|--|-----------------------|

dh

at

## ANNEX VI: List of Equipment

| Year (IFY) | Registered Number | Item                               | Spec   | Quantity | Location                          | Purchased Country |
|------------|-------------------|------------------------------------|--|----------|-----------------------------------|-------------------|
| 2004       | G-0401            | Digital Camera                     | -  | 1        | NMIMR                             | Ghana             |
| 2004       | G-0402            | Cabinet                            | -  | 1        | Administration Room               | Ghana             |
| 2004       | G-0402            | Cabinet                            | Cream Lion   | 2        | Administration Room               | Ghana             |
| 2004       | G-0402-3          | Executive Chair                    | -  | 1        | Administration Room               | Ghana             |
| 2004       | G-0402-4          | Executive Desk                     | -  | 1        | Room 8                            | Ghana             |
| 2004       | G-0402-5          | Glass Table                        | -  | 1        | Room 8                            | Ghana             |
| 2004       | G-0402-6-9        | Chair                              | -  | 4        | Admin, Rm10, Rm11, Rm12           | Ghana             |
| 2004       | G-0402-10         | Coffee Table                       | -  | 1        | NMIMR                             | Ghana             |
| 2004       | G-0402-11-13      | Cabinet                            | Maruwa Lion  | 3        | Rm8, Admin                        | Ghana             |
| 2004       | G-0403            | Biding Machine                     | Rexel Acco./ CB405 TIP System                      | 1        | Administration Room (Cabinet)     | Ghana             |
| 2004       | G-0404            | Liner for Cargo Deck (Pickup)      | -  | 1        | Nissan Pick-Up                    | Ghana             |
| 2004       | G-0405            | Mercury rewritable Drive           | -  | 1        | NMIMR                             | Ghana             |
| 2004       | G-0406            | Drinking Water Dispenser           | Clean Water Preparation System/                    | 1        | Kitchen                           | Ghana             |
| 2004       | G-0407            | Safe Box                           | Connex/ CS 110                                     | 1        | Administration Room               | Ghana             |
| 2004       | G-0408-10         | Chair for Laboratory               | -  | 3        | Ada 2nd School, PCA-Lab           | Ghana             |
| 2004       | G-0411            | Digital Camera                     | Olympus/ 4.0 Mega Pixwl                            | 1        | Administration Room (Cabinet)     | Ghana             |
| 2004       | G-0412            | TV                                 | Sony/ KV-SW25M50                                   | 1        | Meeting Room                      | Ghana             |
| 2004       | G-0413            | Digital Camera                     | Olympus/ N-Mini                                    | 1        | Administration Room (Cabinet)     | Ghana             |
| 2004       | G-0414            | Software                           | Project Standard 2003                              | 1        | Administration Room (Cabinet)     | Ghana             |
| 2004       | G-0415            | Software                           | Visio Standard                                     | 1        | Administration Room (Cabinet)     | Ghana             |
| 2004       | G-0416-22         | Printer Cabinet                    | 3-Nov-00   | 7        | Rm 8, Rm10, Rm12, Admin, Corridor | Ghana             |
| 2004       | G-0423            | Software                           | Systran 5.0 Pro. Premium                           | 1        | Administration Room (Cabinet)     | Ghana             |
| 2004       | G-0424            | Drive Station USB2.0 External Hard | Buffalo Inc./ H250U2                               | 1        | Administration Room               | Ghana             |
| 2004       | G-0425            | Linkstation Network Storage Center | Buffalo Inc./ H250                                 | 1        | Administration Room               | Ghana             |
| 2004       | G-0426            | Rotor (Buffalo Air Station)        | IES/ 1024  | 1        | Administration Room               | Ghana             |
| 2004       | G-0427            | Fax                                | Panasonic/ UF-490                                  | 1        | Administration Room               | Ghana             |
| 2004       | G-0428            | Monitor                            | Dell/ PF 997 AA                                    | 1        | NMIMR IT Room                     | Ghana             |
| 2004       | KE-0403           | Battery Pack                       | Thinkpad<br>FRU P/N 92P0989, ASM P/N               | 1        | Administration Room               | Japan             |
| 2004       | KE-0438           | Battery Pack                       | Sony/PCGA-BP2S                                     | 1        | Room10                            | Japan             |
| 2004       | KE-0411, 12       | CD-RW Drive                        | Plextor/ Premium-U 127-2675                        | 2        | Administration Room               | Japan             |
| 2004       | KE-0434, 46       | Centrifuge                         | Eppendorf/Angle-Rotor, F-35-30-17,<br>5702 704.008 | 2        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0435, 37       | Centrifuge                         | Eppendorf/Swing-Rotor, A-4-38, 6702<br>720.003     | 2        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0433, 45       | Centrifuge, AC100V,                | Eppendorf 5702 06884                               | 2        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0422           | Color Printer                      | Canon/Pixus 80i                                    | 1        | Administration Room (Cabinet)     | Japan             |
| 2004       | KE-0440           | Compact Flush Media                | Lexar Media/CFB4GB-80-380                          | 1        | Room10                            | Japan             |
| 2004       | KE-0423           | Digital Camera                     | Canon/Powershot A75                                | 1        | Administration Room (Cabinet)     | Japan             |
| 2004       | KE-0416           | Digital Video Camera               | -  | 1        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0429           | Extension Guarantee 5639V75        | -  | 1        | (Stolen)                          | Japan             |
| 2004       | KE-0442           | Geographical Positioning System    | Garmin/GPS MAP60C                                  | 1        | Room10                            | Japan             |
| 2004       | KE-0437           | Hard Disk                          | IO-DATA/HDN-60DS                                   | 1        | Room10                            | Japan             |
| 2004       | KE-0413           | Inkjet Printer (Pixus 6500i)       | -  | 1        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0407           | Label Writer                       | King Jim/Teपुरa Pro                                | 1        | Administration Room               | Japan             |
| 2004       | KE-0424           | Liquid Crystal Projector           | Plus/V-1100Z                                       | 1        | Administration Room (Cabinet)     | Japan             |
| 2004       | KE-0428           | Memory Card 31P9832                | -  | 1        | (Stolen)                          | Japan             |
| 2004       | KE-0418           | Monitor                            | -  | 1        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0421           | Note-Type Computer                 | IBM/ThinkPad R51(N887-7MW)                         | 1        | (Stolen)                          | Japan             |
| 2004       | KE-0427           | Note-Type Computer                 | IBM/ThinkPad R 52                                  | 1        | Japan                             | Japan             |
| 2004       | KE-0401           | Note-Type Computer                 | IBM 2887-7MJ S/N 99-CL225                          | 1        | Administration Room               | Japan             |
| 2004       | KE-0419           | Note-Type Computer                 | IBM/2389-EQJ                                       | 1        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0408           | Note-Type Computer                 | Mac Power Book G4                                  | 1        | Administration Room               | Japan             |
| 2004       | KE-0414           | Personal Computer XW4100/CT        | -  | 1        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0404           | Portable Hard Disk                 | IBM/ E-D011-03-2569 (B)                            | 1        | Administration Room               | Japan             |
| 2004       | KE-0432           | Print Server                       | HP J7934A  | 1        | Administration Room               | Japan             |
| 2004       | KE-0431           | Printer                            | HP/LaserJet 5500, C9656A                           | 1        | Model Site Room                   | Japan             |
| 2004       | KE-0436           | Ram Board                          | IO-DATA/SDD333-1G                                  | 1        | Room10                            | Japan             |
| 2004       | KE-0443           | Scanner                            | Epson/GT-F600                                      | 1        | Room10                            | Japan             |
| 2004       | KE-0425           | Software                           | Microsoft/PowerPoint 2003                          | 1        | (Stolen)                          | Japan             |
| 2004       | KE-0426           | Software                           | Filemaker Pro 7.0                                  | 1        | (Stolen)                          | Japan             |
| 2004       | KE-0405           | Software                           | Microsoft/Office 2003 Professional                 | 1        | Administration Room               | Japan             |
| 2004       | KE-0420           | Software                           | -  | 1        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0430           | Software                           | Microsoft/Office Standard2003 021-                 | 1        | NMIMR Store Room                  | Japan             |
| 2004       | KE-0441           | Software for IEC material design   | Adobe/Creative Suite Standard                      | 1        | Room10                            | Japan             |
| 2004       | KE-0415           | Software for Video production      | Adobe/Premiere pro 1.5                             | 1        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0417           | Transformer                        | ?/AVR-2000E  | 1        | NMIMR                             | Japan             |
| 2004       | KE-0444           | Uninterrupted Power Supply         | UPS/CSS500   | 1        | -                                 | Japan             |
| 2004       | KE-0439           | USB Memory                         | IO-DATA/EDP2-2G                                    | 1        | Room10                            | Japan             |
| 2004       | KE-0402           | USB Memory Key                     | ASM 22P9027, FRU 22P9031                           | 1        | Room 8                            | Japan             |
| 2004       | KE-0409, 10       | Zip Drive                          | Imomega/ Z750USB                                   | 2        | Administration Room               | Japan             |
| 2004       | KY-4102           | Laser Printer                      | HP/ Laserjet 5100N                                 | 1        | Corridor                          | -                 |
| 2004       | KY-04152          | Achromat Phase 100X                | Olympus Corporation<br>PLN 100*OPH                 | 1        | Parasitology Unit (2005/9/2)      | Ghana             |
| 2004       | KY-04153          | Achromat Phase 10X                 | Olympus Corporation<br>PLN 10*OPH                  | 1        | Parasitology Unit (2005/9/2)      | Ghana             |
| 2004       | KY-04154          | Achromat Phase 20X                 | Olympus Corporation<br>PLN 20*OPH                  | 1        | Parasitology Unit (2005/9/2)      | Ghana             |



| Year (JFY) | Registered Number                             | Item                             | Spec   | Quantity | Location                         | Purchased Country |
|------------|---|----------------------------------|--|----------|----------------------------------|-------------------|
| 2004       | KY-04155                                      | Achromat Phase 40X               | Olympus Corporation<br>PLN 40*OPH                  | 1        | Parasitology Unit (2005/9/2)     | Ghana             |
| 2004       | KY-0402                                       | Adobe Page Maker 7.0             | -  | 1        | NMIMR                            | -                 |
| 2004       | KY-0403                                       | Adobe Photoshop Element          | -  | 1        | NMIMR                            | -                 |
| 2004       | KY-04156-59                                   | Binocular Tube                   | Olympus Corporation/<br>U-BI30-2-2                 | 4        | Parasitology Unit (2005/9/2)     | Ghana             |
| 2004       | KY-0415                                       | Photocopier                      | Canon/ IRI 600                                     | 1        | Administration Room              | -                 |
| 2004       | KY-04168                                      | Chrona 257                       | Sherwood Scientific Ltd/ 257                       | 1        | Parasitology Unit (2005/9/2)     | Ghana             |
| 2004       | KY-04150                                      | Condenser                        | Olympus Corporation/ U-PCD2                        | 1        | Parasitology Unit (2005/9/2)     | Ghana             |
| 2004       | KY-04116                                      | Copy Machine                     | Canon/ NP 7161                                     | 1        | Administration Room              | Ghana             |
| 2004       | KY-0421                                       | Digital Copy Machine (Nashuatec) | Ricoh/ AMICIO 2026                                 | 1        | Corridor                         | Ghana             |
| 2004       | KY-0408                                       | Desktop Computer Denon 2000      | -  | 1        | NMIMR                            | -                 |
| 2004       | KY-0422                                       | Digital Duplicator               | Nashuatec/ CP 306                                  | 1        | Room 8                           | Ghana             |
| 2004       | KY-04121                                      | Discard Container                | Astell Scientific Ltd/ AAN 348                     | 1        | NMIMR                            | Ghana             |
| 2004       |   | DVE 774 Video Editing            | -  | 1        | NMIMR                            | -                 |
| 2004       | KY-0407                                       | LCD Projector                    | Seico EPSON/ EMP S1                                | 1        | Administration Room (Cabinet)    | Ghana             |
| 2004       | KY-04117                                      | Executive Chair                  | -  | 1        | Administration Room              | Ghana             |
| 2004       | KY-0446                                       | Executive Desk                   | -  | 1        | Prof. Room                       | Ghana             |
| 2004       | KY-04146, 04160-63                            | Eyeiece FN22                     | Olympus Corporation/ WHN10X                        | 5        | Parasitology Unit (2005/9/2)     | Ghana             |
| 2004       | KY-04147, 164-167                             | Eyeiece FN23 Focusable           | Olympus Corporation/<br>WHN10X-H                   | 5        | Parasitology Unit (2005/9/2)     | Ghana             |
| 2004       | KY-04149                                      | Halogen Lamp                     | Olympus Corporation/<br>U-LH100-3                  | 1        | Parasitology Unit (2005/9/2)     | Ghana             |
| 2004       | KY-05132, 33                                  | Heraeus Labofuge                 | Kendro Laboratory Products/<br>Labofugw-200        | 2        | Parasitology Unit (2005/9/2)     | Ghana             |
| 2004       | KY-0409                                       | Color Printer                    | HP/ Laserjet 5500                                  | 1        | Corridor                         | -                 |
| 2004       | KY-0420                                       | Jecoms Glass Water Still Model   | Autostills Ltd/ 4000X                              | 1        | Parasitology Unit(2005/9/2)      | Ghana             |
| 2004       | KY-04126                                      | Jenway Meter                     | Jemmay 430 Portable                                | 1        | Parasitology Unit                | Ghana             |
| 2004       | KY-04148                                      | Mechanical Stage                 | Olympus Corporation/<br>U-SVLB-4                   | 1        | Parasitology Unit(2005/9/2)      | Ghana             |
| 2004       | KY-0418                                       | Meeting Amplifier                | Max CW-4008  | 1        | PCA Chairman's House             | Ghana             |
| 2004       | KY-0423-434                                   | Meeting Room Chair               | -  | 12       | Meeting Room                     | Ghana             |
| 2004       | KY0465-0471                                   | Meeting Room Desk                | -  | 4        | Meeting Room                     | Ghana             |
| 2004       | KY-0417                                       | Bus                              | Mersedenze/ MCV 400                                | 1        | NMIMR Garage                     | Ghana             |
| 2004       | KY-04119                                      | Micro Haematocrit Centrifuge     | Hawksley & Sons Ltd/ Micro-<br>Centrifuge 01400-00 | 1        | Parasitology Unit(2005/9/2)      | Ghana             |
| 2004       | KY-04140,141                                  |                                  |  | 2        | Ada 2nd School, PCA-Lab          | Ghana             |
| 2004       | KY-04141                                      |                                  |  | 1        | Ada Health Center                | Ghana             |
| 2004       | KY-04134                                      | Microscope                       | Olympus Corporation/<br>CX21FSI-2                  | 1        | District Hospital                | Ghana             |
| 2004       | KKY-04136, 138                                |                                  |  | 2        | Parasitology Unit(2005/9/2)      | Ghana             |
| 2004       | KY-04135, 137, 139, 142                       |                                  |  | 4        | NMIMR                            | Ghana             |
| 2004       | KY-04144                                      | Microscope Frame                 | Olympus Corporation/<br>BX51TF                     | 1        | NMIMR                            | Ghana             |
| 2004       | KY-0410                                       | Microsoft Office XP              | -  | 1        | NMIMR                            | -                 |
| 2004       | KY-0411                                       | Microsoft Windows XP             | -  | 1        | NMIMR                            | -                 |
| 2004       | KY-0416                                       | Patrol                           | Nissan   | 1        | NMIMR Garage                     | Ghana             |
| 2004       | KY-0440, 41, 35, 36, 39, 37,<br>38, 42, 43-45 | Office Chair                     | Kpogas Standard Furniture Works<br>(11)            | 11       | Meeting Room, Rm8, Rm11, Admin   | Ghana             |
| 2004       | KY-0465                                       |                                  |  | 1        | Room 8                           | Ghana             |
| 2004       | KY-0461                                       | Office Cupboard                  | 19-Apr-00  | 1        | Room 12                          | Ghana             |
| 2004       | KY-0458, 60                                   |                                  |  | 2        | Room 11                          | Ghana             |
| 2004       | KY-0459                                       |                                  |  | 1        | Room 10                          | Ghana             |
| 2004       | KY-0463, 0464, 0466, 0467                     |                                  |  | 4        | Administration Room              | Ghana             |
| 2004       | KY-0447, 48, 57                               |                                  |  | 3        | Room 11                          | Ghana             |
| 2004       | KY-0449, 50                                   | Office Desk                      | -  | 2        | SPP Room                         | Ghana             |
| 2004       | KY-0451                                       |                                  |  | 1        | IT&Network Room                  | Ghana             |
| 2004       | KY-0452-56                                    |                                  |  | 5        | Administration Room              | Ghana             |
| 2004       | KY-0472                                       |                                  |  | 1        | (Stolen)                         | Ghana             |
| 2004       | KY-0473                                       |                                  |  | 1        | Room 10                          | Ghana             |
| 2004       | KY-0474                                       |                                  |  | 1        | Room 12                          | Ghana             |
| 2004       | KY-0476, 77                                   | Personal Computer (Desk Top)     | Dell/ Optiplex GX 280<br>(10)                      | 2        | GES                              | Ghana             |
| 2004       | KY-0478                                       |                                  |  | 1        | PCA Office<br>(6-May-05)         | Ghana             |
| 2004       | KY-0481                                       |                                  |  | 1        | Room 11                          | Ghana             |
| 2004       | KY-0480                                       |                                  |  | 1        | Room 9                           | Ghana             |
| 2004       | KY-0475, 79                                   |                                  |  | 2        | Room 8                           | Ghana             |
| 2004       | KY-0482                                       |                                  |  | 1        | R11                              | Ghana             |
| 2004       | KY-0483-86                                    | Personal Computer(Flat Screen)   | Dell/ E173 FPs 09                                  | 4        | Administration Room              | Ghana             |
| 2004       | KY-0487                                       |                                  |  | 1        | Room10                           | Ghana             |
| 2004       | KY-0488, 89                                   | Personal Computer(Lap Top)       | Dell/ LBL PIN IU907A05                             | 2        | Administration Room (Cabinet)    | Ghana             |
| 2004       | KY-0491                                       |                                  |  | 1        | Room 11                          | Ghana             |
| 2004       | KY-0492                                       |                                  |  | 1        | GES                              | Ghana             |
| 2004       | KY-0493                                       | Printer                          | HP/ Laserjet 5100tn                                | 1        | Room 12                          | Ghana             |
| 2004       | KY-0494                                       |                                  |  | 1        | Room 10                          | Ghana             |
| 2004       | KY-0495                                       |                                  |  | 1        | PCA Office<br>(6-May-05)         | Ghana             |
| 2004       | KY-0405                                       | Reference Manager 10.0 for       | -  | 1        | NMIMR                            | -                 |
| 2004       | KY-04129                                      | Refrigerator                     | LEC/ EL 755 AW                                     | 1        | Parasitology Unit<br>(16-May-05) | Ghana             |
| 2004       | KY-04118                                      | Stuart Shaker                    | Bibby Sterilin Ltd/ SSL3                           | 1        | Parasitology Unit(2005/9/2)      | Ghana             |
| 2004       | KY-0419                                       |                                  |  | 1        | Parasitology Unit(2005/9/2)      | Ghana             |
| 2004       | KY-04151                                      | Telescope                        | Olympus Corporation/<br>U-CT30                     | 1        | Parasitology Unit(2005/9/2)      | Ghana             |

| Year (JFY) | Registered Number         | Item  | Spec   | Quantity | Location                      | Purchased Country |
|------------|---------------------------|---|--|----------|-------------------------------|-------------------|
| 2004       | KY-04145                  | Trinocular Tube   | Olympus Corporation/<br>U-TR30-2-2             | 1        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2004       | KY-04106, 07              |   |  | 2        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2004       | KY-04104, 5, 13, 14, 0499 |   |  | 5        | Administration Room           | Ghana             |
| 2004       | KY-04110, 1               |   |  | 2        | Room 8                        | Ghana             |
| 2004       | KY-04115, 0497            |   |  | 2        | Room 11                       | Ghana             |
| 2004       | KY-0498                   |   |  | 1        | Room 12                       | Ghana             |
| 2004       | KY-04102, 03              |   |  | 2        | GES                           | Ghana             |
| 2004       | KY-04100                  |   |  | 1        | (Stolen)                      | Ghana             |
| 2004       |                           |   |  | 4        | Store                         | Ghana             |
| 2004       | KY-04122                  | Vortex Genie  | Scientific Industries Inc/ G-560E              | 1        | Parasitology Unit(2005/9/2)   | Ghana             |
| 2004       | KY-04123                  |   |  | 1        | Parasitology Unit(2005/9/2)   | Ghana             |
| 2004       | KY-04124                  | Water Bath  | Grant Instruments Ltd/ MXB36                   | 1        | Parasitology Unit(2005/9/2)   | Ghana             |
| 2004       | KY-0490                   | Work Station  | Dell/ Precision G70                            | 1        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2005       | G-0501                    | Software  | Windows XP Pro French                          | 1        | Administration Room (Cabinet) | Ghana             |
| 2005       | G-0502                    | Software  | Microsoft Front Page 2003                      | 1        | Administration Room (Cabinet) | Ghana             |
| 2005       | G-0503                    | Water Pump  | Interdub/?                                     | 1        | Outside of WACIPAC            | Ghana             |
| 2005       | G-0504                    | Intercom  | Panasonic/ ICX-TA 308                          | 1        | Administration Room           | Ghana             |
| 2005       | K-0501                    | Multi Viewing Observation Body<br>(Teaching Microscope) | Olympus Corporation/ U-MDOB3                   | 1        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2005       | K-0502, 03                | Multi Viewing Observation Side<br>viewer                | Olympus Corporation/<br>U-MDOSV-2              | 2        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2005       | K-0504, 05                | Spectronic Genesys                                      | Thermo Electron Corporation 4001               | 1        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2005       |                           |   |  | 1        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2005       | K-0506, 07                | Built-in Printer  | Thermo Electron Corporation 4088-<br>1601      | 1        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2005       |                           |   |  | 1        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2005       | K-0508, 09                | Service Manual  | Thermo Electron Corporation 4001-<br>10023     | 1        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2005       |                           |   |  | 1        | NMIMR                         | Ghana             |
| 2005       | K-0510                    | Pickup  | TOYOTA   | 1        | Garage                        | Ghana             |
| 2006       | G-0601                    | Motor   | Reed Electrical Works<br>for fueling Generator | 1        | NMIMR Maintenance Office      | Ghana             |
| 2006       | G-0602                    | Color Printer   | Laser Color LaserJet 5500dtn                   | 1        | Administration Room (Cabinet) | Ghana             |
| 2006       | G-0603, 4                 | Office Desk   | Wooden Color                                   | 2        | Room 8 & 9                    | Ghana             |
| 2006       | G-0605, 6                 | Office Chairs   | Kingdom Book Shop                              | 2        | Administration Room           | Ghana             |
| 2007       | G-0701                    | Planning Board  | Daardd Wood Works                              | 1        | Administration Room           | Ghana             |
| 2007       | G-0702-4                  | IC Recorders  | SONY ICD-P520                                  | 3        | Administration Room (Cabinet) | Ghana             |
| 2007       | G-0705-6                  | Portable Generator                                      | YAMAHA   | 2        | Store Room                    | Ghana             |
| 2007       | G-0707-8                  | Cabinet   | Kingdom Book Shop                              | 2        | Room 8                        | Ghana             |
| 2007       | G-0709                    | Laptop Computer   | Toshiba Satellite L30-10S                      | 1        | Administration Room           | Ghana             |
| 2007       | G-0710-11                 | Desktop Computer  | Dell Vostro S                                  | 2        | Room 9 & 12                   | Ghana             |
| 2007       | G-0712-15                 | UPS   | EPRO UPS (800VA)                               | 5        | Administration Room           | Ghana             |

ch

AKA

## ANNEX VII List of Training Activities for the Counterparts

### (1) Counterpart Training

| No. | Name/Title  | Subject  | Institution  | From     | To       |
|-----|---|--|--|----------|----------|
| 1   | Jonas Roland Komla Asigbee<br>Chief Laboratory Technician                   | Primary Health Care  | Institute of Tropical Medicine                                 | 04/09/19 | 05/03/04 |
| 2   | Isac Afaak wei Hudson-Odoi<br>Assistant Technician                          | Multimedia Technology for E-Education  | JICA, Okinawa Office   | 05/01/11 | 05/04/28 |
| 3   | Michael David Wilson<br>Deputy Director                                     | Seminar on Parasite Control,<br>Administratio for Senior Officers II<br>A step Towards Primary Health Care                           | Japan Association of Parasite<br>Control                       | 05/01/18 | 05/02/12 |
| 4   | Kwabena Mante Bosompem<br>Head of Parasitology Unit                         | Participatory Local Social<br>Development, Project Planning and<br>Management  | Nihon Fukushi Uni.   | 05/02/02 | 05/03/22 |
| 5   | Eben Na Pupilampu<br>District Secretary in Dangme-East                      | Participatory Local Social Development,<br>Project Planning and Management II  | Nihon Fukushi Uni.   | 05/08/08 | 05/09/17 |
| 6   | Dziedsom Komi De Souza<br>Senior Research Assistant                         | GIS Technology for Sustainable Management<br>of Natural Resources and Agricultural<br>Products                                       | International Cooperation Center for<br>Agricultural Education | 05/08/15 | 05/09/22 |
| 7   | Samuel Kweku Mortu<br>Laboratory Technician II                              | Clinical Laboratory Technology II  | Japan International Medical<br>Technology Foundation           | 05/11/06 | 06/02/06 |
| 8   | Daniel Adjei Boakye<br>Senior Research Fellow                               | Seminar on Parasite Control<br>Administratio for Senior Officers II<br>A step Towards Primary Health Care                            | Japan Association of Parasite<br>Control                       | 06/01/17 | 06/02/11 |
| 9   | Kwabena Mante Bosompem<br>Head of Parasitology Department                   | Seminar on Parasite Control<br>Administratio for Senior Officers II<br>A step Towards Primary Health Care                            | Japan Association of Parasite<br>Control                       | 07/01/16 | 07/02/10 |
| 10  | Joseph Quartey<br>Laboratory Technician<br>Department of Parasitology       | Seminar on Parasite Control<br>Administratio for Senior Officers II<br>A step Towards Primary Health Care                            | Japan Association of Parasite<br>Control                       | 07/01/16 | 07/02/10 |
| 11  | Daniel Boamah<br>Principal Research Assistant<br>Department of Parasitology | Seminar on Parasite Control<br>Administratio for Senior Officers II<br>A step Towards Community Development<br>through School Health | Japan Association of Parasite<br>Control                       | 08/01/15 | 08/02/09 |
| 12  | Irene Ayi<br>Senior Research Fellow<br>Department of Parasitology           | School Health  | Tokyo Medical Dental University                                | 08/03/16 | 08/04/02 |

### (2) Long-Term Training

| No. | Name/Title  | Subject   | Institution                     | Term              |
|-----|---|---|---------------------------------|-------------------|
| 1   | Willaiam K. Anyan<br>Principal Research Assistant<br>Department of Parasitology | LTTP ( Immunological & Monocular<br>biological study) | Tokyo Medical Dental University | 05/09/05~10/03/31 |

### (3) Training in ACIPAC/ESACIPAC

| No. | Name/Title  | Training Course  | Institution         | From     | To       |
|-----|---|--|---------------------|----------|----------|
| 1   | Daniel Boamah<br>Principal Research Assistant<br>Parasitology Unit                          | 2nd International Training Course on school-<br>based parasite control, ESACIPAC | ESACIPAC/KEMRI      | 04/03/01 | 04/03/24 |
| 2   | Seth Odame BAIDEN<br>Coordinator Teacher Development and<br>Training, Ministry of Education | ACIPAC International Training Course on<br>school-based parasite control, ACIPAC | ACIPAC/Mahidol Univ | 04/06/21 | 04/07/30 |
| 3   | Nene A. Akwetey-Kodjoe<br>Bilingual Secretary<br>WACIPAC                                    | On the Job Training  | ACIPAC/Mahidol Univ | 04/10/09 | 04/12/04 |
| 4   | Dziedzon Komi De Souza<br>Senior Research Assistant<br>Parasitology Unit                    | 3rd International Training Course on school-<br>based parasite control, ESACIPAC | ESACIPAC/KEMRI      | 05/02/27 | 05/03/24 |

sh

ala

## ANNEX VIII Operational Cost from the JICA Project fund

|             |                 |                      |            |               |            |           | <i>As of April</i> | <b>Unit: JPY</b> |
|-------------|-----------------|----------------------|------------|---------------|------------|-----------|--------------------|------------------|
| No.         | Category        | JFY.2004             | JFY.2005   | JFY.2006      | JFY.2007   | JFY.2008  | Total              |                  |
| 1           | General Expense | 14,496,052           | 7,541,127  | 3,010,443     | 3,772,359  | 306,911   | 14,630,840         |                  |
| 2           | Output 1        |                      | 1,553,416  | 1,907,218     | 1,254,912  | 164,933   | 19,376,531         |                  |
| 3           | Output 2        | 11,833,825           | 6,044,199  | 1,522,695     | 1,437,589  | 9,525     | 20,847,833         |                  |
| 4           | Output 3        | 22,156,018           | 7,908,298  | 6,033,346     | 7,087,858  | 232,210   | 43,417,730         |                  |
| 5           | Output 4        | (incl. General & OI) | 1,440,440  | 1,951,809     | 3,215,592  | 16,483    | 6,624,324          |                  |
| 6           | Output 5        | 7,400,821            | 3,756,441  | 8,744,865     | 10,652,845 | 814,945   | 31,369,917         |                  |
| 7           | Output 6        |                      |            |               |            |           |                    |                  |
| Total (JPY) |                 | 55,886,716           | 28,243,920 | 23,170,377.63 | 27,421,156 | 1,545,006 | 136,267,176        |                  |
| Total (USD) |                 | 532,254.44           | 268,989.71 | 220,670.26    | 261,153.87 | 14,714.34 | 1,297,782.62       |                  |

1USD= 105 yen

CAK